

江戸川区 中小企業景況調査

2026(令和 8)年 4 月～6 月期



小岩菖蒲園まつり



江戸川区産業経済部経営支援課調査計画係

調査実施機関 一般社団法人東京都信用金庫協会
分析・作成 株式会社サーベイリサーチセンター

目次

江戸川区内の中小企業の景況（2026年4月～6月期）	1
（各業種別の実績と来期の見込み）	
・ 製造業	2
・ 卸売業	7
・ 小売業	10
・ サービス業	14
・ 建設業	17
・ 不動産業	20
東京都全体の企業倒産動向	23
特別調査「中小企業における価格転嫁について」	24
東京都全体の中小企業の景況（2026年4月～6月期）	30
江戸川区と東京都全体の比較表	31
江戸川区の業種別転記表	34

調査の概要

- | | |
|---------------|---------------------------|
| 1. 調査時期 | 2026年6月上旬(四半期毎実施) |
| 2. 調査方法 | 面接聴取(東京都信用金庫協会の会員信用金庫による) |
| 3. 調査の対象と回答状況 | |

	調査対象事業所数	有効回答事業所数
製 造 業	141	116
卸 売 業	23	16
小 売 業	70	55
サ ー ビ ス 業	54	43
建 設 業	58	46
不 動 産 業	24	23
合 計	370	299

4. 未集計事業所の内訳

	倒産・廃業	取引解消	事業転換	移　　転	調査拒否	休　　業	不在が続く	その他	合　計
6業種計	3	0	2	0	0	0	66	0	71
製造業	2	-	2	-	-	-	21	-	25
卸売業	-	-	-	-	-	-	7	-	7
小売業	1	-	-	-	-	-	14	-	15
サービス業	-	-	-	-	-	-	11	-	11
建設業	-	-	-	-	-	-	12	-	12
不動産業	-	-	-	-	-	-	1	-	1

※ D. I (Diffusion Indexの略)

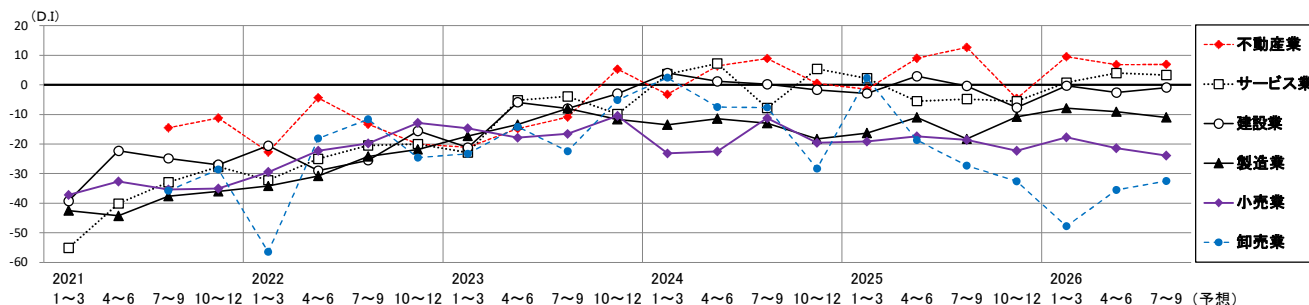
D. I (ディーアイ) は、増加 (又は「上昇」「楽」など) したと答えた企業割合から、減少 (又は「下降」「苦しい」など) したと答えた企業割合を差引いた数値のことで、不変部分を除いて増加したとする企業と減少したとする企業のどちらの力が強いかを比べて時系列的に傾向をみようとするものです。

江戸川区内の中小企業の景況（2026年4月～6月期）

（一般社団法人 東京都信用金庫協会調べ）

業況判断DIは前期（-8.3）から0.9ポイント落ち込み-9.2となった。
～卸売業で大幅に、サービス業で多少の改善をしたが、小売業や建設業、不動産業でやや悪化した。～

江戸川区内中小企業の景況・6業種推移(D.I.)



業況判断DI（季節調整済、「良い」企業割合－「悪い」企業割合）は-9.2（前期-8.3）と前期より0.9ポイント落ち込んだ。

業種別に見ると、卸売業が大幅に改善したが、小売業や建設業、不動産業でやや悪化した。

来期は、卸売業で幾分改善が見込まれるが、小売業では若干の落ち込みが見込まれる。それ以外の業種では前期並が続くと思われる。

	前期	今期	増減	来期予想	増減
製 造 業	-7.9	-9.1	-1.2	-11.0	-1.9
卸 売 業	-47.8	-35.5	12.3	-32.5	3.0
小 売 業	-17.7	-21.4	-3.7	-23.9	-2.5
サービ業	0.8	4.0	3.2	3.3	-0.7
建 設 業	-0.3	-2.6	-2.3	-0.9	1.7
不 動 産 業	9.5	6.8	-2.7	6.9	0.1
総 合	-8.3	-9.2	-0.9	-10.1	-0.9

※前期(2026年1～3月) 来期(2026年7～9月)

＜製造業＞

業況は前期並であった。売上額は変化なく、受注残は減少傾向が大きく増加、収益は減益幅が大幅に悪化した。

来期の業況は今期よりわずかに悪化すると予想している。売上額と受注残も減少傾向は今期並で推移し、収益は減益傾向が多少弱まると見ている。

＜卸売業＞

業況は悪化幅が大幅に緩和した。売上額と収益も水面下ではあるが非常に大きく持ち直した。価格面では、販売価格は大きく上昇し、仕入価格は上昇傾向がわずかに強まった。

来期の業況はわずかに改善すると予想している。売上額と収益は水面下ながら大きく改善し、持ち直すとは見ている。

＜小売業＞

業況は若干悪化した。売上額と収益は、ともに水面下で前期並であった。価格面では、販売価格が多少上昇し、仕入価格は大きく上昇した。

来期の業況は悪化幅がやや拡大すると予想している。売上額は減少幅が大幅に改善し、収益も減益幅がわずかに改善すると見ている。価格面では、販売価格はやや上昇し、仕入価格は今期並と見ている。

＜サービス業＞

業況は多少前期を上回った。売上額は前期同様の水準で、収益は前期並だが良好感が出た。価格面は、わずかに上昇し、材料価格は大きく上昇した。

来期の業況は今期並を維持すると予想している。売上額は大きく悪化に転じ、収益は今期並を維持すると見込まれる。価格面では、わずかに上昇し、材料価格はやや減少すると予想している。

＜建設業＞

業況はやや悪化した。売上額は大きく減少し水面下となり、受注残もかなり減少し再度水面下となった。施工高もやや減少に転じた。価格面では、請負価格は大きく減少し、材料価格は大きく上昇した。

来期の業況は横這いが続くとは見ている。売上額はやや減少し、受注残は今期並が見込まれる。施工高も若干減少し、価格面では、材料価格が大きく上昇すると見ている。

＜不動産業＞

業況は前期をやや下回った。売上額は水面下を脱して大きく上昇した。収益は前期並の減少が続いた。価格面では、販売価格は前期をやや上回り、仕入価格は前期並の水準が続いた。

来期の業況は今期並の水準が見込まれる。売上額は好調さを大きく強め、収益はプラスに大きく転じると予想している。

製 造 業

注：コメント中の（）内のD.I.値は（前々期→前期→今期）となっている。

（１）業況、売上額、受注残、収益

業況（△10.8→△7.9→△9.1）は前期同様で、変化はなかった。

売上額（△10.2→△5.9→△6.8）は前期同様で変化なく、受注残（△14.5→△3.6→△13.0）は悪化幅がかなり増えた。収益（△13.5→△6.7→△14.2）も悪化幅が大きく拡大した。

来期の見通しについて、業況（△11.0予想）は今期よりわずかに悪化して推移すると予想している。売上額（△7.3予想）と受注残（△11.7予想）は今期並の推移が見込まれ、収益（△11.0予想）は減益傾向が多少弱まると見ている。

（２）販売価格、原材料価格、原材料在庫数量

販売価格（15.1→13.3→14.1）と原材料価格（30.1→28.9→29.3）は前期並の推移であった。原材料在庫数量（0.5→1.3→1.0）は引続き適正範囲が保たれた。

来期の見通しについて、販売価格（12.9予想）と原材料価格（30.6予想）はともに前期同様に推移すると予想している。原材料在庫数量（1.2予想）は引続き適正範囲が保たれると予想している。

（３）資金繰り、借入難易度、設備投資動向

資金繰り（△7.1→△9.8→△7.7）は水面下ながらやや持ち直した。借入難易度（0.0→△6.4→△6.7）は前期同様の悪化幅であった。

設備投資を「実施した」企業（13.2→15.5→16.5）は、前期から1.0ポイント増加した。

来期の見通しについて、資金繰り（△7.7予想）は今期並が続くと予想している。

（４）残業時間、人手

残業時間（△5.2→△4.3→△2.6）は前期並の減少水準で推移し、人手（△14.9→△12.8→△6.9）は不足感が多少緩和した。

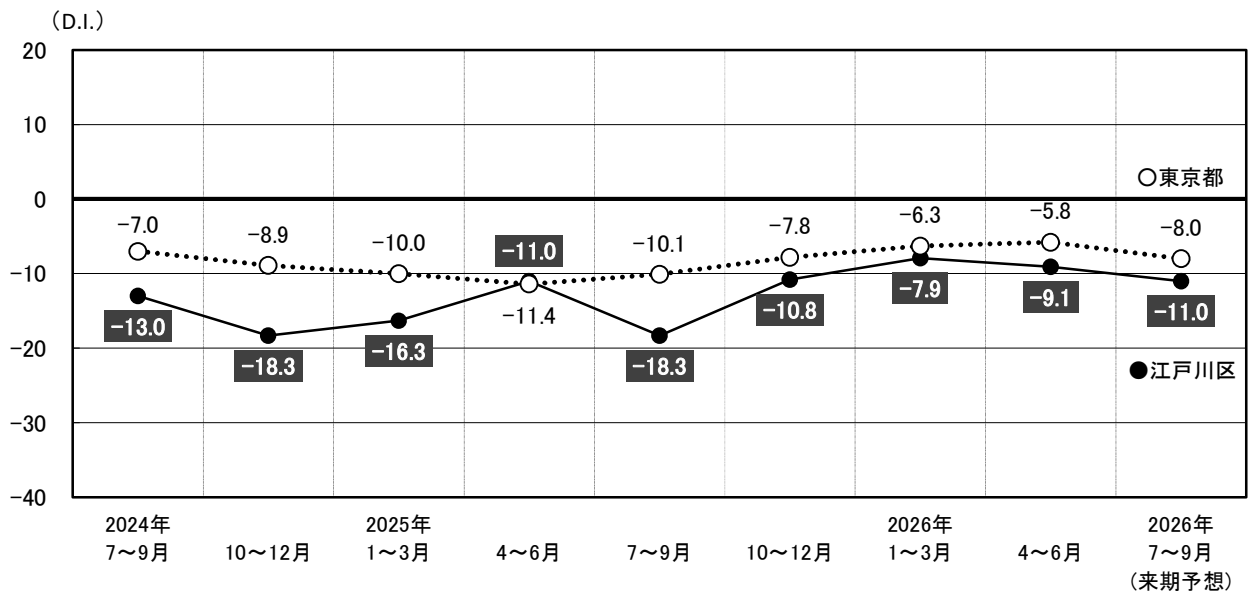
来期の見通しについて、残業時間（0.0予想）と、人手（△6.9予想）は今期並の推移が続くと予想している。

（５）経営上の問題点、重点経営施策

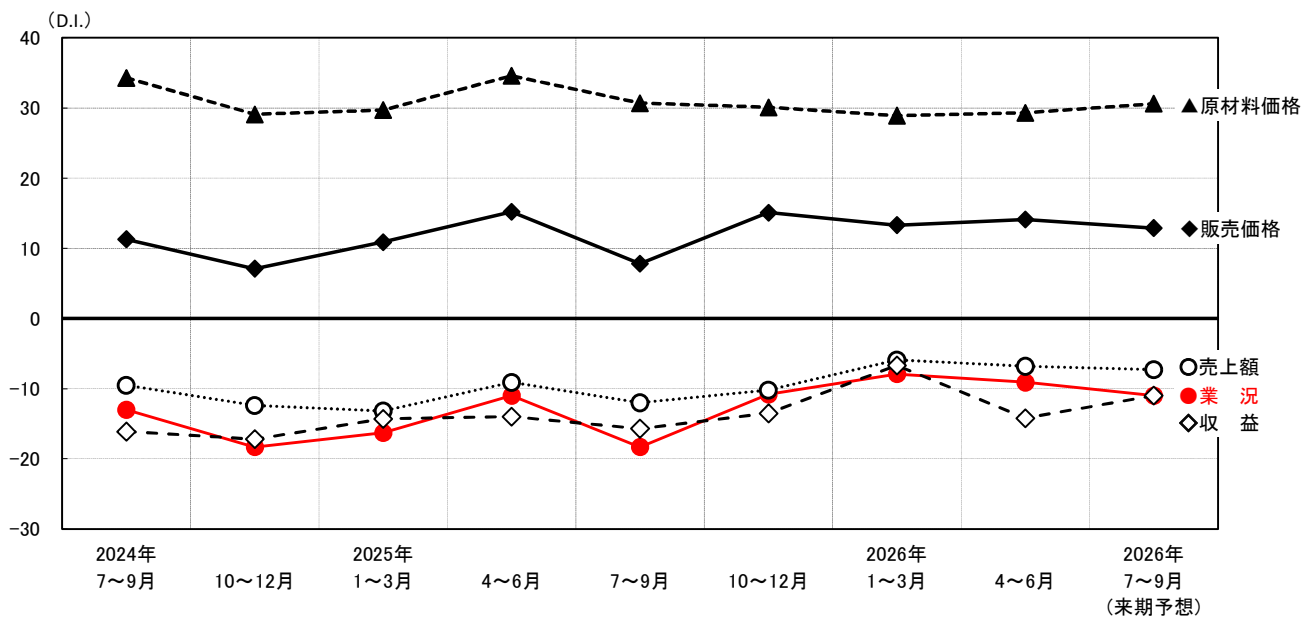
経営上の問題点は、「原材料高」（34.5%）が今期最多となった。以下、「売上の停滞・減少」（32.8%）、「人手不足」（18.1%）、「利幅の縮小」（15.5%）、「仕入先からの値上げ要請」（12.9%）の順であった。

重点経営施策は、「経費を節減する」（41.4%）が今期も最多となった。以下、「販路を広げる」（40.5%）、「人材を確保する」（21.6%）、「情報力を強化する」（15.5%）、「機械化を推進する」（10.3%）の順であった。

【製造業】 業況（江戸川区と東京都全体の比較）

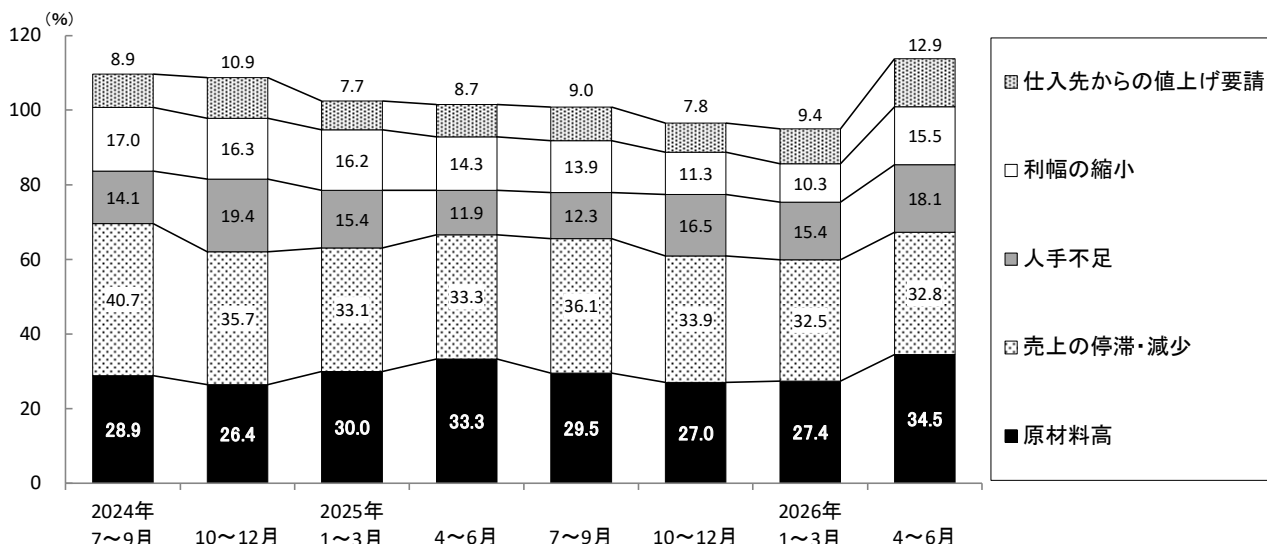


【製造業】 売上額・収益・販売価格・原材料価格の推移



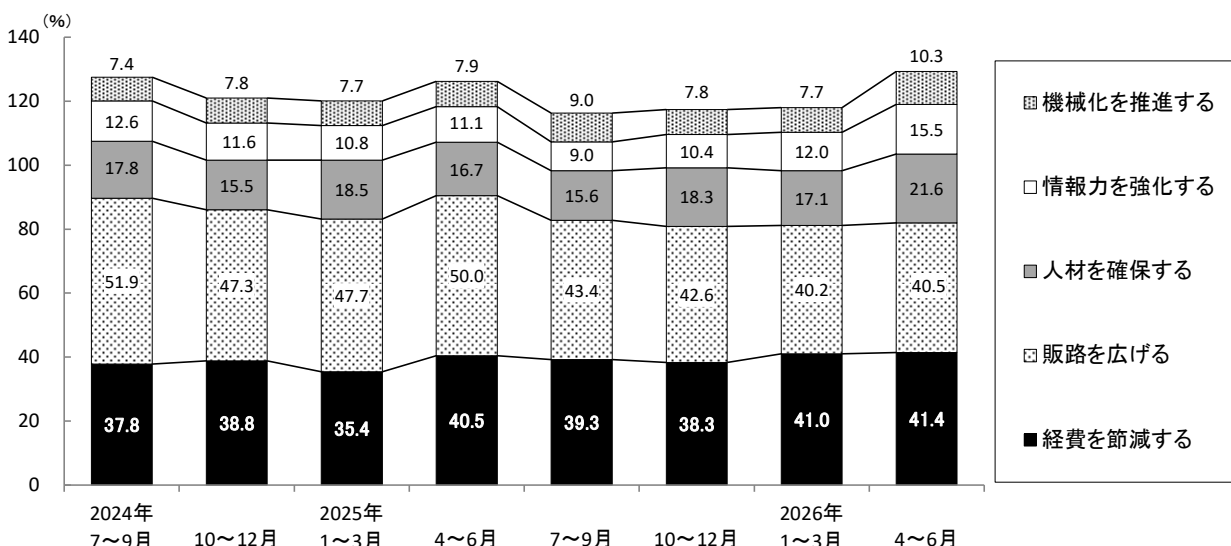
【製造業】	経営上の問題点	(複数回答)
-------	---------	--------

2025年7～9月期		2025年10～12月期		2026年1～3月期		2026年4～6月期	
売上の停滞・減少	36.1%	売上の停滞・減少	33.9%	売上の停滞・減少	32.5%	原材料高	34.5%
原材料高	29.5%	原材料高	27.0%	原材料高	27.4%	売上の停滞・減少	32.8%
利幅の縮小	13.9%	人手不足	16.5%	人手不足	15.4%	人手不足	18.1%
同業者間の競争の激化	13.1%	同業者間の競争の激化	14.8%	同業者間の競争の激化		利幅の縮小	15.5%
人手不足	12.3%	利幅の縮小 工場・機械の狭小・老朽化	11.3%	工場・機械の狭小・老朽化	12.0%	仕入先からの値上げ要請	12.9%



【製造業】	重点経営施策	(複数回答)
-------	--------	--------

2025年7～9月期		2025年10～12月期		2026年1～3月期		2026年4～6月期	
販路を広げる	43.4%	販路を広げる	42.6%	経費を節減する	41.0%	経費を節減する	41.4%
経費を節減する	39.3%	経費を節減する	38.3%	販路を広げる	40.2%	販路を広げる	40.5%
人材を確保する	15.6%	人材を確保する	18.3%	人材を確保する	17.1%	人材を確保する	21.6%
新製品・技術を開発する	9.8%	情報力を強化する	10.4%	情報力を強化する	12.0%	情報力を強化する	15.5%
情報力を強化する 機械化を推進する	9.0%	機械化を推進する	7.8%	機械化を推進する	7.7%	機械化を推進する	10.3%



製造業の中分類業種別動向

注：コメント中の（）内の今期D.I.値は（前々期→前期→今期）となっている。

① 食料品

業況（ $\Delta 14.5 \rightarrow \Delta 2.3 \rightarrow \Delta 17.9$ ）は悪化幅が大きく拡大した。売上額（ $\Delta 11.9 \rightarrow \Delta 2.2 \rightarrow \Delta 6.5$ ）はわずかに減少を強めた、受注残（ $\Delta 15.5 \rightarrow \Delta 2.2 \rightarrow \Delta 1.8$ ）はほぼ横這いであった。収益（ $\Delta 7.8 \rightarrow \Delta 1.9 \rightarrow 12.7$ ）は水面下を脱して大きく増加に転じた。

販売価格（ $52.0 \rightarrow 8.5 \rightarrow 12.7$ ）はやや上昇傾向を強め、原材料価格（ $77.0 \rightarrow 12.6 \rightarrow 21.2$ ）も大きく上昇幅が拡大した。原材料在庫数量（ $\Delta 1.1 \rightarrow 0.9 \rightarrow 0.6$ ）は適正水準（ ± 2.0 以内）が保たれた。

資金繰り（ $\Delta 23.3 \rightarrow \Delta 10.3 \rightarrow \Delta 15.2$ ）は窮屈感が強まり、借入難易度（ $0.0 \rightarrow 0.0 \rightarrow 0.0$ ）は前期同様変わらず推移した。

来期の見通しは、業況（ $\Delta 15.4$ 予想）は厳しさがわずかに和らぐと見ている。売上額（ $\Delta 6.3$ 予想）と受注残（ $\Delta 3.2$ 予想）は水面下で今年同様の水準で推移すると見られ、収益（ 10.8 予想）も今年並で推移すると見られる。価格面では、販売価格（ 11.7 予想）は今年同様で推移、原材料価格（ 27.7 予想）は大きく上昇すると見られる。原材料在庫数量（ $\Delta 1.0$ 予想）は引き続き適正範囲が保たれると見込んでいる。

② 一般、金型、電気、輸送、精密機械器具

業況（ $\Delta 9.9 \rightarrow \Delta 9.9 \rightarrow 7.3$ ）は大きくプラスに転じた。売上額（ $\Delta 7.1 \rightarrow \Delta 2.4 \rightarrow 12.6$ ）は15.0ポイント改善し好調に転じ、受注残（ $\Delta 5.2 \rightarrow \Delta 4.4 \rightarrow \Delta 0.8$ ）は減少幅がやや縮小した。収益（ $\Delta 19.1 \rightarrow \Delta 7.6 \rightarrow \Delta 5.8$ ）は前期並となった。

販売価格（ $10.9 \rightarrow 21.0 \rightarrow 6.8$ ）は好調感が後退した。原材料価格（ $22.9 \rightarrow 32.1 \rightarrow 36.2$ ）は多少上昇傾向が強まった。原材料在庫数量（ $12.6 \rightarrow 10.9 \rightarrow 9.0$ ）は引き続き過剰感が続いた。

資金繰り（ $6.1 \rightarrow \Delta 15.7 \rightarrow \Delta 1.3$ ）は水面下ながら大きく改善し、借入難易度（ $10.5 \rightarrow 5.8 \rightarrow \Delta 5.0$ ）は一転して悪化に転じた。

来期の見通しは、業況（ $\Delta 5.1$ 予想）は厳しい状況に転じると見ている。売上額（ 1.8 予想）は増加幅が大きく後退し、受注残（ $\Delta 3.6$ 予想）は悪化に転じ、収益（ $\Delta 5.9$ 予想）は今年同様の減少・減益が続くと予想している。価格面では、販売価格（ 12.9 予想）は前期並、原材料価格（ 34.7 予想）は大きく上昇すると見ている。原材料在庫数量（ 8.8 予想）は引き続き過剰感が残ると予想している。

③ 金属製品、建設用金属製品

業況（ $\Delta 15.5 \rightarrow \Delta 6.0 \rightarrow \Delta 0.6$ ）は5.4ポイント増と引き続き水面下ながらやや改善した。売上額は（ $\Delta 12.3 \rightarrow \Delta 9.1 \rightarrow \Delta 2.4$ ）若干改善し、収益（ $\Delta 18.3 \rightarrow \Delta 13.1 \rightarrow \Delta 8.0$ ）はわずかに改善し、受注残（ $\Delta 7.8 \rightarrow \Delta 1.7 \rightarrow \Delta 12.2$ ）は厳しさを大きく増した。

販売価格（ $\Delta 2.5 \rightarrow 8.7 \rightarrow 15.6$ ）と原材料価格（ $28.2 \rightarrow 25.4 \rightarrow 37.0$ ）は前期を大きく上回り、原材料在庫数量（ $2.8 \rightarrow \Delta 1.8 \rightarrow 0.6$ ）は過剰に転じた。

資金繰り（ $\Delta 1.7 \rightarrow \Delta 2.5 \rightarrow \Delta 3.0$ ）は窮屈感が前期並で推移し、借入難易度（ $12.5 \rightarrow 11.1 \rightarrow 11.1$ ）も容易さが続いた。

来期の見通しは、業況（ $\Delta 5.7$ 予想）は悪化幅が多少拡大すると見ている。売上額（ $\Delta 5.8$ 予想）と受注残（ $\Delta 10.4$ 予想）、収益（ $\Delta 10.9$ 予想）は減少・減益幅が多少悪化すると予想している。価格面では、販売価格（ 5.2 予想）は上昇傾向を弱め、原材料価格（ 37.9 予想）は今年並の推移と見ている。原材料在庫数量（ $\Delta 0.6$ 予想）は適正水準が続くと予想している。

④ パルプ・紙、印刷、製本業

業況（ $\Delta 6.0 \rightarrow \Delta 18.7 \rightarrow \Delta 19.8$ ）は前期同様の厳しさを推移した。収益（ $0.8 \rightarrow \Delta 4.5 \rightarrow \Delta 33.3$ ）は非常に大きな悪化幅で推移した。売上額（ $\Delta 0.9 \rightarrow \Delta 10.1 \rightarrow \Delta 13.5$ ）はやや減少を強め、受注残（ $\Delta 16.8 \rightarrow \Delta 8.7 \rightarrow \Delta 13.0$ ）は減少幅が拡大した。

販売価格（ $23.6 \rightarrow 24.1 \rightarrow 16.5$ ）は上昇幅が大きく縮小し、原材料価格（ $38.3 \rightarrow 51.5 \rightarrow 40.2$ ）も上昇幅が縮小した。原材料在庫数量（ $\Delta 0.6 \rightarrow 5.4 \rightarrow 1.2$ ）は過剰感が緩和した。

資金繰り（ $\Delta 23.4 \rightarrow \Delta 27.3 \rightarrow \Delta 28.8$ ）は窮屈感が前期並、借入難易度（ $\Delta 7.1 \rightarrow \Delta 14.3 \rightarrow \Delta 21.5$ ）は厳しさが7.2ポイント拡大し大きく悪化した。

来期の見通しは、業況（ $\Delta 29.9$ 予想）は減少幅がかなり拡大すると見ている。売上額（ $\Delta 22.6$ 予想）は減少幅が拡大し、収益（ $\Delta 29.7$ 予想）はやや改善が進むが、受注残（ $\Delta 23.3$ 予想）は減少幅が拡大すると予想している。価格面では、販売価格（ 20.1 予想）と原材料価格（ 54.3 予想）は、ともに今年よりさらに上昇傾向を強めると見ている。原材料在庫数量（ $\Delta 0.5$ 予想）は適正範囲になると予想している。

⑤ 木材・木製品、家具・装備品

業況（ $\Delta 20.1 \rightarrow \Delta 11.5 \rightarrow \Delta 16.2$ ）は 4.7 ポイント減とやや悪化した。売上額（ $\Delta 8.8 \rightarrow \Delta 1.0 \rightarrow \Delta 10.6$ ）は 9.6 ポイント減と大きく低迷し、収益（ $\Delta 13.9 \rightarrow \Delta 12.1 \rightarrow \Delta 10.0$ ）は一転して非常に大きく減益に転じた。受注残（ $\Delta 35.7 \rightarrow \Delta 11.9 \rightarrow \Delta 17.5$ ）は減少幅が 5.6 ポイント悪化した。

販売価格（ $0.6 \rightarrow 5.5 \rightarrow \Delta 10.1$ ）は上昇から下降に転じ、原材料価格（ $29.8 \rightarrow 23.6 \rightarrow 13.0$ ）は上昇幅が縮小した。原材料在庫数量（ $6.0 \rightarrow \Delta 7.2 \rightarrow \Delta 8.9$ ）は前期並に推移した。

資金繰り（ $4.9 \rightarrow \Delta 6.4 \rightarrow \Delta 5.0$ ）は窮屈感が続き、借入難易度（ $0.0 \rightarrow \Delta 20.0 \rightarrow \Delta 25.0$ ）も厳しさがわずかに悪化した。

来期の見通しは、業況（ $\Delta 12.8$ 予想）は悪化幅がやや改善すると見ている。売上額（ $\Delta 19.2$ 予想）は減少を強め、収益（ $\Delta 21.9$ 予想）も減益幅が拡大すると見られる。受注残（ $\Delta 24.3$ 予想）は減少傾向が進むと予想している。価格面では、販売価格（ $\Delta 8.0$ 予想）と原材料価格（ 10.3 予想）は、ともに今期同様の推移と見ている。原材料在庫数量（ 1.0 予想）は適正水準が保たれると予想している。

⑥ 繊維工業、衣服・その他の繊維製品

業況（ $\Delta 13.5 \rightarrow \Delta 17.9 \rightarrow \Delta 29.0$ ）は 11.1 ポイント減と大きく悪化した。売上額（ $\Delta 32.6 \rightarrow \Delta 21.5 \rightarrow \Delta 43.1$ ）は再び減少の水準が大きく悪化した。受注残（ $\Delta 34.3 \rightarrow \Delta 21.4 \rightarrow \Delta 42.1$ ）と収益（ $\Delta 15.9 \rightarrow \Delta 18.9 \rightarrow \Delta 39.4$ ）も非常に大きく減少・減益幅が拡大した。

販売価格（ $11.8 \rightarrow 1.5 \rightarrow 1.7$ ）は前期並に推移し、原材料価格（ $20.6 \rightarrow 17.6 \rightarrow \Delta 1.3$ ）は下降に転じて厳しい状況となった。原材料在庫数量（ $\Delta 11.9 \rightarrow 7.1 \rightarrow \Delta 8.5$ ）は一転して品薄感が強まった。

資金繰り（ $\Delta 16.7 \rightarrow 1.9 \rightarrow \Delta 20.2$ ）は再び窮屈さを大きく増し、借入難易度（ $\Delta 20.0 \rightarrow \Delta 30.0 \rightarrow \Delta 22.2$ ）は悪化幅がかなり改善した。

来期の見通しは、業況（ $\Delta 11.0$ 予想）と売上額（ $\Delta 16.7$ 予想）は悪化幅が改善すると見ている。受注残（ $\Delta 18.7$ 予想）、収益（ $\Delta 15.5$ 予想）は、水面下ながら大きく改善と予想している。価格面では、販売価格（ 0.1 予想）、原材料価格（ $\Delta 0.6$ 予想）は適正範囲と見ている。原材料在庫数量（ $\Delta 7.1$ 予想）は前期並の不足感が続くと予想している。

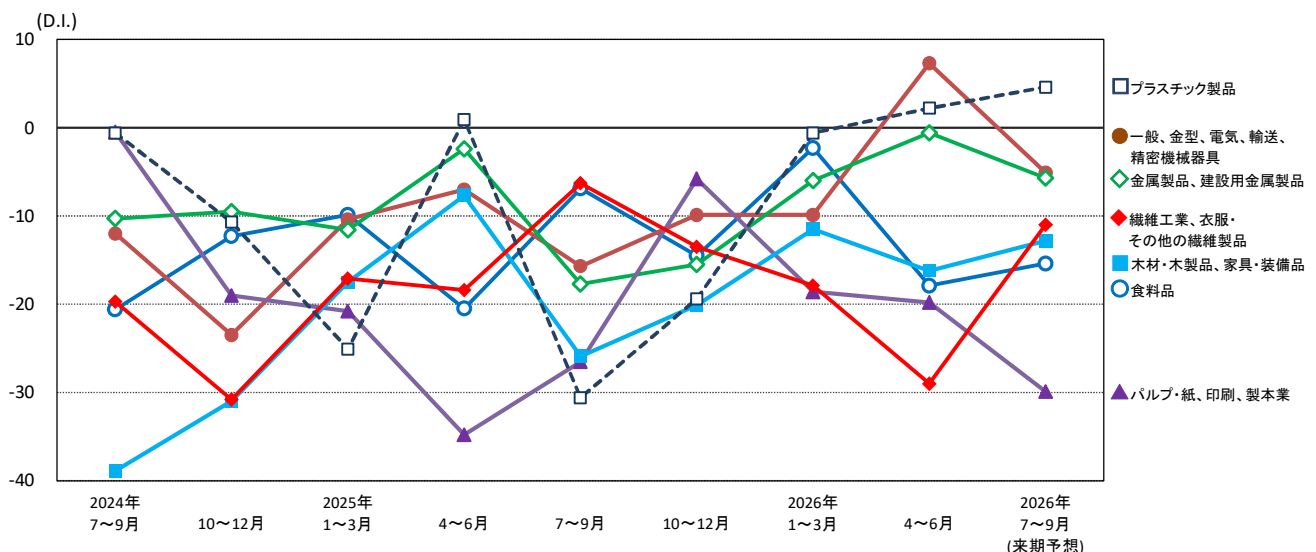
⑦ プラスチック製品

業況（ $\Delta 19.4 \rightarrow \Delta 0.6 \rightarrow 2.2$ ）は好調に転じた。売上額（ $\Delta 7.1 \rightarrow 5.3 \rightarrow 4.1$ ）は前期並に推移し、受注残（ $\Delta 8.9 \rightarrow 5.2 \rightarrow \Delta 12.9$ ）は悪化に転じ、収益（ $\Delta 21.3 \rightarrow 7.2 \rightarrow 1.7$ ）も好調感が後退した。

販売価格（ $21.8 \rightarrow 20.7 \rightarrow 25.5$ ）はわずかに上昇幅が縮小し、原材料価格（ $31.4 \rightarrow 25.6 \rightarrow \Delta 1.1$ ）と原材料在庫数量（ $0.2 \rightarrow 0.3 \rightarrow \Delta 2.5$ ）は下降に転じた。

資金繰り（ $\Delta 2.2 \rightarrow 0.0 \rightarrow 2.7$ ）は前期を上回り、借入難易度（ $0.0 \rightarrow 0.0 \rightarrow 0.0$ ）は前期同様に推移した。

来期の見通しは、業況（ 4.6 予想）は好調さを増す一方、売上額（ $\Delta 4.5$ 予想）は悪化に転じると見ている。収益（ 6.3 予想）は、今期より大幅に改善すると予想している。受注残（ $\Delta 8.2$ 予想）は今期並に推移し、価格面では、販売価格（ 16.9 予想）は大きく後退し、原材料価格（ $\Delta 2.0$ 予想）は適正範囲になると見ている。原材料在庫数量（ $\Delta 3.1$ 予想）は今期並の不足感が続くと見ている。



卸 売 業

注：コメント中の（）内のD.I.値は（前々期→前期→今期）となっている。

（１）業況、売上額、収益

業況（△32.6→△47.8→△35.5）は悪化幅がかなり緩和した。

売上額（△36.0→△69.0→△36.3）と収益（△28.2→△69.5→△38.0）は、ともに水面下ながら非常に大きく持ち直した。

来期の見通しについて、業況（△32.5予想）はわずかに改善すると予想している。

売上額（△17.7予想）と収益（△21.2予想）は水面下ながら大きく改善し、持ち直すと見ている。

（２）販売価格、仕入価格、在庫数量

販売価格（31.7→33.3→50.5）は大きく上昇となった。仕入価格（51.3→55.3→59.8）は上昇傾向がわずかに強まった。在庫数量（1.9→0.4→14.2）は大きく過剰感が強まった。

来期の見通しについて、販売価格（43.0 予想）と仕入価格（57.6 予想）はともに上昇傾向が大きく弱まると見ている。在庫数量（18.3 予想）は多少過剰感が増すと予想している。

（３）資金繰り、借入難易度、設備投資動向

資金繰り（△10.9→△13.1→△12.8）は前期並の窮屈感が続き、借入難易度（9.1→10.0→7.7）はやや容易な状況が続いた。

設備投資を「実施した」企業（35.7→20.0→14.3）は、前期から5.7ポイント減少した。

来期の見通しについて、資金繰り（△15.5 予想）はかなり窮屈な状況に転じると予想している。

（４）残業時間、人手

残業時間（0.0→0.0→△6.3）は大きく減少し、人手（△33.3→△25.0→△33.3）は不足感が大きく強まった。

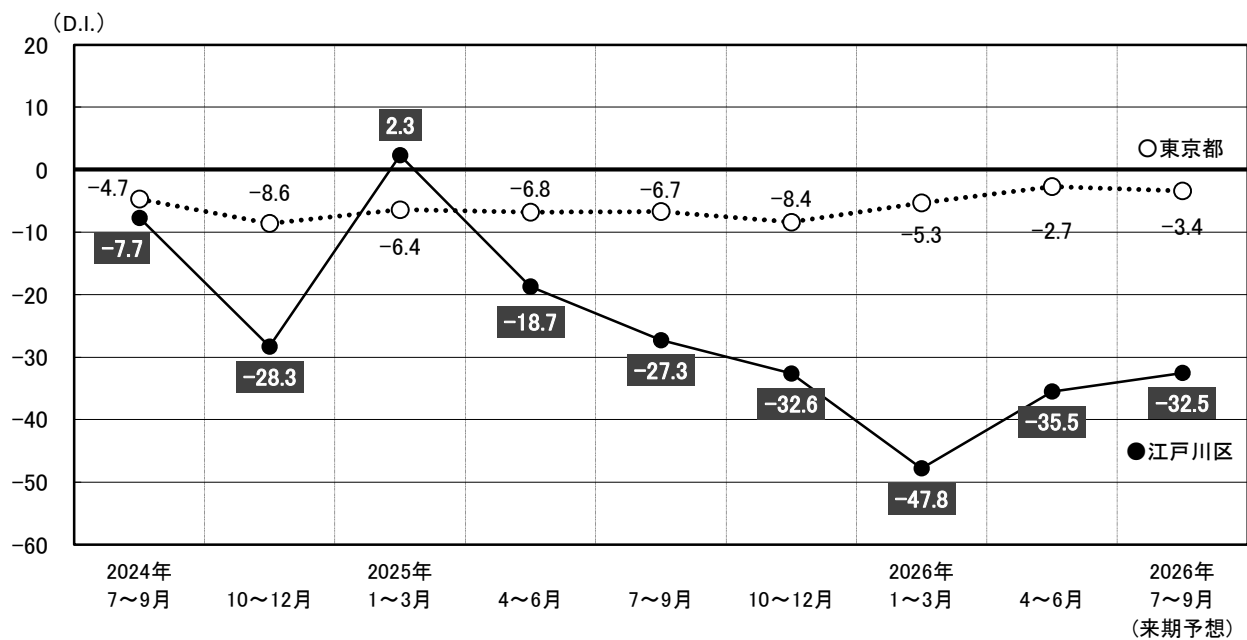
来期の見通しについて、残業時間（0.0 予想）は大きく減少するが、人手（△33.3 予想）は今期並の不足感が続くとは予想している。

（５）経営上の問題点、重点経営施策

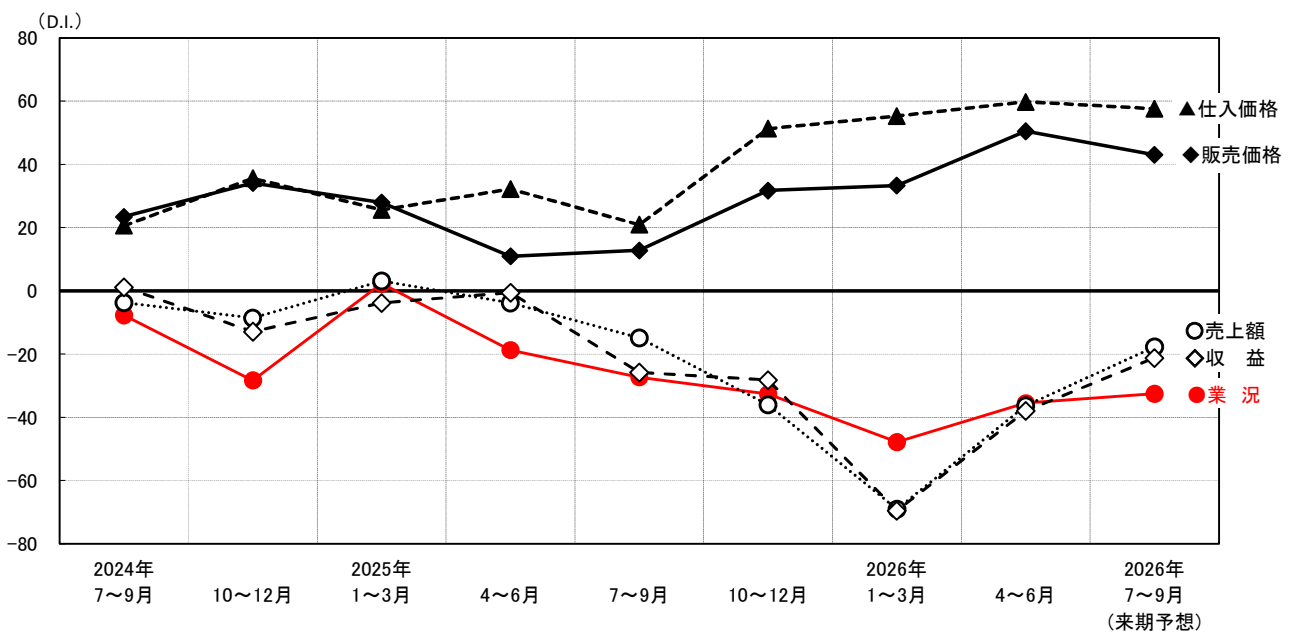
経営上の問題点は、「売上の停滞・減少」と「人手不足」（各31.3%）で今期は最多となった。以下、「仕入れ先からの値上げ要請」、「取引先の減少」（各25.0%）、「同業者間の競争の激化」と「為替レートの変動」（ともに18.8%）の順であった。

重点経営施策は、「販路を広げる」（62.5%）が今期も最多となった。以下、「経費を節減する」（37.5%）、「人材を確保する」（31.3%）、「情報力を強化する」（25.0%）、「品揃えを充実する」（18.8%）の順であった。

【卸売業】 業況（江戸川区と東京都全体の比較）

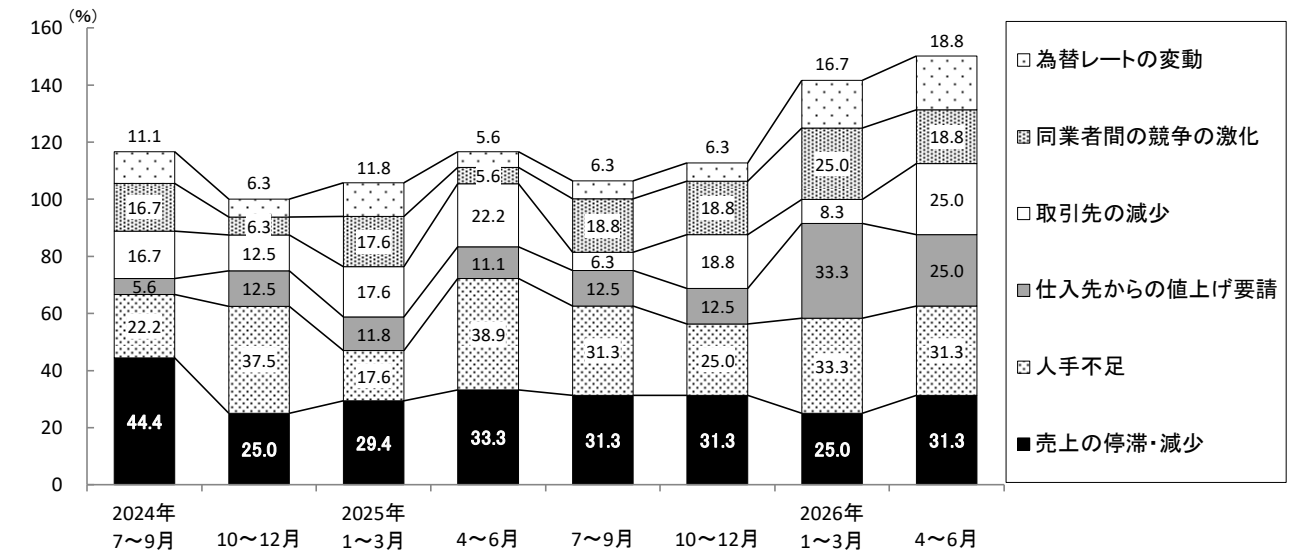


【卸売業】 売上額・収益・販売価格・仕入価格の推移



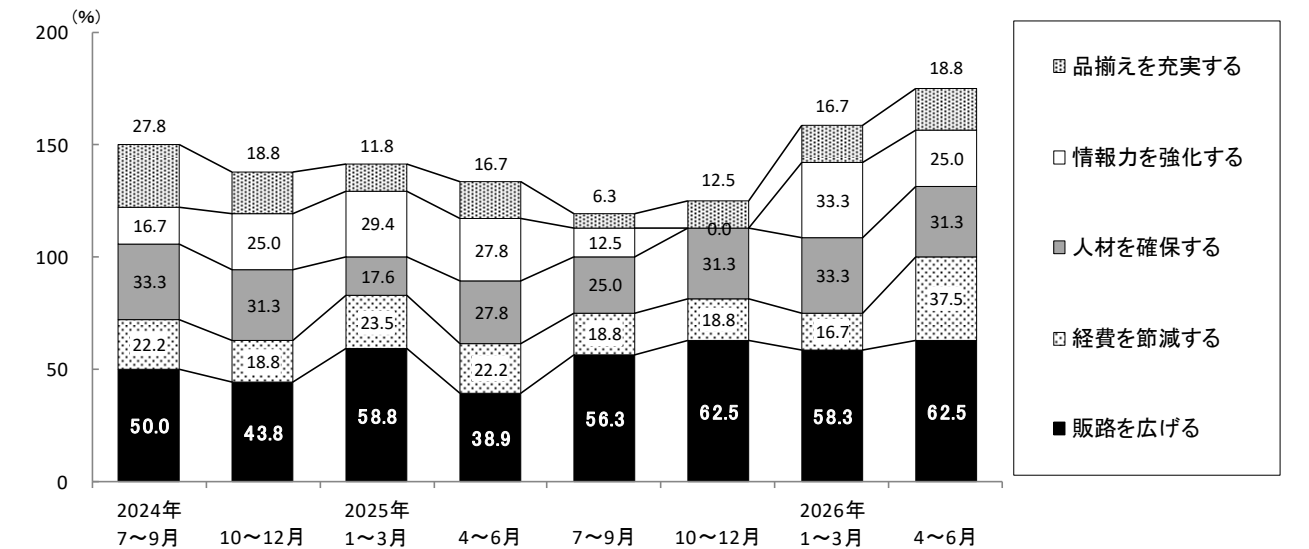
【卸売業】	経営上の問題点	(複数回答)
-------	---------	--------

2025年7～9月期		2025年10～12月期		2026年1～3月期		2026年4～6月期	
売上の停滞・減少	31.3%	売上の停滞・減少	31.3%	人手不足	33.3%	売上の停滞・減少	31.3%
人手不足		人手不足	25.0%	仕入先からの値上げ要請		人手不足	
同業者間の競争の激化	18.8%	同業者間の競争の激化	18.8%	売上の停滞・減少	25.0%	仕入先からの値上げ要請	25.0%
人件費の増加 仕入先からの値上げ要請 販売商品の不足	12.5%	取引先の減少		同業者間の競争の激化		取引先の減少	
			仕入先からの値上げ要請 販売商品の不足	12.5%	為替レートの変動	16.7%	同業者間の競争の激化 為替レートの変動



【卸売業】	重点経営施策	(複数回答)
-------	--------	--------

2025年7～9月期		2025年10～12月期		2026年1～3月期		2026年4～6月期	
販路を広げる	56.3%	販路を広げる	62.5%	販路を広げる	58.3%	販路を広げる	62.5%
人材を確保する	25.0%	人材を確保する	31.3%	情報力を強化する	33.3%	経費を節減する	37.5%
経費を節減する	18.8%	経費を節減する	18.8%	人材を確保する		人材を確保する	31.3%
情報力を強化する	12.5%	新しい事業を始める 品揃えを充実する 提携先を見つける 労働条件を改善する	12.5%	経費を節減する 新しい事業を始める 品揃えを充実する 提携先を見つける	16.7%	情報力を強化する	25.0%
新しい事業を始める						品揃えを充実する	18.8%



(注: 今期の上位5項目を基準に作表しているため、前期以前の項目は上位5項目となっていない場合があります。)

小 売 業

注：コメント中の（）内のD.I.値は（前々期→前期→今期）となっている。

（１）業況、売上額、収益

業況（△22.3→△17.7→△21.4）は悪化幅がわずかに拡大した。

売上額（△10.9→△16.3→△16.3）と収益（△12.0→△18.5→△19.1）は、ともに水面下で前期同様変化なかった。

来期の見通しについて、業況（△23.9予想）は悪化幅がわずかに拡大すると予想している。売上額（△9.2予想）は減少幅が大幅に改善し、収益（△16.3予想）も減益幅がわずかに改善すると見ている。

（２）販売価格、仕入価格、在庫数量

販売価格（13.9→7.5→12.7）は上昇傾向がわずかに強まり、仕入価格（26.8→19.4→29.8）も大きく上昇した。

在庫数量（5.8→△4.0→△3.4）は、前期同様で変化はなかった。

来期の見通しについて、販売価格（17.4予想）はやや上昇し、仕入価格（28.0予想）は、今期並で推移すると見ている。在庫数量（△4.3予想）は今期並に推移すると予想している。

（３）資金繰り、借入難易度、設備投資動向

資金繰り（△15.5→△15.4→△16.2）は前期同様の推移となり、借入難易度（△15.6→△19.0→△11.7）は水面下ながら前期より大きく改善した。

設備投資を「実施した」企業（6.9→5.6→3.6）は、前期よりわずかに減少した。

来期の見通しについて、資金繰り（△17.4予想）は今期並の水準が続くと予想している。

（４）残業時間、人手

残業時間（0.0→△5.5→△7.3）と、人手（△1.8→△3.7→△3.6）は横這いで推移した。

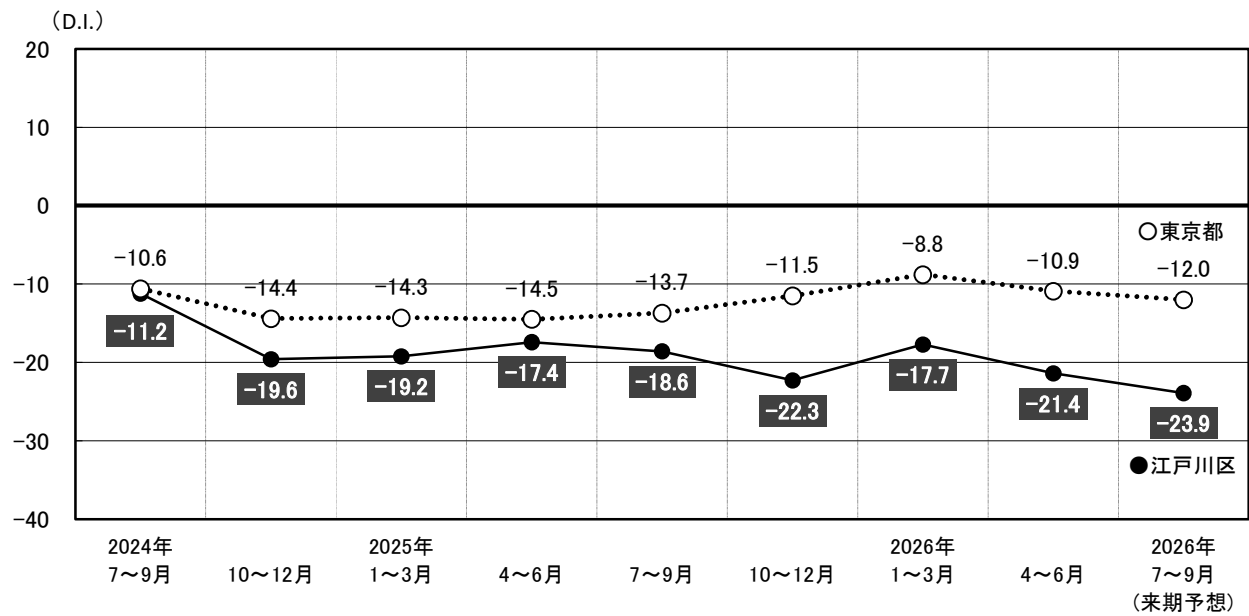
来期の見通しについて、残業時間（△7.4予想）と、人手（△3.7予想）は今期並に推移すると予想している。

（５）経営上の問題点、重点経営施策

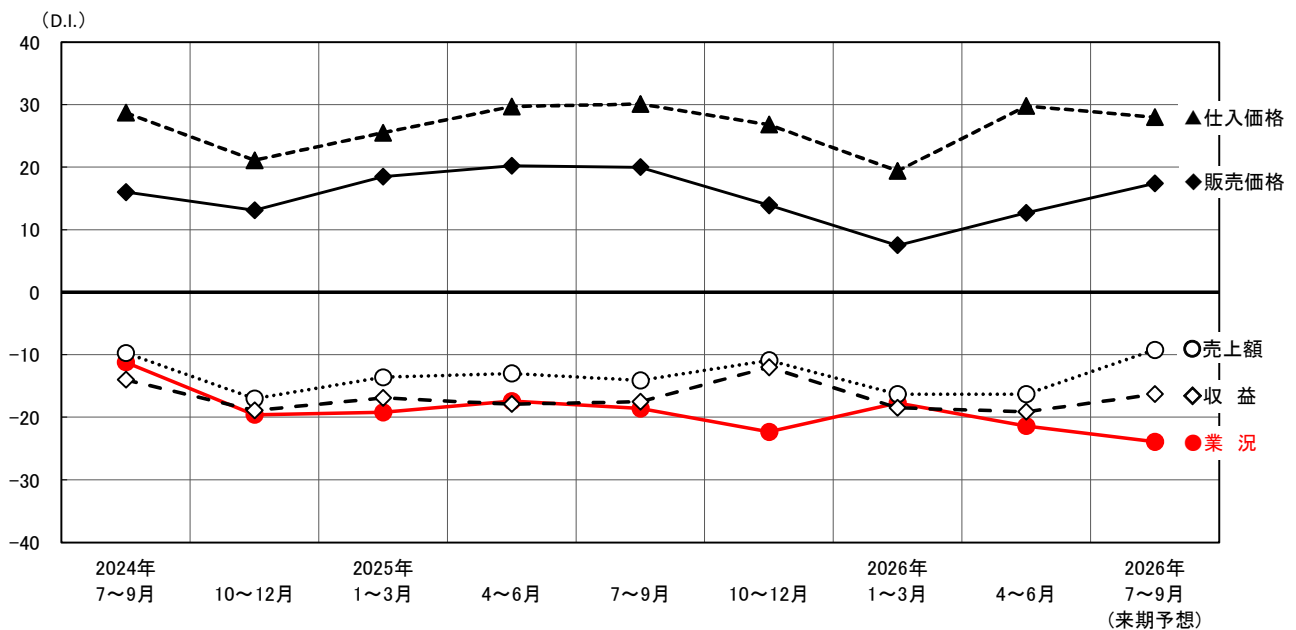
経営上の問題点は、「売上の停滞・減少」（30.9%）が今期も最多となった。以下、「仕入れ先からの値上げ要請」（20.0%）、「利幅の縮小」と「人件費の増加」（各18.2%）、「同業者間の競争の激化」（16.4%）の順であった。

重点経営施策は、「経費を節減する」（43.6%）が今期も最多となった。以下、「品揃えを改善する」（21.8%）、「宣伝・広告を強化する」（16.4%）、「仕入れ先を開拓・選別する」（14.5%）、「売れ筋商品を取り扱う」（12.7%）の順であった。

【小売業】 業況（江戸川区と東京都全体の比較）

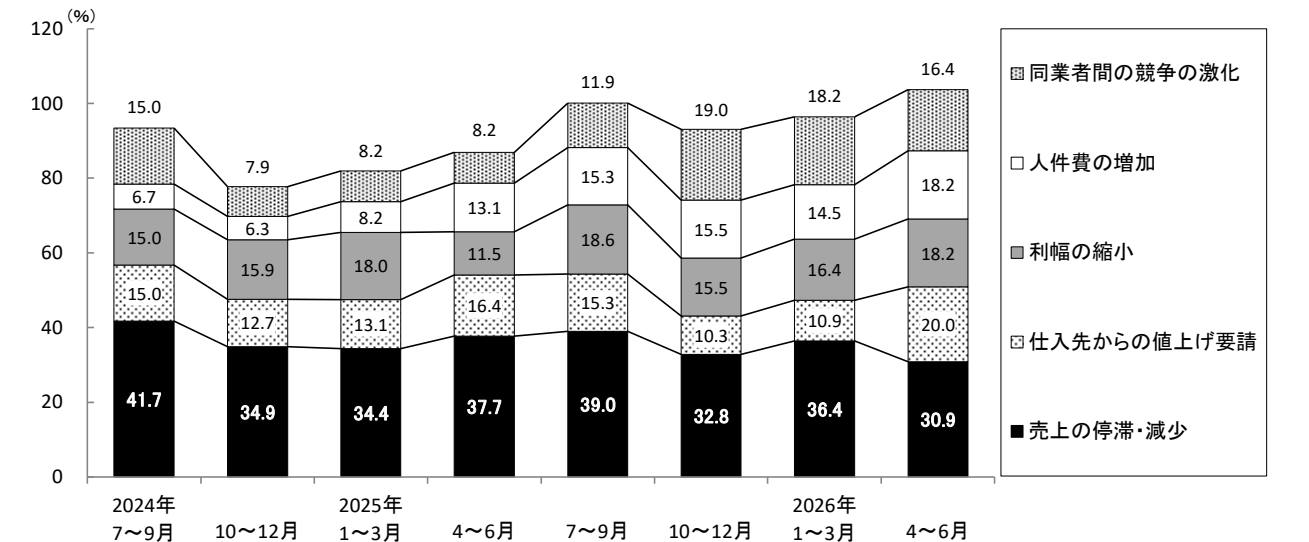


【小売業】 売上額・収益・販売価格・仕入価格の推移



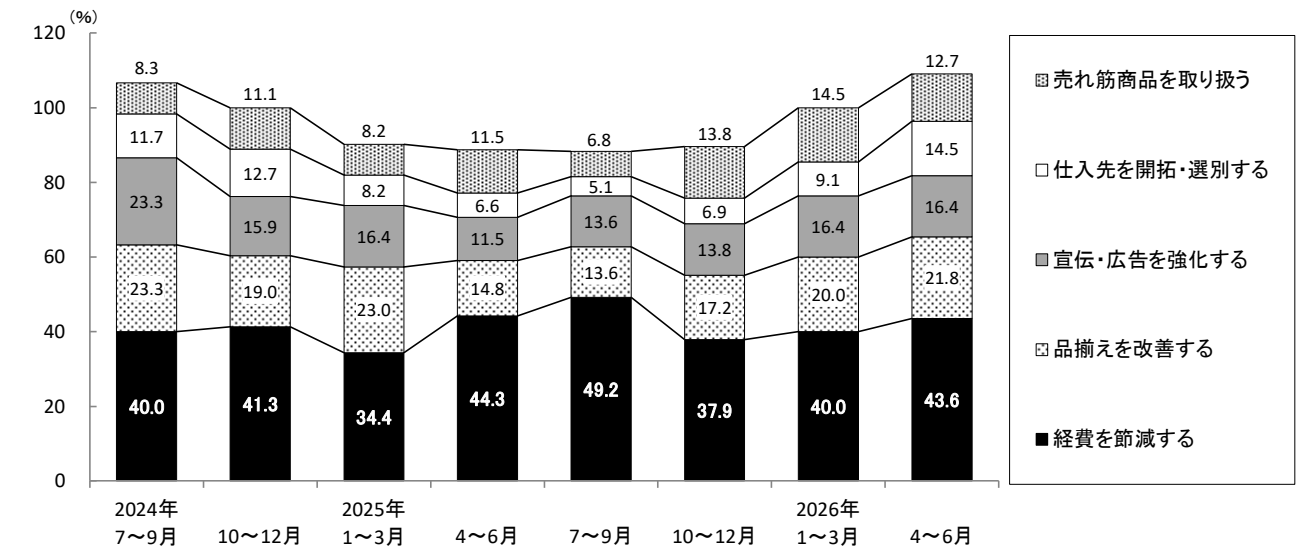
【小売業】	経営上の問題点	(複数回答)
-------	---------	--------

2025年7～9月期		2025年10～12月期		2026年1～3月期		2026年4～6月期	
売上の停滞・減少	39.0%	売上の停滞・減少	32.8%	売上の停滞・減少	36.4%	売上の停滞・減少	30.9%
利幅の縮小	18.6%	同業者間の競争の激化	19.0%	同業者間の競争の激化	18.2%	仕入先からの値上げ要請	20.0%
仕入先からの値上げ要請	15.3%	利幅の縮小	15.5%	利幅の縮小	16.4%	利幅の縮小	18.2%
人件費の増加		人件費の増加		人件費の増加	14.5%	人件費の増加	
同業者間の競争の激化 大型店との競争の激化	11.9%	大型店との競争の激化	12.1%	大型店との競争の激化		同業者間の競争の激化	16.4%



【小売業】	重点経営施策	(複数回答)
-------	--------	--------

2025年7～9月期		2025年10～12月期		2026年1～3月期		2026年4～6月期	
経費を節減する	49.2%	経費を節減する	37.9%	経費を節減する	40.0%	経費を節減する	43.6%
品揃えを改善する	13.6%	品揃えを改善する	17.2%	品揃えを改善する	20.0%	品揃えを改善する	21.8%
宣伝・広告を強化する		宣伝・広告を強化する	13.8%	宣伝・広告を強化する	16.4%	宣伝・広告を強化する	16.4%
売れ筋商品を取り扱う	6.8%	売れ筋商品を取り扱う		売れ筋商品を取り扱う	14.5%	仕入先を開拓・選別する	14.5%
仕入先を開拓・選別する 商店街事業を活性化させる 機械化を推進する 人材を確保する	5.1%	仕入先を開拓・選別する	6.9%	仕入先を開拓・選別する	9.1%	売れ筋商品を取り扱う	12.7%



小売業の中分類業種別動向

注：コメント中の（）内の今期D.I.値は（前々期→前期→今期）となっている。

① 家具・じゅう器、家電・家庭用機械

業況（ $\Delta 30.7 \rightarrow \Delta 23.1 \rightarrow \Delta 27.7$ ）は悪化幅がわずかに強まった。売上額（ $\Delta 31.8 \rightarrow \Delta 11.7 \rightarrow \Delta 27.6$ ）と収益（ $\Delta 29.1 \rightarrow \Delta 13.9 \rightarrow \Delta 29.3$ ）は減少・減益傾向が大きく強まった。

販売価格（ $3.3 \rightarrow 0.6 \rightarrow \Delta 6.0$ ）は下降に転じ、仕入価格（ $\Delta 1.5 \rightarrow \Delta 16.3 \rightarrow 6.8$ ）は大きく上昇に転じた。在庫数量（ $5.0 \rightarrow \Delta 1.5 \rightarrow \Delta 1.5$ ）は適正範囲が保たれた。

資金繰り（ $\Delta 28.5 \rightarrow \Delta 13.3 \rightarrow \Delta 13.3$ ）は前期並の窮屈感が続き、借入難易度（ $\Delta 16.7 \rightarrow \Delta 20.0 \rightarrow \Delta 20.0$ ）は前期並が続いた。

来期の見通しは、業況（ $\Delta 30.3$ 予想）はわずかに悪化し、売上額（ $\Delta 28.0$ 予想）と収益（ $\Delta 28.7$ 予想）は前期並の水準が続くと見ている。価格面では、販売価格（ $\Delta 6.5$ 予想）は下降に転じ、仕入価格（ 5.1 予想）は上昇幅が弱まると予想している。在庫数量（ $\Delta 3.5$ 予想）は品薄感が強まると見込んでいる。

② 飲食料品

業況（ $\Delta 25.7 \rightarrow \Delta 30.1 \rightarrow \Delta 28.3$ ）は前期並の悪化幅が続いた。売上額（ $\Delta 9.2 \rightarrow \Delta 12.2 \rightarrow \Delta 9.1$ ）は悪化幅がわずかに緩和し、収益（ $\Delta 10.0 \rightarrow \Delta 23.5 \rightarrow \Delta 17.4$ ）は悪化幅が大きく緩和した。

販売価格（ $32.2 \rightarrow 30.9 \rightarrow 33.0$ ）は前期同様の上昇を保ったが、仕入価格（ $42.4 \rightarrow 34.7 \rightarrow 44.7$ ）は10.0ポイント上昇した。在庫数量（ $\Delta 10.7 \rightarrow \Delta 0.9 \rightarrow 0.8$ ）は不足感が改善しプラスで適正範囲となった。

資金繰り（ $\Delta 22.2 \rightarrow \Delta 15.6 \rightarrow \Delta 18.6$ ）は窮屈感がやや強まり、借入難易度（ $\Delta 16.6 \rightarrow \Delta 15.8 \rightarrow \Delta 9.5$ ）は厳しさが大きく和らいだ。

来期の見通しは、業況（ $\Delta 37.1$ 予想）は厳しさが大きく増すと予想している。売上額（ $\Delta 10.0$ 予想）は前期同様の推移、収益（ $\Delta 26.4$ 予想）は減少幅が拡大すると見ている。価格面では、販売価格（ 31.1 予想）は前期並に推移し、仕入価格（ 33.2 予想）は、上昇幅が弱まると予想している。在庫数量（ $\Delta 1.1$ 予想）は適正範囲におさまると予想している。

③ 衣服、呉服、身の回り品

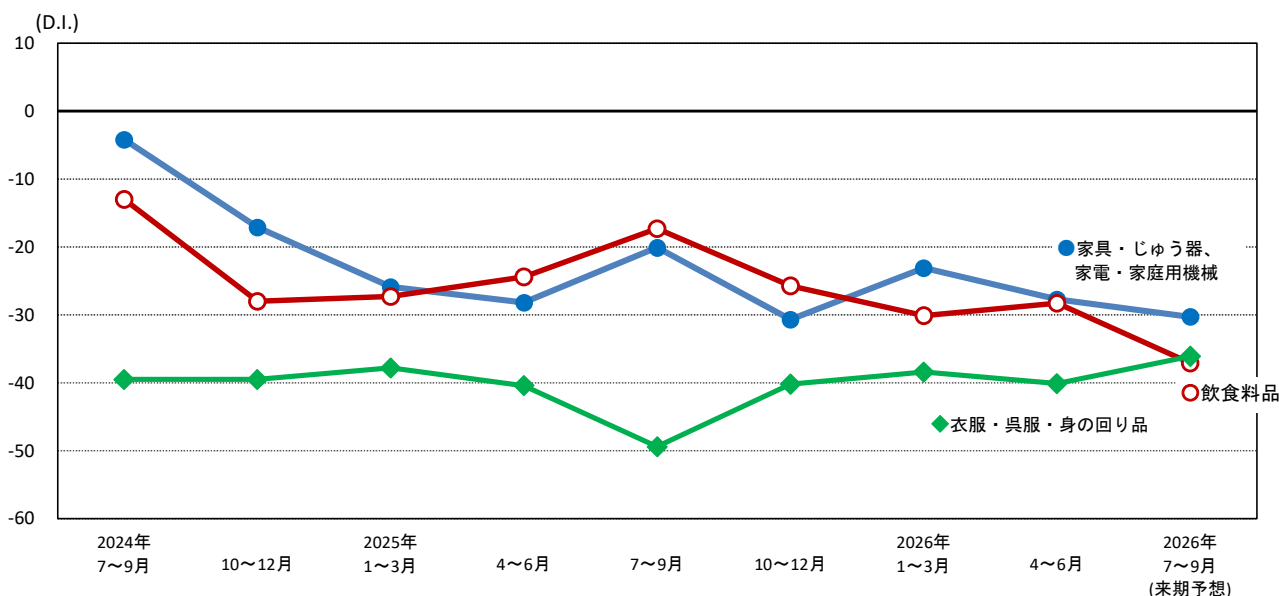
業況（ $\Delta 40.2 \rightarrow \Delta 38.4 \rightarrow \Delta 40.1$ ）は前期並の推移となった。売上額（ $\Delta 20.9 \rightarrow \Delta 21.5 \rightarrow \Delta 19.0$ ）はやや持ち直し、収益（ $\Delta 21.3 \rightarrow \Delta 21.0 \rightarrow \Delta 37.2$ ）は大きく減少幅を強めた。

販売価格（ $\Delta 17.6 \rightarrow \Delta 21.1 \rightarrow \Delta 2.2$ ）は下降が改善して厳しさが和らいだ、仕入価格（ $36.1 \rightarrow 2.1 \rightarrow 2.5$ ）は前期並の推移となった。在庫数量（ $34.2 \rightarrow \Delta 9.8 \rightarrow \Delta 18.9$ ）は品薄感が大きく増した。

資金繰り（ $\Delta 2.2 \rightarrow \Delta 18.4 \rightarrow \Delta 16.4$ ）と、借入難易度（ $\Delta 66.7 \rightarrow \Delta 33.3 \rightarrow \Delta 33.3$ ）は前期並の推移となった。

来期の見通しは、業況（ $\Delta 36.1$ 予想）は多少持ち直すと見ている。売上額（ $\Delta 11.8$ 予想）と収益（ $\Delta 13.2$ 予想）は大きく持ち直すと見ている。

価格面では、販売価格（ $\Delta 1.6$ 予想）と仕入価格（ 1.9 予想）は適正範囲におさまると見ている。在庫数量（ $\Delta 18.5$ 予想）は品薄感が続くと予想している。



サービス業

注：コメント中の（）内のD.I.値は（前々期→前期→今期）となっている。

（１）業況、売上額、収益

業況（△5.5→0.8→4.0）はやや持ち直して前期を上回った。売上額（△2.7→5.8→6.6）は前期並の良好感が続き、収益（△4.8→△0.1→0.8）はプラスに転じた。

来期の見通しについて、業況（3.3予想）は今期並に推移し、売上額（△1.8予想）は大きく悪化に転じると見ている。収益（0.1予想）は今期並の推移を予想している。

（２）料金、材料価格

料金価格（10.2→5.0→9.8）はやや前期を上回り、材料価格（27.9→22.7→32.8）も大幅に前期を上回った。

来期の見通しについて、料金価格（13.3予想）は今期を若干上回り、材料価格（28.5予想）は今期をわずかに下回ると予想している。

（３）資金繰り、借入難易度、設備投資動向

資金繰り（△6.8→△5.9→△4.3）は前期並の窮屈感が続いた。借入難易度（△11.7→△17.9→△10.8）は厳しさが大きく和らいだ。設備投資を「実施した」企業（26.7→24.4→17.1）は、好調感が大きく後退した。

来期の見通しについて、資金繰り（△6.0予想）は今期並の窮屈感が続くとは予想している。

（４）残業時間、人手

残業時間（△10.8→△13.0→△2.4）は水面下ながら悪化幅が大きく改善した。人手（△17.8→△19.5→△11.9）は大きく悪化幅が解消した。

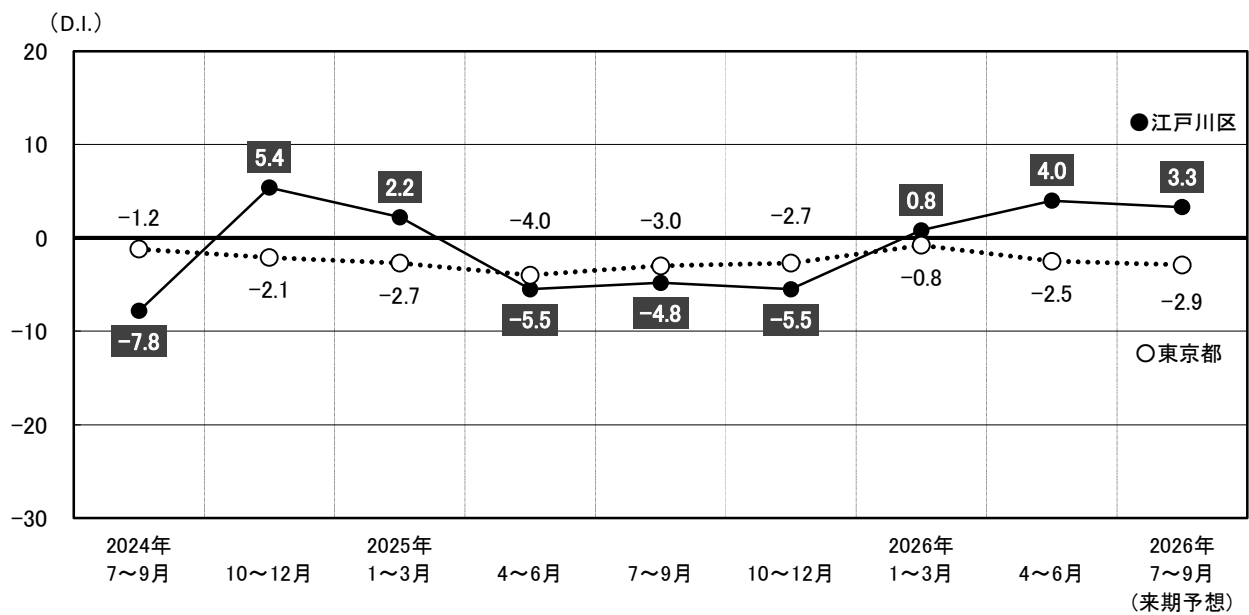
来期の見通しについて、残業時間（△7.1予想）は今期よりわずかに減少し、人手（△11.9予想）は今期並と予想している。

（５）経営上の問題点、重点経営施策

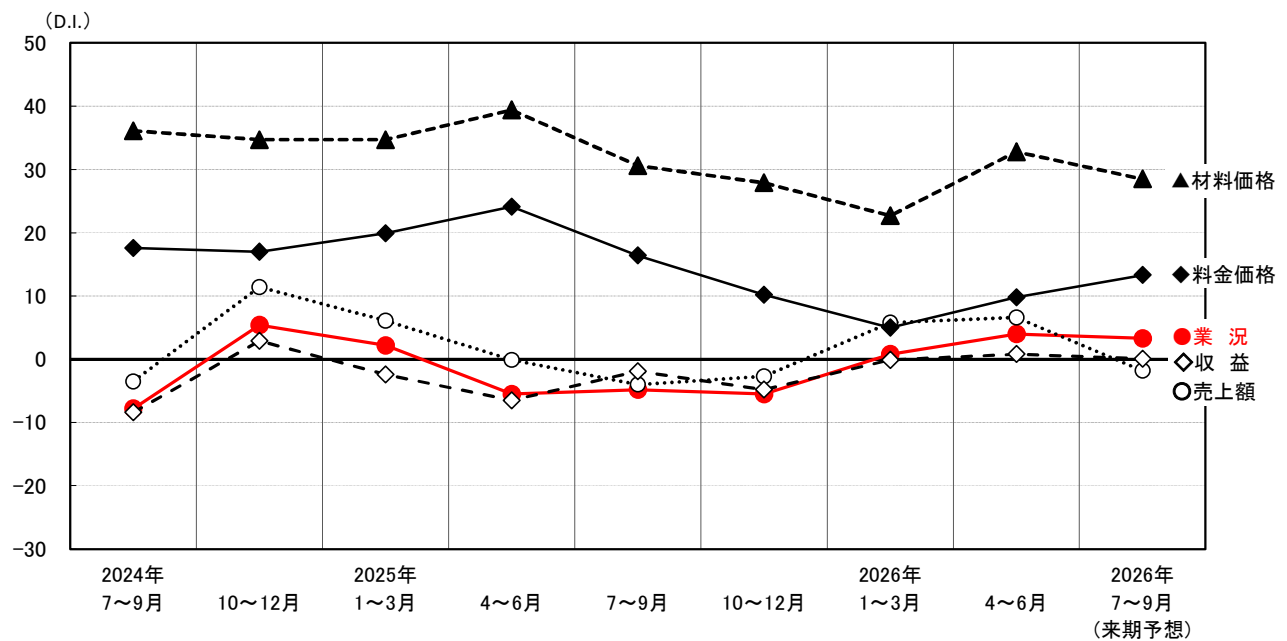
経営上の問題点は、「材料価格の上昇」（30.2%）が今期は最多となった。以下、「売上の停滞・減少」と「人手不足」（各20.9%）、「同業者間の競争の激化」（18.6%）、「利幅の縮小」（9.3%）の順であった。

重点経営施策は、「経費を節減する」（32.6%）が今期も最多となった。以下、「販路を広げる」（27.9%）、「宣伝・広告を強化する」（20.9%）、「人材を確保する」（16.3%）、「提携先を見つける」と「店舗・設備を改装する」（ともに4.7%）の順であった。

【サービス業】 業況（江戸川区と東京都全体の比較）

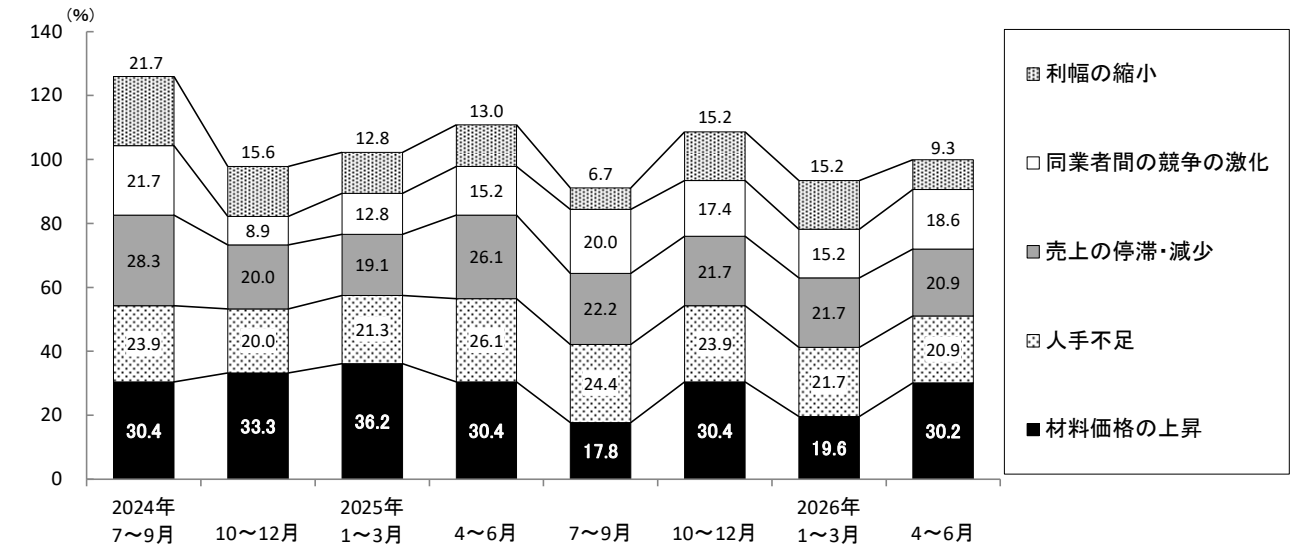


【サービス業】 売上額・収益・料金価格・材料価格の推移



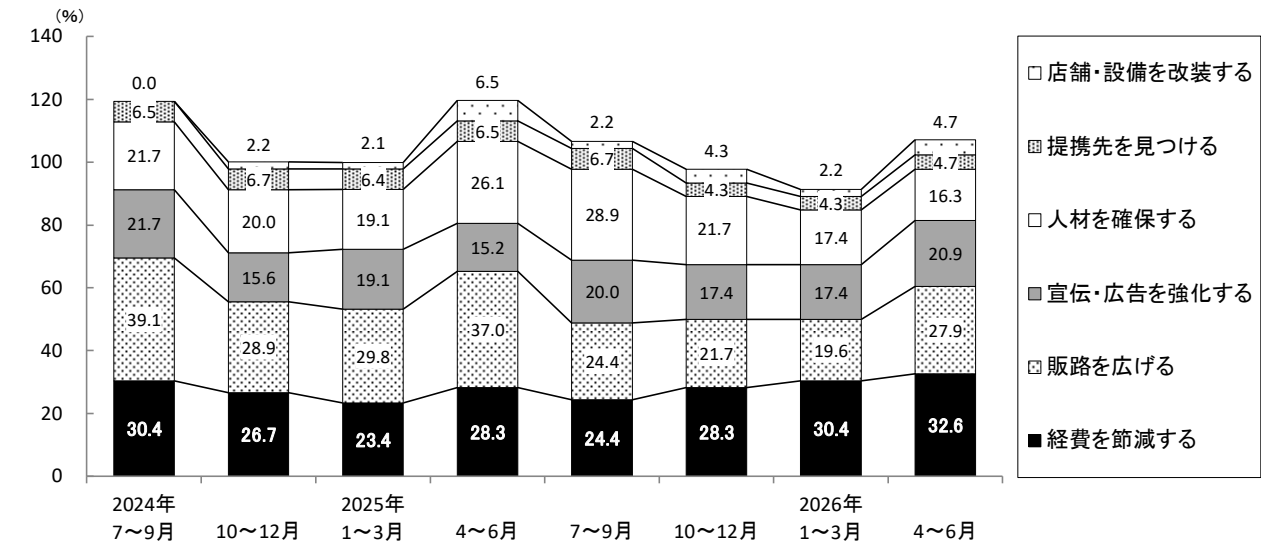
【サービス業】	経営上の問題点	(複数回答)
---------	---------	--------

2025年7～9月期		2025年10～12月期		2026年1～3月期		2026年4～6月期	
人手不足	24.4%	材料価格の上昇	30.4%	人手不足	21.7%	材料価格の上昇	30.2%
売上の停滞・減少	22.2%	人手不足	23.9%	売上の停滞・減少		人手不足	20.9%
同業者間の競争の激化	20.0%	売上の停滞・減少	21.7%	材料価格の上昇	19.6%	売上の停滞・減少	
材料価格の上昇	17.8%	同業者間の競争の激化	17.4%	同業者間の競争の激化	15.2%	同業者間の競争の激化	18.6%
人件費の増加	11.1%	利幅の縮小	15.2%	利幅の縮小		利幅の縮小	9.3%



【サービス業】	重点経営施策	(複数回答)
---------	--------	--------

2025年7～9月期		2025年10～12月期		2026年1～3月期		2026年4～6月期	
人材を確保する	28.9%	経費を節減する	28.3%	経費を節減する	30.4%	経費を節減する	32.6%
販路を広げる	24.4%	人材を確保する	21.7%	販路を広げる	19.6%	販路を広げる	27.9%
経費を節減する		販路を広げる		宣伝・広告を強化する	17.4%	宣伝・広告を強化する	20.9%
宣伝・広告を強化する	20.0%	宣伝・広告を強化する	17.4%	人材を確保する		人材を確保する	16.3%
教育訓練を強化する	8.9%	教育訓練を強化する	10.9%	教育訓練を強化する	8.7%	提携先を見つける 店舗・設備を改装する	4.7%



建 設 業

注：コメント中の（）内のD.I.値は（前々期→前期→今期）となっている。

（１）業況、売上額、受注残、施工高、収益

業況（△7.7→△0.3→△2.6）は悪化幅が2.3ポイントとわずかに上昇した。売上額（△5.4→16.1→△2.5）は大きく悪化し、収益（△10.4→5.5→△2.0）は大きく水面下に落ち込んだ。施工高（△3.8→4.9→△0.3）もわずかに水面下に落ち込んだ。受注残（△6.9→0.4→△5.8）も大きく厳しい状況に転じた。

来期の見通しについて、業況（△0.9予想）は横這いが続くとしている。売上額（△7.0予想）はやや悪化、収益（△5.7予想）はわずかに減少すると見ている。受注残（△3.9予想）と、施工高（△1.7予想）は前期並の推移が続くと見ている。

（２）請負価格、材料価格、在庫数量

請負価格（6.1→17.1→8.3）は好調感が大きく後退した。材料価格（41.5→41.5→54.2）は上昇傾向を大幅に強めた。在庫数量（△2.8→△0.4→△9.7）は品薄感が大きく強まった。

来期の見通しについて、請負価格（12.2予想）はわずかに上昇し、材料価格（62.9予想）は上昇幅が大きく拡大すると見ている。在庫数量（△8.9予想）は不足感が今期並に続くと言想している。

（３）資金繰り、借入難易度、設備投資動向

資金繰り（3.1→8.8→△1.6）は厳しい状況に大きく転じ、借入難易度（△7.7→△5.0→△12.5）は大きく厳しさが増した。

設備投資を「実施した」企業（28.9→29.5→21.7）は、前期から7.8ポイント低下した。

来期の見通しについて、資金繰り（1.4予想）はやや窮屈感を脱した状況が続くと予想している。

（４）残業時間、人手

残業時間（△6.7→2.3→△8.7）は大幅に減少となった、人手（△36.4→△35.6→△30.4）は前期同様の水準が続いた。

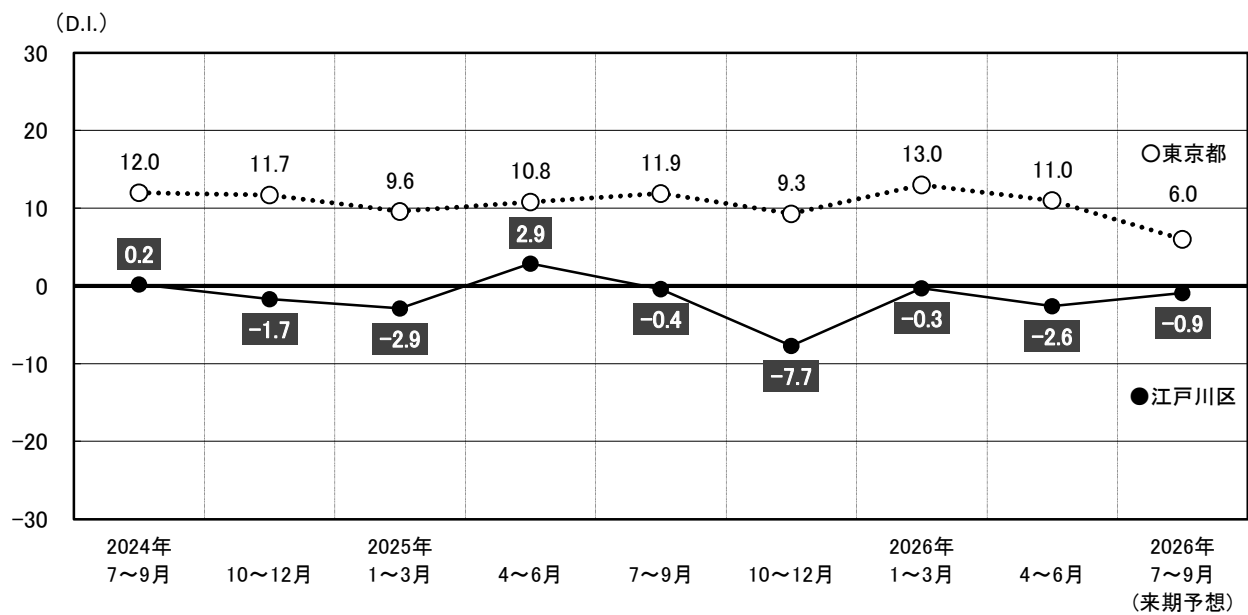
来期の見通しについて、残業時間（△6.5予想）は前期よりも減少し、人手（△32.6予想）はわずかに不足感が強まると予想している。

（５）経営上の問題点、重点経営施策

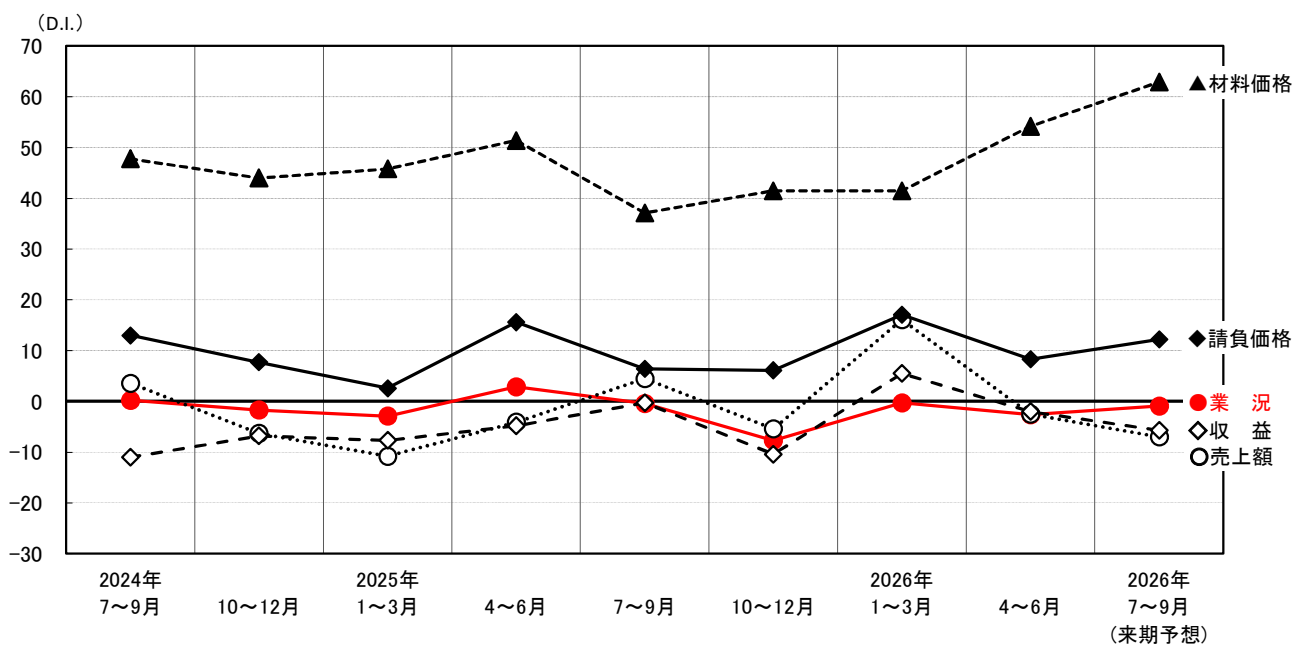
経営上の問題点は、「材料価格の上昇」（50.0%）が今期も最多となった。以下、「売上の停滞・減少」と「人手不足」（各32.6%）、「人件費の増加」（21.7%）、「同業者間の競争の激化」（19.6%）の順であった。

重点経営施策は、「経費を節減する」（56.5%）が今期も最多となった。以下、「販路を広げる」と「人材を確保する」（各37.0%）、「技術力を高める」（26.1%）、「情報力を強化する」（23.9%）の順であった。

【建設業】 業況（江戸川区と東京都全体の比較）

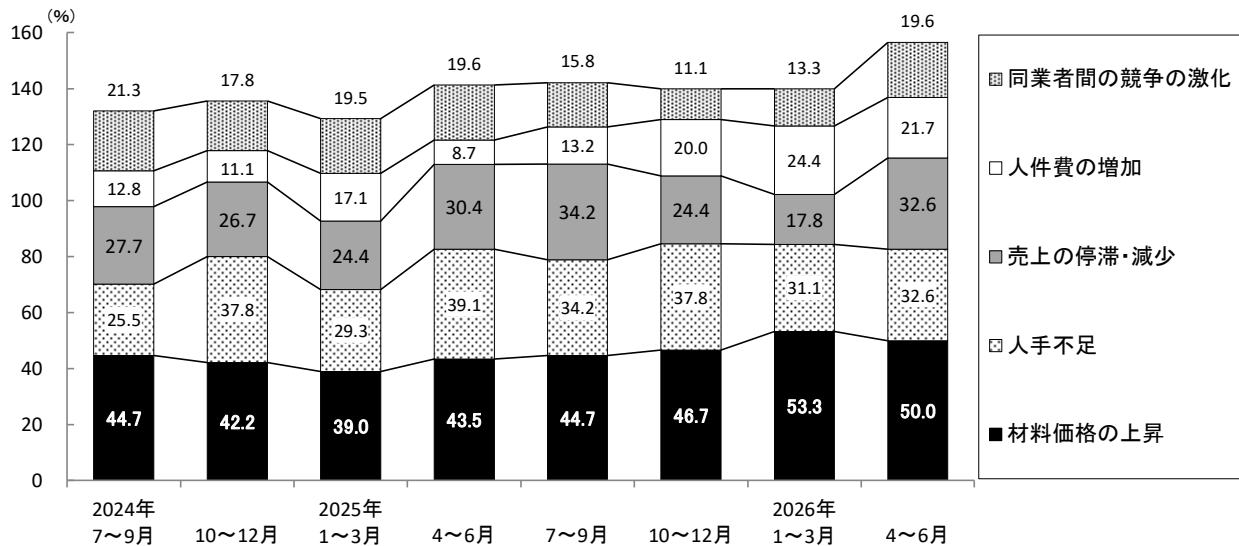


【建設業】 売上額、収益、請負価格、材料価格の推移



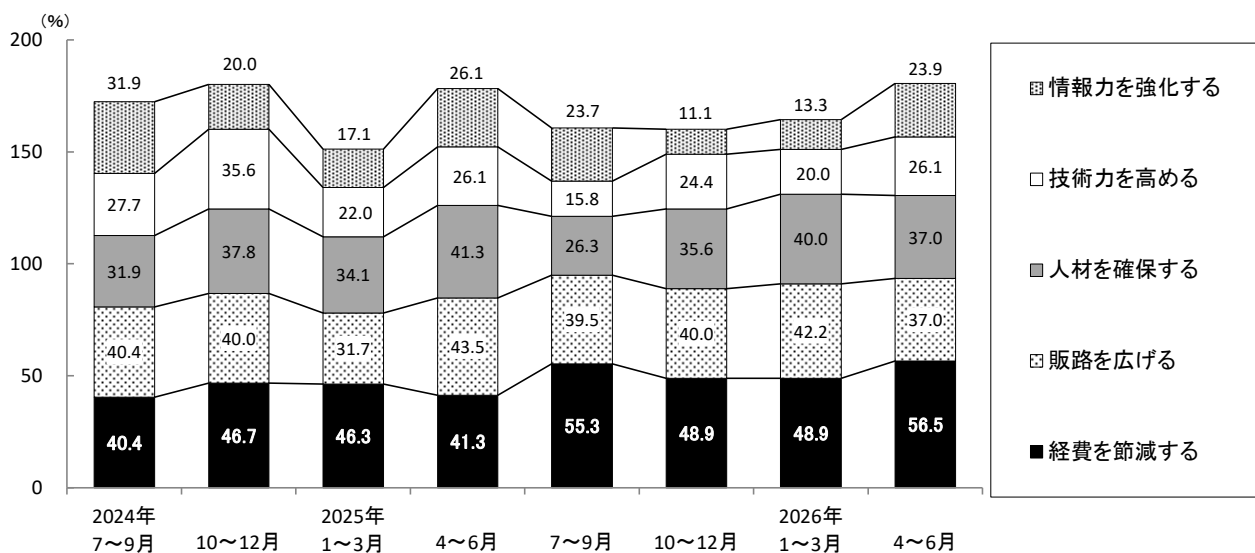
【建設業】	経営上の問題点	(複数回答)
-------	---------	--------

2025年7～9月期		2025年10～12月期		2026年1～3月期		2026年4～6月期	
材料価格の上昇	44.7%	材料価格の上昇	46.7%	材料価格の上昇	53.3%	材料価格の上昇	50.0%
人手不足	34.2%	人手不足	37.8%	人手不足	31.1%	人手不足	32.6%
売上の停滞・減少		売上の停滞・減少	24.4%	人件費の増加	24.4%	売上の停滞・減少	
利幅の縮小	15.8%	人件費の増加	20.0%	売上の停滞・減少	17.8%	人件費の増加	21.7%
同業者間の競争の激化		利幅の縮小 同業者間の競争の激化	11.1%	利幅の縮小 同業者間の競争の激化	13.3%	同業者間の競争の激化	19.6%



【建設業】	重点経営施策	(複数回答)
-------	--------	--------

2025年7～9月期		2025年10～12月期		2026年1～3月期		2026年4～6月期	
経費を節減する	55.3%	経費を節減する	48.9%	経費を節減する	48.9%	経費を節減する	56.5%
販路を広げる	39.5%	販路を広げる	40.0%	販路を広げる	42.2%	販路を広げる	37.0%
人材を確保する	26.3%	人材を確保する	35.6%	人材を確保する	40.0%	人材を確保する	
情報力を強化する	23.7%	技術力を高める	24.4%	技術力を高める	20.0%	技術力を高める	26.1%
技術力を高める	15.8%	情報力を強化する	11.1%	情報力を強化する	13.3%	情報力を強化する	23.9%



不 動 産 業

注：コメント中の（）内のD.I.値は（前々期→前期→今期）となっている。

（１）業況、売上額、収益

業況（△4.6→9.5→6.8）は2.7ポイント減と前期をやや下回った。売上額（△26.9→△1.2→8.4）は9.6ポイント増と増加に転じた。収益（△19.4→△8.6→△10.0）は前期並で低迷した。

来期の見通しについて、業況（6.9予想）は今期並の水準と見ている。売上額（19.0予想）は大きく好調さを強め、収益（6.9予想）はプラスに大きく転じると予想している。

（２）販売価格、仕入価格、在庫数量

販売価格（29.5→31.1→33.9）は前期をやや上回る。仕入価格（36.4→42.3→41.1）は前期並の水準が続き、在庫数量（4.2→14.9→△3.7）は18.6ポイント減となり、過多から品薄に転じた。

来期の見通しについて、販売価格（27.0予想）はわずかに悪化し、仕入価格（33.8予想）は大きく縮小すると見ている。在庫数量（△0.9予想）はわずかに不足感が改善すると見ている。

（３）資金繰り、借入難易度

資金繰り（△3.1→△2.1→△5.0）の窮屈感がやや強まった。借入難易度（0.0→△27.8→△20.0）は水面下ながら窮屈感が大きく和らいだ。

来期の見通しについて、資金繰り（△4.6予想）は今期並で推移すると予想している。

（４）残業時間、人手

残業時間（0.0→0.0→0.0）は前期同様変わらず推移し、人手（△13.6→△4.8→△4.3）は前期並の不足感で推移した。

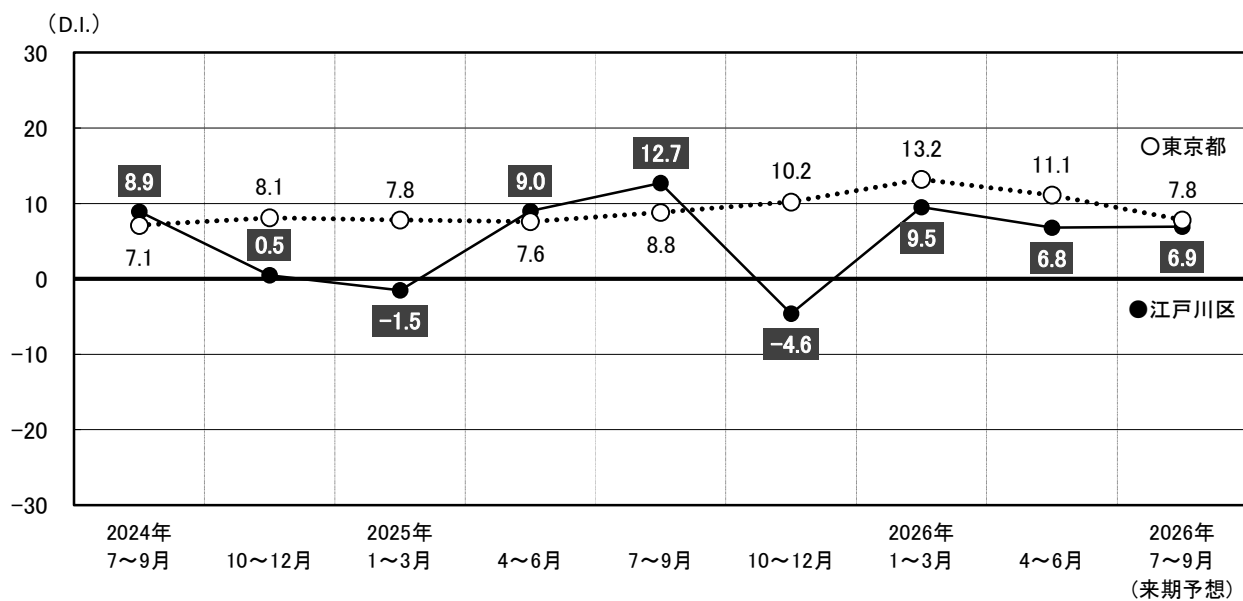
来期の見通しについて、残業時間（0.0予想）は今期同様変わらず推移し、人手（△4.3予想）は今期同様の不足感が続くとは予想している。

（５）経営上の問題点、重点経営施策

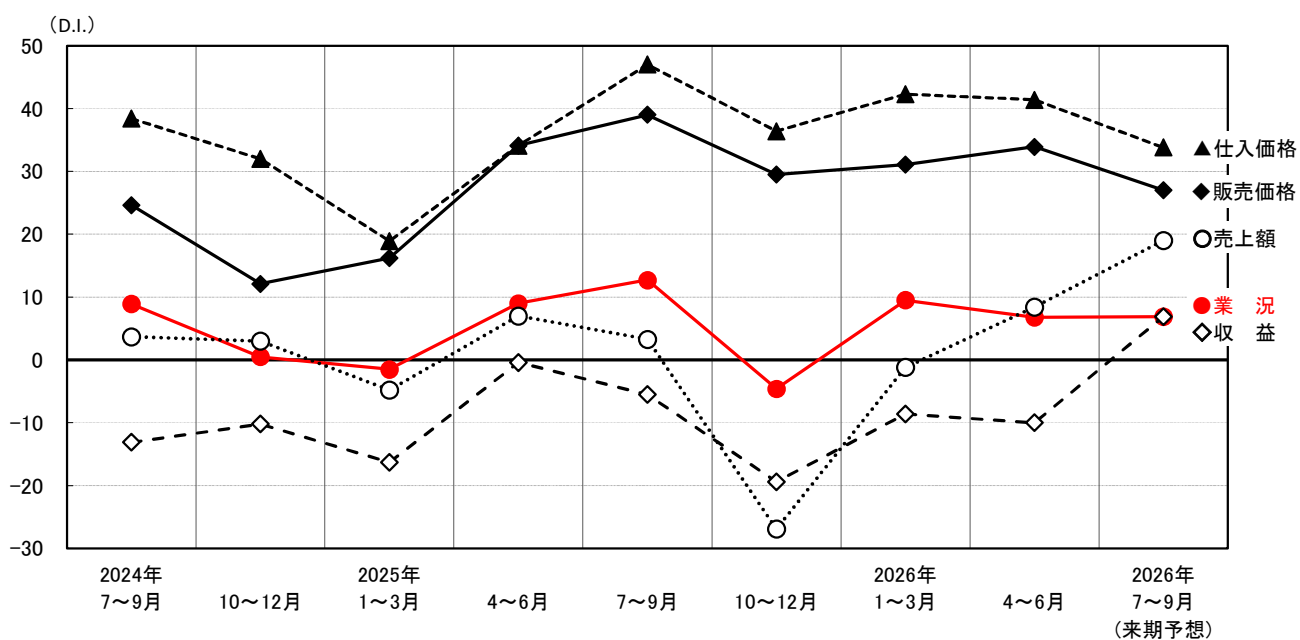
経営上の問題点は、「同業者間の競争の激化」と「商品物件の高騰」（各39.1%）が今期最多となった。以下、「大手企業との競争の激化」（21.7%）、「商品物件の不足」（17.4%）、「売上の停滞・減少」（13.0%）の順であった。

重点経営施策は、「情報力を強化する」（39.1%）が最も最多となった。以下、「宣伝・広告を強化する」（21.7%）、「販路を広げる」と「経費を節減する」（各17.4%）、「不動産の有効活用を図る」（13.0%）の順であった。

【不動産業】 業況（江戸川区と東京都全体の比較）

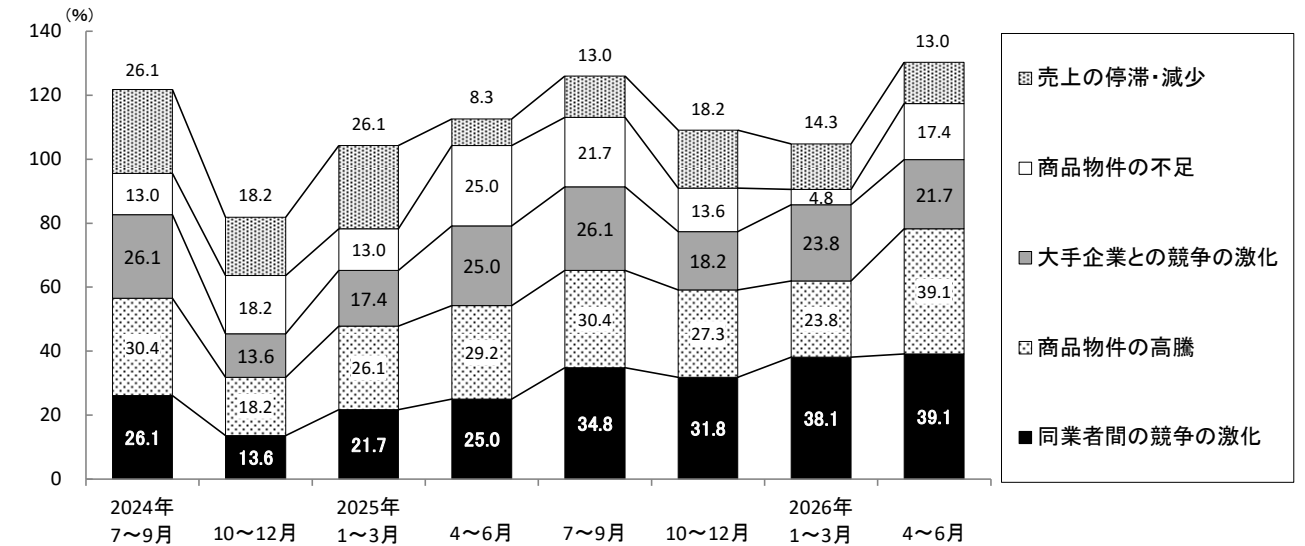


【不動産業】 売上額、収益、販売価格、仕入価格の推移



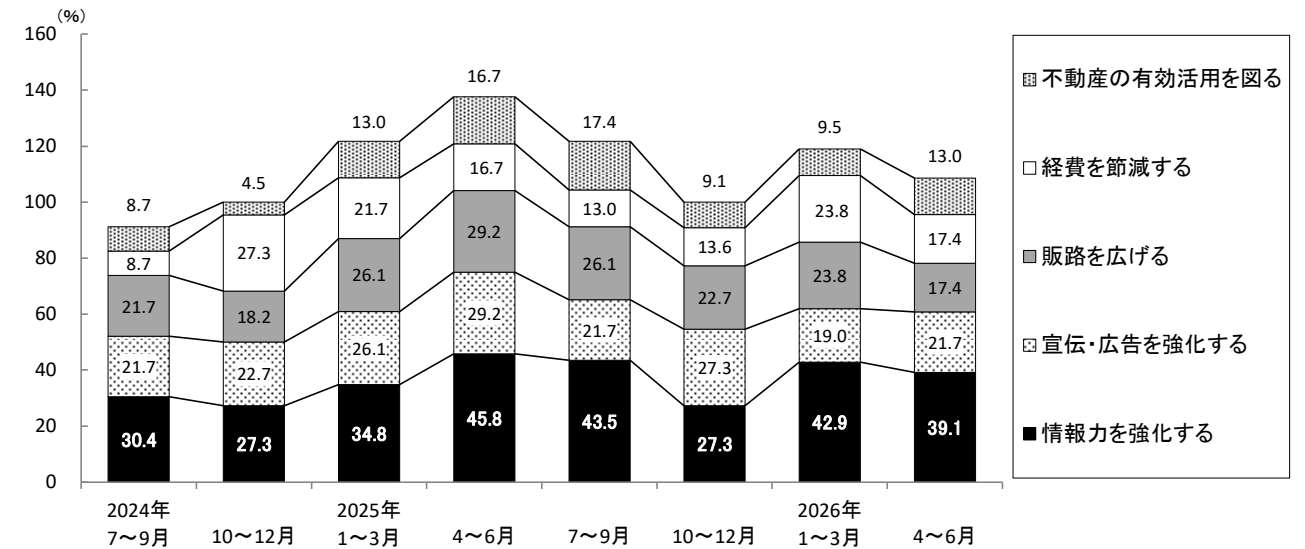
【不動産業】	経営上の問題点	（複数回答）
--------	---------	--------

2025年7～9月期		2025年10～12月期		2026年1～3月期		2026年4～6月期	
同業者間の競争の激化	34.8%	同業者間の競争の激化	31.8%	同業者間の競争の激化	38.1%	同業者間の競争の激化	39.1%
商品物件の高騰	30.4%	商品物件の高騰	27.3%	商品物件の高騰		商品物件の高騰	
大手企業との競争の激化	26.1%	大手企業との競争の激化 売上の停滞・減少	18.2%	大手企業との競争の激化 利幅の縮小	23.8%	大手企業との競争の激化	21.7%
商品物件の不足	21.7%					商品物件の不足	17.4%
利幅の縮小 売上の停滞・減少	13.0%	商品物件の不足	13.6%	売上の停滞・減少	14.3%	売上の停滞・減少	13.0%



【不動産業】	重点経営施策	（複数回答）
--------	--------	--------

2025年7～9月期		2025年10～12月期		2026年1～3月期		2026年4～6月期	
情報力を強化する	43.5%	情報力を強化する	27.3%	情報力を強化する	42.9%	情報力を強化する	39.1%
販路を広げる	26.1%	宣伝・広告を強化する	22.7%	販路を広げる	23.8%	宣伝・広告を強化する	21.7%
宣伝・広告を強化する	21.7%					販路を広げる	17.4%
不動産の有効活用を図る	17.4%	経費を節減する	13.6%	宣伝・広告を強化する	19.0%	経費を節減する	
経費を節減する	13.0%	不動産の有効活用を図る 提携先を見つける	9.1%	不動産の有効活用を図る 提携先を見つける	9.5%	不動産の有効活用を図る	13.0%



江戸川区の企業倒産動向

（2026年4月～6月）

2026年4～6月期の江戸川区の倒産件数は、前期比54.5%増の17件（前期11件）、負債総額は前期比985.6%増の74億47百万円（前期6億86百万円）であった。業種別にみると、件数では“建設業”が7件、“卸売業”が4件、“製造業”“サービス業”“不動産業”“情報通信業・運輸業”“宿泊業、飲食サービス業”“その他”が1件ずつであった。負債総額は“卸売業”が59億円で最も多く、次いで“製造業”が9億87百万円であった。

江戸川区の業種別倒産動向

		前年同期 2025年4～6月		前 期 2026年1～3月		今 期 2026年4～6月	
		件 数	負債総額	件 数	負債総額	件 数	負債総額
製 造 業		0	0	1	80	1	987
卸 売 業		3	56	2	61	4	5,877
小 売 業		2	130	1	200	0	0
サ ー ビ ス 業		3	266	0	0	1	46
建 設 業		5	351	2	195	7	262
不 動 産 業		2	63	1	60	1	45
情 報 通 信 業・運 輸 業		0	0	2	20	1	11
宿 泊 業、飲 食 サ ー ビ ス 業		0	0	1	20	1	170
そ の 他		2	80	1	50	1	49
合 計		17	946	11	686	17	7,447

東京都の企業倒産動向

（2026年4月～6月）

2026年4～6月期の東京都の倒産件数は、前期比9.9%増の456件（前期415件）、負債総額は前期比11.3%増の750億円（前期674億円）であった。業種別にみると、件数では“サービス業”が125件で今期も最も多く、次いで“情報通信業・運輸業”が79件、“卸売業”が67件などであった。負債総額は“サービス業”が207億円で最も多く、以下“卸売業”が170億円、“建設業”が91億円で続いた。

1. 概況

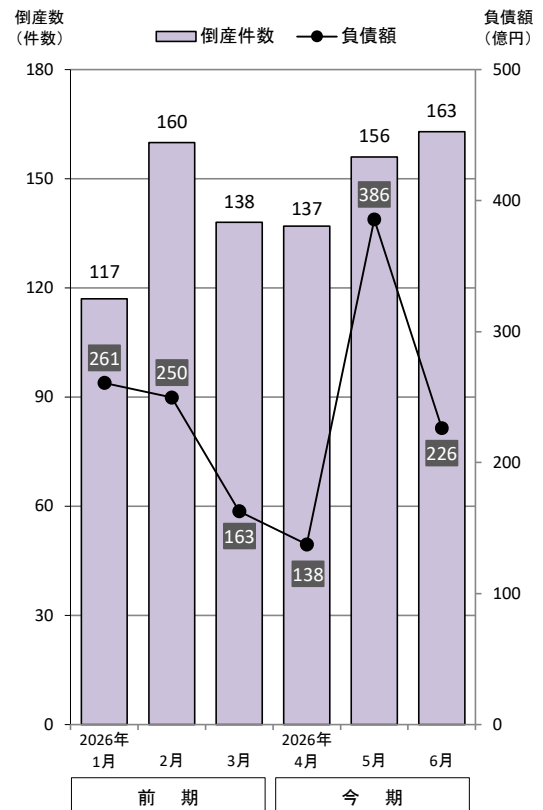
		前年同期 2025年 4～6月	前 期 2026年 1～3月	今 期 2026年 4～6月	前期比 (伸び率)	前年同期比 (伸び率)
件 数		450	415	456	9.9%	1.3%
負債総額		49,106	67,364	74,953	11.3%	52.6%

2. 原因別倒産動向

		前年同期 2025年 4～6月	前 期 2026年 1～3月	今 期 2026年 4～6月	前期比 (伸び率)	前年同期比 (伸び率)
販 売 不 振		327	245	252	2.9%	-22.9%
既 往 の し わ よ せ		43	54	70	29.6%	62.8%
売 掛 金 等 回 収 難		3	4	4	0.0%	33.3%
(不 況 型 計)		393	303	326	7.6%	-17.0%
放 漫 経 営		30	56	58	3.6%	93.3%
過 小 資 本		2	5	9	80.0%	350.0%
他 社 倒 産 の 余 波		30	36	47	30.6%	56.7%
信 用 性 低 下		5	1	2	100.0%	-60.0%
在 庫 状 態 悪 化		1	0	0	-	-100.0%
設 備 投 資 過 大		0	0	0	-	-
そ の 他		9	14	14	0.0%	55.6%
合 計		450	415	456	9.9%	1.3%

3. 業種別倒産動向

		前年同期 2025年4～6月		前 期 2026年1～3月		今 期 2026年4～6月	
		件 数	負債総額	件 数	負債総額	件 数	負債総額
製 造 業		34	5,487	30	7,516	22	7,291
卸 売 業		64	15,972	58	9,625	67	16,986
小 売 業		36	2,217	33	9,569	39	5,693
サ ー ビ ス 業		122	6,672	108	20,323	125	20,673
建 設 業		56	3,879	41	7,736	55	9,068
不 動 産 業		22	7,242	15	928	18	4,247
情 報 通 信 業・運 輸 業		58	2,721	69	5,220	79	6,770
宿 泊 業、飲 食 サ ー ビ ス 業		36	1,303	39	1,847	27	1,871
そ の 他		22	3,613	22	4,600	24	2,354
合 計		450	49,106	415	67,364	456	74,953



特別調査「中小企業における価格転嫁について」

(2026年6月上旬調査)

注1. 以下に示す割合は区内の中小企業（全6業種＝296事業所（問4及び問5は293事業所））の回答を集計したものです。

注2. 割合については小数点2位を四捨五入しているため、単数回答における割合の合計は100.0%にならないことがあります。

注3. 選択肢の表記が『……』となっているものは、幾つかの選択肢を合わせた合計であり、各選択肢の合計実数値で再計算しているため、グラフに表記された値の単純合計値と異なる場合があります。

本調査結果の特徴	① 原材料・仕入価格上昇分の価格転嫁状況	『価格転嫁できている』 72.3% (2022年1～3月期調査70.3%) 「全く価格転嫁できていない」 13.9% (同7.0%) 「そもそも上昇していない」 3.0% (同9.9%) 「転嫁どころか販売価格は低下している」 0.3% (同0.0%)
	② 労務費・人件費上昇分の価格転嫁状況（2020年ごろから）	『価格転嫁できている』 61.8% 「全く価格転嫁できていない」 18.2% 「そもそも上昇していない」 7.8% 「転嫁どころか販売価格は低下している」 0.7%
	③ 価格交渉・価格転嫁のために重視している取組み（複数回答）	・「値上げの事前説明・周知」 39.9% ・「取引先との価格協議」 38.5% ・「競合他社の価格動向の把握」 26.7%
	④ 価格転嫁を進めるうえでの課題（複数回答）	・「価格変更のタイミングが難しい」 36.2% ・「値上げによる顧客離れや取引停止が心配」 33.4% ・「従来からの価格が固定化している」 20.1%
	⑤ 価格交渉・価格転嫁を進めるうえで行政に望む取組み（複数回答）	・「価格転嫁を促すガイドラインの強化・周知」 31.7% ・「業種ごとの標準的な価格転嫁ルールの作成」 21.2% ・「価格転嫁の根拠となる物価指数の提示」 20.5%

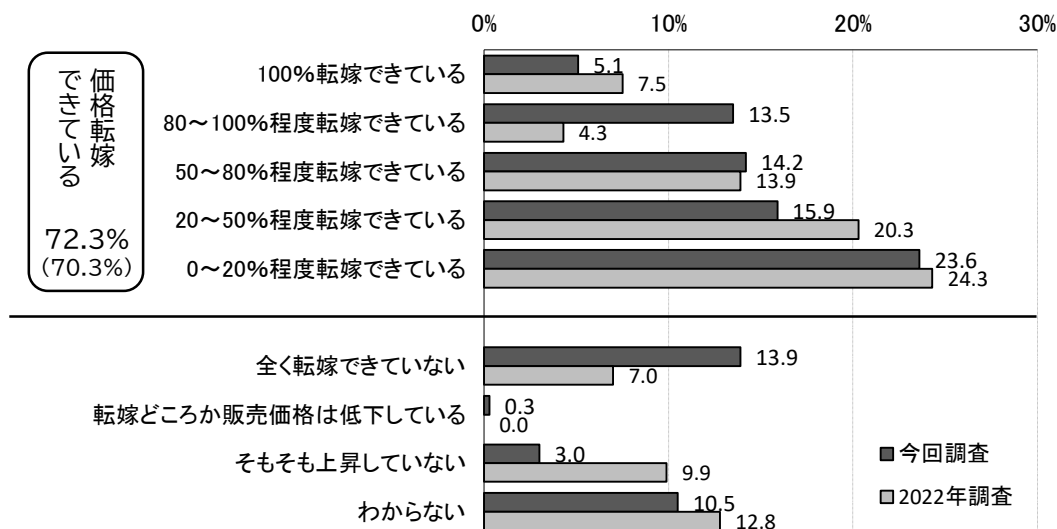
問1. 原材料・仕入価格上昇分の価格転嫁状況について

近年、取引条件の適正化を促進する政策的な動きが活発化していることから、ここ数年（2020年ごろから）の原材料・仕入価格の上昇分をどの程度販売価格に転嫁できているか伺った。

その結果、『価格転嫁できている』との回答が全体の72.3%（2022年1～3月期調査70.3%）となり、価格転嫁の状況が進展していることが伺える結果となった。そのうち、「80～100%程度転嫁できている」が13.5%（同4.3%）と上昇した。一方、「全く価格転嫁できていない」との回答が13.9%（同7.0%）、「そもそも上昇していない」3.0%（同9.9%）、「転嫁どころか販売価格は低下している」0.3%（同0.0%）と続いている。また、「わからない」との回答が10.5%（同12.8%）であった。

業種別では、50%以上価格転嫁できている企業は“卸売業”が62.5%と高く、原材料・仕入価格上昇分への価格転嫁が進んでいる状況が窺えた。一方、「全く転嫁できていない」または転嫁できていても0～20%程度である企業は“小売業”（45.3%）、“建設業”（43.5%）、“サービス業”（41.9%）で4割を超えている。

図表1 原材料・仕入価格上昇分の価格転嫁状況



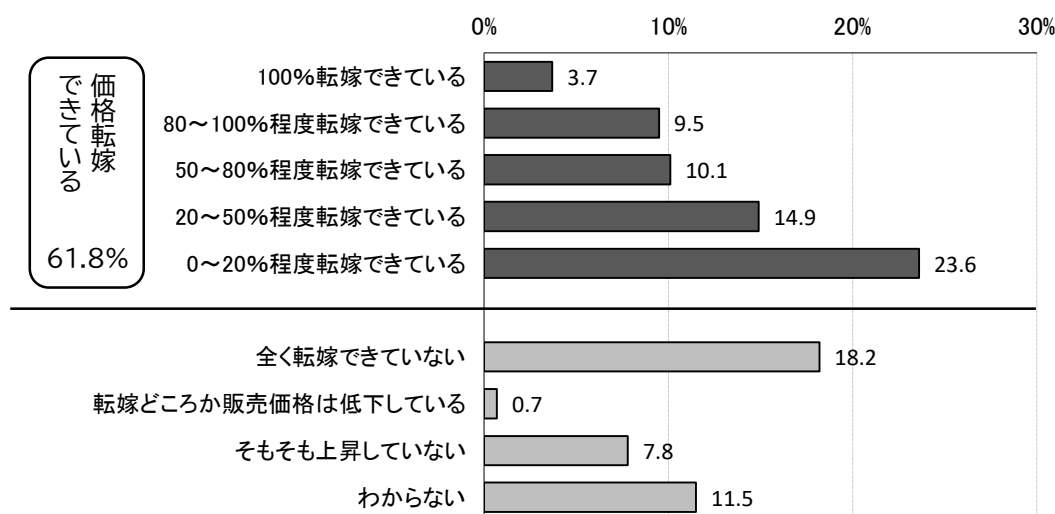
問2. 労務費・人件費上昇分の価格転嫁状況（2020 年ごろから）について

次に、ここ数年（2020 年ごろから）の労務費・人件費の上昇分をどの程度販売価格に転嫁できているか伺った。

その結果、『価格転嫁できている』との回答が全体の 61.8%であった。そのうち「0～20%程度転嫁できている」が 23.6%と最も多く、以下、回答割合が高い順に「20%～50%程度転嫁できている」14.9%、「50%～80%程度転嫁できている」10.1%、「80%～100%程度転嫁できている」9.5%と続いている。一方、「全く転嫁できていない」との回答が 18.2%、「そもそも上昇していない」7.8%、「転嫁どころか販売価格は低下している」0.7%となっている。また、「わからない」が 11.5%であった。

業種別では、50%以上価格転嫁できている企業は“卸売業”が 37.5%と、他業種と比較して高い回答割合となった。一方、「全く転嫁できていない」または転嫁できていても 0～20%程度である企業は“小売業”（49.1%）と“サービス業”（46.5%）で 5 割近くとなっている。

図表2 労務費・人件費上昇分の価格転嫁状況



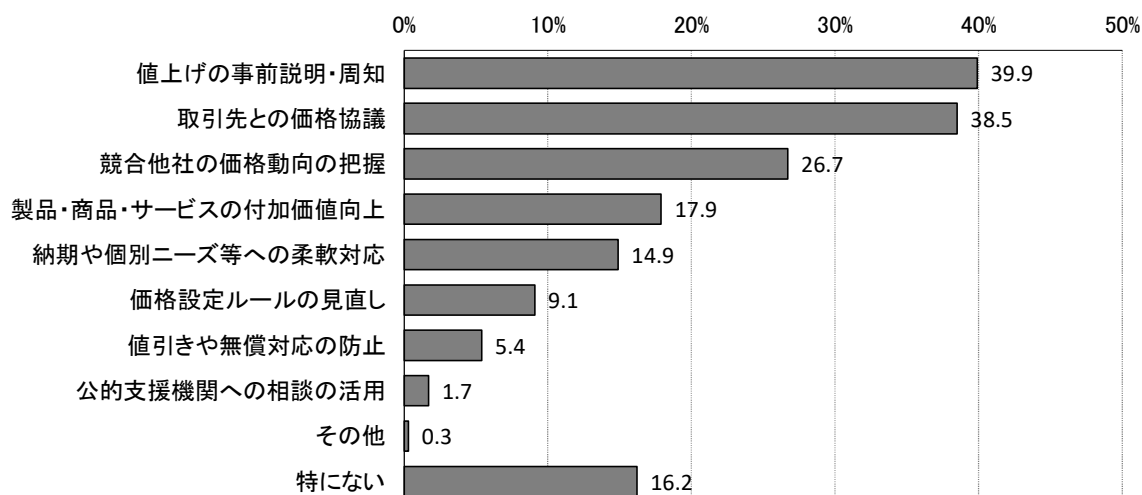
問3. 価格交渉・転嫁転嫁のために重視している取組みについて

更に、取引先（販売先）との円滑な価格交渉・価格転嫁を進めるために、重視している取組みについて伺った（最大3つまで）。

その結果、「値上げの事前説明・周知」が最も多く 39.9%であった。次いで、回答割合が高い順に、「取引先との価格協議」38.5%、「競合他社の価格動向の把握」26.7%、「製品・商品・サービスの付加価値向上」17.9%が上位を占めた。

業種別では、「値上げの事前説明・周知」と回答した企業は“卸売業”が 68.8%で最も高くなっている。また、「取引先との価格協議」と回答した企業は“建設業”が 65.2%と他の業種に比べて高い割合であった。

図表3 価格交渉・転嫁のために重視していること



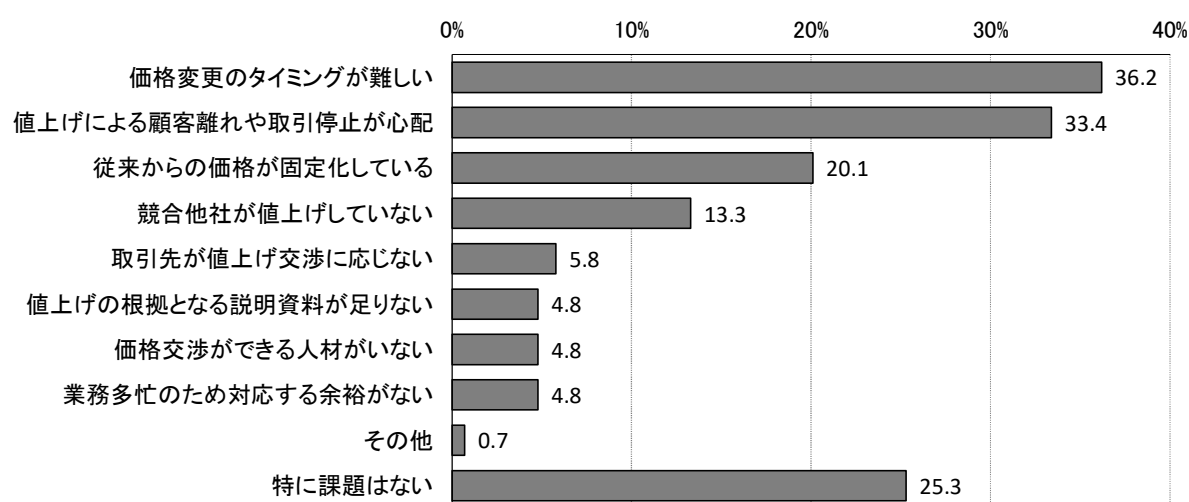
問4. 価格転嫁を進めるうえでの課題

加えて、自社が価格転嫁を進めるうえでの課題について伺った(最大3つまで)。

その結果、「価格交渉のタイミングが難しい」が最も多い36.2%、次いで回答割合が高い順に「値上げによる顧客離れや取引停止が心配」33.4%、「従来からの価格が固定化している」20.1%、「競合他社が値上げしていない」13.3%と続いている。

業種別では、「価格変更のタイミングが難しい」と回答した企業は“サービス業”が48.8%と最も高く、次いで“建設業”が44.4%であった。また、「値上げによる顧客離れや取引停止が心配」と回答した企業は“卸売業”が46.7%と最も高く、次いで“小売業”が45.3%と他の業種に比べて高い割合であった。

図表4 価格転嫁を進めるうえでの課題



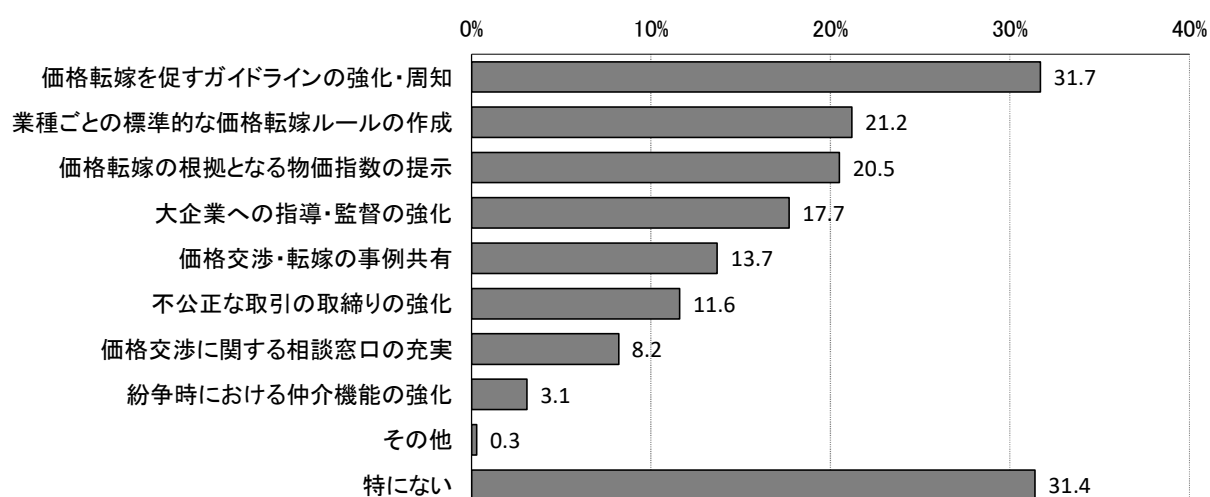
問5. 価格交渉・価格転嫁を進めるうえで行政に望む取組み

最後に、今後、自社が円滑な価格交渉・価格転嫁を進める上で行政に重視してほしいと感じる取組みについて伺った(最大3つまで)。

その結果、「価格転嫁を促すガイドラインの強化・周知」が最も多い31.7%であった。次いで「業種ごとの標準的な価格転嫁ルール」の作成」21.2%、「価格転嫁の根拠となる物価指数の提示」20.5%、「大企業への指導・監督の強化」17.7%、「価格交渉・転嫁の事例共有」13.7%と続いた。

業種別では、「価格転嫁を促すガイドラインの強化・周知」と回答した企業は“卸売業”が62.5%と最も高くなっている。また、「大企業への指導・監督の強化」は“建設業”が33.3%と他の業種に比べて高い割合であった。

図表5 価格交渉・価格転嫁を進めるうえで行政に望む取組み



		回 答 数	問1 原材料・仕入価格上昇分の価格転嫁状況										問2 労務費・人件費上昇分の価格転嫁状況											
			転嫁できている							全く 転嫁 できて いない	下 転嫁 どころ か販売 価格は 低い	そも そも上 昇して いない	わ か ら な い	転嫁できている							全く 転嫁 できて いない	下 転嫁 どころ か販売 価格は 低い	そも そも上 昇して いない	わ か ら な い
			1 0 0 % 転 嫁 で きて いる	8 0 % 転 嫁 で きて いる	5 0 % 転 嫁 で きて いる	2 0 % 転 嫁 で きて いる	0 % 転 嫁 で きて いる	2 0 % 程度 転嫁 でき ている	5 0 % 程度 転嫁 でき ている					8 0 % 程度 転嫁 でき ている	1 0 0 % 程度 転嫁 でき ている	5 0 % 程度 転嫁 でき ている	2 0 % 程度 転嫁 でき ている	0 % 程度 転嫁 でき ている	2 0 % 程度 転嫁 でき ている	5 0 % 程度 転嫁 でき ている				
全業種	296	5.1	13.5	14.2	15.9	23.6	13.9	0.3	3.0	10.5	296	3.7	9.5	10.1	14.9	23.6	18.2	0.7	7.8	11.5				
製造業	115	3.5	18.3	16.5	13.0	22.6	14.8	-	0.9	10.4	115	2.6	12.2	13.0	13.0	22.6	18.3	1.7	3.5	13.0				
	従業者規模	1人～4人	55	1.8	16.4	16.4	7.3	23.6	21.8	-	1.8	54	1.9	9.3	13.0	5.6	18.5	25.9	3.7	7.4	14.8			
		5人～19人	47	4.3	21.3	10.6	21.3	21.3	8.5	-	-	47	2.1	17.0	6.4	21.3	29.8	8.5	-	-	14.9			
		20人～49人	8	12.5	12.5	37.5	-	25.0	12.5	-	-	9	11.1	11.1	22.2	11.1	22.2	22.2	-	-	-			
		50人～99人	4	-	25.0	25.0	25.0	25.0	-	-	-	4	-	-	50.0	25.0	-	25.0	-	-	-			
		100人～300人	1	-	-	100.0	-	-	-	-	-	1	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-			
	業況	良い	10	10.0	60.0	-	10.0	10.0	-	-	-	10	-	50.0	10.0	-	30.0	-	-	-	10.0			
		普通	82	2.4	14.6	18.3	12.2	24.4	14.6	-	1.2	82	2.4	8.5	14.6	12.2	22.0	20.7	2.4	4.9	12.2			
		悪い	22	4.5	9.1	18.2	18.2	22.7	22.7	-	-	22	4.5	4.5	9.1	22.7	22.7	18.2	-	-	18.2			
	卸売業	16	25.0	18.8	18.8	12.5	12.5	-	-	6.3	6.3	16	18.8	6.3	12.5	18.8	18.8	6.3	-	12.5	6.3			
小売業	8	12.5	25.0	-	25.0	12.5	-	-	12.5	12.5	8	12.5	-	-	25.0	12.5	12.5	-	25.0	12.5				
	従業者規模	1人～4人	5	40.0	20.0	20.0	-	20.0	-	-	-	5	40.0	20.0	20.0	-	20.0	-	-	-	-			
		5人～19人	2	50.0	-	50.0	-	-	-	-	-	2	-	-	50.0	50.0	-	-	-	-	-			
		20人～49人	1	-	-	100.0	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-			
		50人～99人	0	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
		100人～300人	0	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
	業況	良い	0	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
		普通	10	30.0	10.0	20.0	10.0	20.0	-	-	-	10	20.0	-	20.0	20.0	30.0	-	-	-	10.0			
		悪い	5	20.0	40.0	-	20.0	-	-	-	20.0	5	20.0	-	-	20.0	-	20.0	-	40.0	-			
	サービス業	53	9.4	3.8	9.4	17.0	24.5	20.8	-	3.8	11.3	53	7.5	1.9	3.8	13.2	24.5	24.5	-	9.4	15.1			
サービス業	45	8.9	2.2	11.1	13.3	24.4	24.4	-	4.4	11.1	45	6.7	2.2	2.2	8.9	24.4	28.9	-	11.1	15.6				
	従業者規模	1人～4人	5	-	-	-	60.0	20.0	-	-	20.0	5	-	-	-	60.0	20.0	-	-	-	20.0			
		5人～19人	2	50.0	50.0	-	-	-	-	-	-	2	50.0	-	50.0	-	-	-	-	-	-			
		20人～49人	1	-	-	-	-	100.0	-	-	-	1	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-			
		50人～99人	0	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
		100人～300人	0	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
	業況	良い	4	-	-	25.0	75.0	-	-	-	-	4	-	-	-	75.0	25.0	-	-	-	-			
		普通	36	11.1	2.8	8.3	8.3	30.6	19.4	-	5.6	13.9	36	11.1	-	5.6	8.3	27.8	19.4	-	8.3	19.4		
		悪い	13	7.7	7.7	7.7	23.1	15.4	30.8	-	-	7.7	13	-	7.7	-	7.7	15.4	46.2	-	15.4	7.7		
	建設業	43	2.3	7.0	7.0	25.6	23.3	18.6	-	2.3	14.0	43	2.3	9.3	2.3	20.9	20.9	25.6	-	9.3	9.3			
建設業	27	-	3.7	7.4	25.9	18.5	25.9	-	3.7	14.8	27	-	3.7	3.7	22.2	14.8	33.3	-	14.8	7.4				
	従業者規模	1人～4人	9	-	-	11.1	22.2	33.3	11.1	-	22.2	9	-	11.1	-	11.1	44.4	11.1	-	-	22.2			
		5人～19人	4	-	25.0	-	25.0	50.0	-	-	-	4	-	25.0	-	25.0	25.0	25.0	-	-	-			
		20人～49人	2	-	50.0	-	50.0	-	-	-	-	2	-	50.0	-	50.0	-	-	-	-	-			
		50人～99人	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-			
		100人～300人	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-			
	業況	良い	7	14.3	28.6	14.3	28.6	-	-	-	14.3	7	14.3	42.9	-	14.3	28.6	-	-	-	-			
		普通	31	-	3.2	6.5	29.0	22.6	19.4	-	3.2	16.1	31	-	3.2	3.2	25.8	19.4	25.8	-	9.7	12.9		
		悪い	4	-	-	-	-	50.0	50.0	-	-	-	4	-	-	-	-	75.0	-	25.0	-			
	不動産業	46	2.2	8.7	17.4	17.4	34.8	8.7	-	-	10.9	46	-	10.9	13.0	17.4	30.4	10.9	-	6.5	10.9			
不動産業	15	-	13.3	20.0	6.7	26.7	13.3	-	-	20.0	15	-	13.3	13.3	6.7	20.0	13.3	-	13.3	20.0				
	従業者規模	1人～4人	23	4.3	8.7	13.0	17.4	39.1	8.7	-	8.7	23	-	13.0	13.0	8.7	39.1	13.0	-	4.3	8.7			
		5人～19人	7	-	-	28.6	28.6	42.9	-	-	-	7	-	-	14.3	57.1	28.6	-	-	-	-			
		20人～49人	1	-	-	-	100.0	-	-	-	-	1	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-			
		50人～99人	0	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
		100人～300人	0	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
	業況	良い	8	-	12.5	-	25.0	62.5	-	-	-	8	-	12.5	12.5	25.0	37.5	12.5	-	-	-			
		普通	27	3.7	11.1	25.9	18.5	18.5	7.4	-	-	14.8	27	-	11.1	14.8	18.5	18.5	11.1	-	11.1	14.8		
		悪い	11	-	-	9.1	9.1	54.5	18.2	-	-	9.1	11	-	9.1	9.1	9.1	54.5	9.1	-	-	9.1		
	不動産業	23	-	30.4	17.4	8.7	13.0	4.3	4.3	17.4	4.3	23	-	13.0	17.4	8.7	21.7	13.0	-	21.7	4.3			
不動産業	18	-	33.3	16.7	11.1	11.1	5.6	-	16.7	5.6	18	-	11.1	22.2	11.1	16.7	11.1	-	22.2	5.6				
	従業者規模	1人～4人	5	-	20.0	20.0	-	20.0	-	20.0	20.0	5	-	20.0	-	-	40.0	20.0	-	20.0	-			
		5人～19人	0	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
		20人～49人	0	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
		50人～99人	0	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
		100人～300人	0	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
	業況	良い	4	-	25.0	25.0	-	25.0	-	-	25.0	4	-	-	50.0	-	25.0	-	-	25.0	-			
		普通	18	-	33.3	16.7	11.1	11.1	-	5.6	16.7	5.6	18	-	16.7	11.1	11.1	22.2	11.1	-	22.2	5.6		
		悪い	1	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	1	-	-	-	-	100.0	-	-	-			

		問3 価格交渉・転嫁のために重視していること													問4 価格転嫁を進めるうえでの課題										
		回 答 数	値 上 げ の 事 前 説 明 ・ 周 知	取 引 先 と の 価 格 協 議	競 合 他 社 の 価 格 動 向 の 把 握	加 価 品 ・ 商 品 ・ サ ー ビ ス の 付 加 価 値 向 上	納 期 や 個 別 ニ ー ズ 等 へ の 柔 軟 対 応	価 格 設 定 ル ー ル の 見 直 し	値 引 き や 無 償 対 応 の 防 止	公 的 支 援 機 関 へ の 相 談 の 活 用	そ の 他	特 に な い	回 答 数	価 格 変 更 の タ イ ミ ン グ が 難 しい	値 上 げ に よ る 顧 客 離 れ や 取 引 停 止 が 心 配	従 来 か ら の 価 格 が 固 定 化 し て い る	競 合 他 社 が 値 上 げ し て い な い	取 引 先 が 値 上 げ 交 渉 に 応 じ な い	値 上 げ の 根 拠 と な る 説 明 資 料 が 足 り な い	価 格 交 渉 が で き る 人 材 が い ない	業 務 多 忙 の た め に 対 応 す る 余 裕 が な い	そ の 他	特 に 課 題 は な い		
全	業 種	296	39.9	38.5	26.7	17.9	14.9	9.1	5.4	1.7	0.3	16.2	293	36.2	33.4	20.1	13.3	5.8	4.8	4.8	4.8	0.7	25.3		
製 造 業	1人～4人	115	43.5	41.7	20.0	20.9	20.0	10.4	6.1	2.6	-	14.8	114	33.3	28.9	23.7	13.2	7.9	7.0	6.1	7.0	-	23.7		
	5人～19人	55	32.7	38.2	20.0	20.0	18.2	7.3	7.3	1.8	-	14.5	55	29.1	20.0	25.5	14.5	12.7	3.6	9.1	9.1	-	20.0		
	20人～49人	47	53.2	42.6	12.8	23.4	17.0	17.0	6.4	2.1	-	17.0	46	37.0	32.6	19.6	13.0	2.2	6.5	2.2	6.5	-	32.6		
	50人～99人	8	50.0	62.5	62.5	-	37.5	-	-	-	-	12.5	8	50.0	50.0	25.0	12.5	-	12.5	-	-	-	12.5		
	100人～300人	4	50.0	25.0	25.0	25.0	50.0	-	-	25.0	-	-	4	25.0	50.0	50.0	-	25.0	25.0	-	-	-	-		
	業 況	1	100.0	100.0	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	1	-	100.0	-	-	-	100.0	100.0	-	-	-	
	良 い	10	50.0	60.0	-	10.0	30.0	-	20.0	-	-	10.0	10	-	30.0	30.0	10.0	-	10.0	-	-	-	50.0		
	普 通	82	43.9	37.8	24.4	25.6	17.1	11.0	3.7	1.2	-	17.1	81	35.8	27.2	22.2	13.6	9.9	4.9	7.4	6.2	-	24.7		
	悪 い	22	40.9	50.0	13.6	9.1	22.7	13.6	9.1	9.1	-	9.1	22	40.9	36.4	27.3	13.6	4.5	13.6	4.5	13.6	-	4.5		
	卸 売 業	16	68.8	37.5	37.5	6.3	-	18.8	-	-	-	-	6.3	15	26.7	46.7	6.7	26.7	-	6.7	6.7	-	-	26.7	
小 売 業	1人～4人	8	50.0	37.5	25.0	-	-	12.5	-	-	-	12.5	7	14.3	42.9	-	-	-	-	-	-	-	-	42.9	
	5人～19人	5	80.0	20.0	60.0	20.0	-	20.0	-	-	-	-	5	40.0	60.0	-	60.0	-	20.0	20.0	-	-	-		
	20人～49人	2	100.0	50.0	50.0	-	-	-	-	-	-	-	2	50.0	50.0	50.0	-	-	-	-	-	-	50.0		
	50人～99人	1	100.0	100.0	-	-	-	100.0	-	-	-	-	1	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-		
	100人～300人	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	業 況	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	良 い	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	普 通	10	80.0	30.0	30.0	-	-	20.0	-	-	-	-	10	11.1	44.4	11.1	22.2	-	11.1	11.1	-	-	-	33.3	
	悪 い	5	40.0	60.0	40.0	-	-	20.0	-	-	-	-	5	40.0	40.0	-	20.0	-	-	-	-	-	-	20.0	
	サ ー ビ ス 業	53	35.8	22.6	32.1	22.6	11.3	13.2	1.9	1.9	1.9	17.0	53	30.2	45.3	15.1	13.2	1.9	-	3.8	-	1.9	28.3		
サ ー ビ ス 業	1人～4人	45	35.6	17.8	28.9	26.7	8.9	11.1	2.2	2.2	2.2	17.8	45	33.3	37.8	13.3	11.1	2.2	-	4.4	-	2.2	31.1		
	5人～19人	5	60.0	40.0	40.0	-	20.0	20.0	-	-	-	20.0	5	-	80.0	40.0	20.0	-	-	-	-	-	20.0		
	20人～49人	2	-	100.0	50.0	-	-	-	-	-	-	-	2	-	100.0	-	50.0	-	-	-	-	-	-		
	50人～99人	1	-	-	100.0	-	100.0	100.0	-	-	-	-	1	100.0	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-		
	100人～300人	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	業 況	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	良 い	4	50.0	75.0	50.0	-	25.0	-	-	-	-	-	4	-	75.0	50.0	25.0	-	-	-	-	-	25.0		
	普 通	36	33.3	19.4	27.8	25.0	11.1	16.7	-	2.8	2.8	19.4	36	30.6	38.9	11.1	13.9	2.8	-	2.8	-	2.8	33.3		
	悪 い	13	38.5	15.4	38.5	23.1	7.7	7.7	7.7	-	-	15.4	13	38.5	53.8	15.4	7.7	-	-	7.7	-	-	-	15.4	
	サ ー ビ ス 業	43	27.9	34.9	27.9	18.6	18.6	4.7	2.3	2.3	-	20.9	43	48.8	34.9	23.3	4.7	9.3	2.3	4.7	4.7	-	20.9		
サ ー ビ ス 業	1人～4人	27	25.9	25.9	25.9	22.2	18.5	3.7	-	3.7	-	25.9	27	59.3	33.3	25.9	3.7	3.7	-	3.7	3.7	-	18.5		
	5人～19人	9	22.2	44.4	33.3	11.1	22.2	-	11.1	-	-	11.1	9	33.3	55.6	11.1	11.1	22.2	-	11.1	11.1	-	11.1		
	20人～49人	4	25.0	75.0	25.0	25.0	25.0	25.0	-	-	-	-	4	25.0	25.0	50.0	-	25.0	25.0	-	-	-	25.0		
	50人～99人	2	50.0	-	50.0	-	-	-	-	-	-	50.0	2	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0	
	100人～300人	1	100.0	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0		
	業 況	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	良 い	7	42.9	42.9	28.6	28.6	14.3	-	-	-	-	14.3	7	14.3	42.9	14.3	-	14.3	-	-	14.3	-	-	28.6	
	普 通	31	25.8	32.3	29.0	19.4	16.1	6.5	-	3.2	-	22.6	31	51.6	32.3	19.4	6.5	9.7	3.2	3.2	3.2	-	22.6		
	悪 い	4	25.0	25.0	25.0	-	50.0	-	-	-	-	25.0	4	75.0	50.0	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	
	建 設 業	46	41.3	65.2	26.1	10.9	10.9	2.2	13.0	-	-	10.9	45	44.4	35.6	17.8	17.8	6.7	4.4	-	6.7	2.2	20.0		
建 設 業	1人～4人	15	46.7	53.3	13.3	6.7	6.7	-	13.3	-	-	20.0	14	50.0	50.0	-	-	14.3	7.1	-	7.1	-	28.6		
	5人～19人	23	39.1	65.2	30.4	17.4	17.4	4.3	13.0	-	-	8.7	23	47.8	17.4	17.4	21.7	4.3	4.3	-	8.7	4.3	21.7		
	20人～49人	7	28.6	85.7	28.6	-	-	-	14.3	-	-	-	7	28.6	57.1	42.9	28.6	-	-	-	-	-	-		
	50人～99人	1	100.0	100.0	100.0	-	-	-	-	-	-	-	1	-	100.0	100.0	100.0	-	-	-	-	-	-		
	100人～300人	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	業 況	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	良 い	8	37.5	87.5	37.5	12.5	-	12.5	25.0	-	-	-	8	50.0	50.0	25.0	37.5	12.5	12.5	-	-	12.5	12.5		
	普 通	27	40.7	51.9	25.9	7.4	14.8	-	7.4	-	-	14.8	26	38.5	23.1	15.4	15.4	3.8	3.8	-	11.5	-	26.9		
	悪 い	11	45.5	81.8	18.2	18.2	9.1	-	18.2	-	-	9.1	11	54.5	54.5	18.2	9.1	9.1	-	-	-	-	-	9.1	
	不 動 産 業	23	30.4	13.0	39.1	13.0	8.7	8.7	4.3	-	-	30.4	23	30.4	13.0	21.7	13.0	-	8.7	8.7	4.3	-	43.5		
不 動 産 業	1人～4人	18	27.8	16.7	44.4	5.6	5.6	5.6	-	-	-	33.3	18	22.2	11.1	27.8	11.1	-	11.1	5.6	-	-	44.4		
	5人～19人	5	40.0	-	20.0	40.0	20.0	20.0	20.0	-	-	20.0	5	60.0	20.0	-	20.0	-	-	20.0	20.0	-	40.0		
	20人～49人	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	50人～99人	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	100人～300人	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	業 況	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	良 い	4	-	-	50.0	-	-	-	-	-	-	50.0	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0		
	普 通	18	33.3	11.1	33.3	16.7	11.1	11.1	5.6	-	-	27.8	18	33.3	11.1	27.8	16.7	-	11.1	11.1	5.6	-	33.3		
	悪 い	1	100.0	100.0	100.0	-	-	-	-	-	-	-	1	100.0	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

			問5 価格交渉・転嫁への重視してほしい行政取組										
			回 答 数	の 価 格 転 嫁 を 促 す ガ イ ド ラ イ ン	業 種 ご と の 標 準 的 な 価 格 転 嫁 ル ー ル の 作 成	価 格 転 嫁 の 根 拠 と な る 物 価 指 数 の 提 示	大 企 業 へ の 指 導 ・ 監 督 の 強 化	価 格 交 渉 ・ 転 嫁 の 事 例 共 有	不 公 正 な 取 引 の 取 締 り の 強 化	充 実 価 格 交 渉 に 関 する 相 談 窓 口 の	化 紛 争 時 に お ける 仲 介 機 能 の 強	そ の 他	特 に ない
全業種			293	31.7	21.2	20.5	17.7	13.7	11.6	8.2	3.1	0.3	31.4
製造業			113	29.2	22.1	23.0	15.9	11.5	14.2	10.6	3.5	0.9	30.1
	従業者規模	1人～4人	54	22.2	24.1	22.2	9.3	9.3	7.4	13.0	3.7	1.9	31.5
		5人～19人	46	32.6	19.6	19.6	21.7	17.4	15.2	6.5	2.2	-	37.0
		20人～49人	8	37.5	25.0	25.0	37.5	-	37.5	25.0	12.5	-	-
		50人～99人	4	50.0	25.0	50.0	-	-	50.0	-	-	-	-
		100人～300人	1	100.0	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-
	業況	良　い	10	50.0	10.0	30.0	30.0	10.0	20.0	-	-	10.0	30.0
		普　通	80	28.8	27.5	22.5	11.3	10.0	10.0	12.5	3.8	-	31.3
		悪　い	22	22.7	9.1	22.7	22.7	18.2	27.3	9.1	-	-	27.3
卸売業			16	62.5	12.5	25.0	25.0	18.8	6.3	-	-	-	18.8
	従業者規模	1人～4人	8	62.5	-	25.0	12.5	12.5	-	-	-	-	12.5
		5人～19人	5	40.0	40.0	20.0	20.0	20.0	-	-	-	-	40.0
		20人～49人	2	100.0	-	50.0	50.0	50.0	50.0	-	-	-	-
		50人～99人	1	100.0	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-
		100人～300人	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	業況	良　い	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		普　通	10	60.0	10.0	30.0	20.0	10.0	10.0	-	-	-	30.0
		悪　い	5	60.0	-	20.0	40.0	20.0	-	-	-	-	-
小売業			53	30.2	18.9	20.8	20.8	13.2	5.7	9.4	1.9	-	34.0
	従業者規模	1人～4人	45	26.7	22.2	15.6	17.8	11.1	6.7	8.9	2.2	-	37.8
		5人～19人	5	60.0	-	60.0	20.0	20.0	-	-	-	-	20.0
		20人～49人	2	-	-	50.0	50.0	50.0	-	-	-	-	-
		50人～99人	1	100.0	-	-	100.0	-	-	100.0	-	-	-
		100人～300人	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	業況	良　い	4	75.0	-	75.0	-	50.0	-	-	-	-	-
		普　通	36	22.2	22.2	11.1	27.8	13.9	8.3	11.1	2.8	-	36.1
		悪　い	13	38.5	15.4	30.8	7.7	-	-	7.7	-	-	38.5
サービス業			43	25.6	18.6	11.6	9.3	18.6	9.3	7.0	4.7	-	37.2
	従業者規模	1人～4人	27	25.9	11.1	14.8	-	14.8	7.4	7.4	7.4	-	44.4
		5人～19人	9	-	44.4	11.1	11.1	33.3	-	11.1	-	-	33.3
		20人～49人	4	75.0	-	-	50.0	-	50.0	-	-	-	-
		50人～99人	2	-	50.0	-	-	-	-	-	-	-	50.0
		100人～300人	1	100.0	-	-	100.0	100.0	-	-	-	-	-
	業況	良　い	7	28.6	14.3	14.3	14.3	42.9	-	-	-	-	42.9
		普　通	31	29.0	19.4	9.7	9.7	16.1	9.7	9.7	6.5	-	32.3
		悪　い	4	-	-	25.0	-	-	25.0	-	-	-	75.0
建設業			45	44.4	26.7	17.8	33.3	13.3	17.8	4.4	4.4	-	22.2
	従業者規模	1人～4人	14	28.6	28.6	21.4	28.6	14.3	14.3	-	-	-	35.7
		5人～19人	23	47.8	21.7	13.0	34.8	8.7	26.1	8.7	8.7	-	17.4
		20人～49人	7	57.1	28.6	28.6	28.6	28.6	-	-	-	-	14.3
		50人～99人	1	100.0	100.0	-	100.0	-	-	-	-	-	-
		100人～300人	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	業況	良　い	8	62.5	50.0	25.0	75.0	25.0	12.5	-	-	-	-
		普　通	26	42.3	19.2	23.1	23.1	11.5	11.5	3.8	3.8	-	26.9
		悪　い	11	36.4	27.3	-	27.3	9.1	36.4	9.1	9.1	-	27.3
不動産業			23	13.0	21.7	26.1	-	13.0	8.7	8.7	-	-	47.8
	従業者規模	1人～4人	18	5.6	22.2	22.2	-	11.1	5.6	5.6	-	-	50.0
		5人～19人	5	40.0	20.0	40.0	-	20.0	20.0	20.0	-	-	40.0
		20人～49人	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		50人～99人	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		100人～300人	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	業況	良　い	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0
		普　通	18	16.7	27.8	27.8	-	16.7	11.1	5.6	-	-	38.9
		悪　い	1	-	-	100.0	-	-	-	100.0	-	-	-

東京都全体の中小企業の景況

(2026年4月～6月期)

業況は前期同様変化なく推移

都内中小企業の景況・6業種合計 (D.I.)



今期の6業種合計の業況判断DIは、-1.9(前期比-0.7)と前期同様変化なく推移した。

業種別で見ると、卸売業がわずかに持ち直し、サービス業は前期同様変化なく推移した。一方、製造業は前期同様の厳しさが続き、小売業はわずかに悪化を強め、建設業・不動産業はやや好調感が後退した。

来期は、建設業と不動産業がわずかに弱含み、製造業はやや低迷すると見ている。そのほか、卸売業、サービス業は今期同様変化なく推移し、小売業は今期同様の厳しさが続く予想している。

	前期	今期	増減	来期予想	増減
製造業	-6.3	-5.8	0.5	-8.0	-2.2
卸売業	-5.3	-2.7	2.6	-3.4	-0.7
小売業	-8.8	-10.9	-2.1	-12.0	-1.1
サービス業	-0.8	-2.5	-1.7	-2.9	-0.4
建設業	13.0	11.0	-2.0	6.0	-5.0
不動産業	13.2	11.1	-2.1	7.8	-3.3
総 合	-1.2	-1.9	-0.7	-3.9	-2.0

※前期(2026年1～3月) 来期(2026年7～9月)

<製造業>

業況は前期同様の厳しさが続いた(DI:-5.8、前期比+0.5)。

売上額・受注残は増減なく推移し、収益は前期並の減少が続いた。価格面では販売価格・原材料価格ともにわずかに上昇傾向を強めた。

経営上の問題点の上位項目は前期同様に「原材料高」(44%)、「売上の停滞・減少」(31%)、「人手不足」(18%)が上位を占めた。重点経営施策も前期同様に「販路を広げる」(50%)、「経費を節減する」(44%)、「人材を確保する」(18%)の順となった。

来期の業況はやや低迷すると予想している。

<卸売業>

業況はわずかに持ち直した(DI:-2.7、前期比+2.6)。

売上額は前期同様の増加が続き、収益は増減なく推移した。価格面では販売価格・仕入価格ともにわずかに上昇傾向を強めた。

経営上の問題点の上位項目は「売上の停滞・減少」(31%)、「仕入先からの値上げ要請」(28%)、3位に「利幅の縮小」が上昇して23%となった。重点経営施策は「販路を広げる」(56%)、「経費を節減する」(43%)、3位に「情報力を強化する」が上昇し「人材を確保する」と同率(18%)で並んだ。

来期の業況は期同様変化なく推移すると予想している。

<小売業>

業況はわずかに悪化を強めた(DI:-10.9、前期比-2.1)。

売上額・収益はやや減少を強めた。価格面では販売価格は前期並の上昇が続き、仕入価格はわずかに上昇を強めた。

経営上の問題点の上位項目は前期同様に「売上の停滞・減少」(29%)、「仕入先からの値上げ要請」(25%)、「利幅の縮小」(19%)が上位を占めた。重点経営施策も前期同様に「経費を節減する」(45%)、「品揃えを改善する」(24%)、「宣伝・広告を強化する」(19%)と続いている。

来期の業況は今期同様の厳しさが続く見通しである。

<サービス業>

業況は前期同様変化なく推移した(DI:-2.5、前期比-1.7)。

売上額は前期同様の増加が続き、収益は増減なく推移した。価格面では料金価格は前期並の上昇が続き、材料価格はやや上昇傾向を強めた。

経営上の問題点の上位項目は「人件費の増加」(30%)、「人手不足」(29%)、「材料価格の上昇」(27%)となった。重点経営施策は前期同様に「経費を節減する」(40%)、「販路を広げる」(37%)、「人材を確保する」(26%)が上位を占めた。

来期の業況は今期同様変化なく推移すると予想している。

<建設業>

業況はやや好調感が後退した(DI:11.0、前期比-2.0)。

売上額・受注残・施工高・収益はわずかに増加傾向が一服した。価格面では請負価格は前期並の上昇が続き、材料価格が大幅に上昇傾向を強めた。

経営上の問題点の上位項目は前期同様に「材料価格の上昇」(60%)、「人手不足」(41%)、「売上の停滞・減少」「人件費の増加」が同率(17%)で並んだ。重点経営施策も前期同様に「人材を確保する」(42%)、「経費を節減する」(41%)、「販路を広げる」(34%)の順となった。

来期の業況はわずかに弱含むと予想している。

<不動産業>

業況はやや好調感が後退した(DI:11.1、前期比-2.1)。

売上額はわずかに増加幅が縮小し、収益は大幅に増加傾向が後退した。価格面では販売価格は前期同様に上昇し、仕入価格はやや上昇傾向を強めた。

経営上の問題点の上位項目は1位が「商品物件の高騰」(38%)、2位に「商品物件の不足」(26%)が上昇し、3位に「同業者間の競争の激化」(25%)となり2位と3位が入れ替わった。重点経営施策は「情報力を強化する」(37%)、「販路を広げる」(28%)、「経費を節減する」(27%)と続いている。

来期の業況はわずかに弱含むと予想している。

(一般社団法人 東京都信用金庫協会調べ)

江戸川区と東京都全体の比較表

(2026年4月～6月期)

製造業

【今期実績の比較】

		全 体		食 料 品		一般、金型、 電気、輸送、 精密機械器具		金属製品、建 設用金属製品		パルプ・紙・紙加 工品、出版業、 印刷業、製版 業、製本業		パルプ・紙、印 刷、製本業		木材・木製品、 家具・装備品		繊維工業、衣 服・その他織 維製品		プラスチック 製品	
		江戸川区	全都	江戸川区	全都	江戸川区	全都	江戸川区	全都	江戸川区	全都	江戸川区	全都	江戸川区	全都	江戸川区	全都	江戸川区	全都
業況		-9	-6	-18	-2	7	1	-1	-1	-20	-15	-20	-14	-16	-12	-29	-16	2	-14
売上額		-7	1	-7	8	13	4	-2	4	-14	-8	-14	-6	-11	-10	-43	-12	4	-2
受注残		-13	-3	-2	6	-1	2	-12	0	-13	-9	-13	-9	-18	-11	-42	-11	-13	-6
収益		-14	-5	13	6	-6	0	-8	-3	-33	-16	-33	-17	-10	-7	-39	-11	2	0
販売価格		14	24	13	34	7	28	16	21	17	17	17	14	-10	18	2	16	26	27
原材料価格		29	48	21	51	36	52	37	42	40	45	40	44	13	34	-1	38	-1	52
原材料在庫		1	1	1	5	9	1	1	2	1	0	1	-1	-9	-6	-9	2	-3	-5
資金繰り		-8	-9	-15	-7	-1	-6	-3	-4	-29	-19	-29	-18	-5	-8	-20	-9	3	-18
雇用	残業時間	-3	1	-13	0	10	3	-5	3	-7	-2	-7	-2	-33	-7	0	5	11	2
	人手	-7	-14	0	-16	-30	-17	10	-12	-13	-9	-13	-9	-8	-13	0	-16	11	-13
同期比	売上額	-7	7	-13	18	10	10	0	6	-20	-2	-20	-1	-8	-6	-44	3	-11	2
	収益	-14	-2	-25	4	0	2	-14	-1	-27	-12	-27	-14	-8	-6	-44	-4	-11	-4
経営上の 問題点	① 売上の停滞・減少	35	44	-	50	40	44	48	46	40	39	40	39	33	39	33	43	33	53
	② 原材料高	33	31	13	18	25	26	29	29	40	42	40	41	50	32	56	37	11	30
	③ 同業者間の競争の激化	18	18	-	21	30	22	10	16	13	11	13	11	17	17	22	24	22	19
	④ 人手不足	16	16	13	17	20	13	19	17	13	20	13	19	17	18	11	16	11	17
	⑤ 工場・機械の狭小・老朽化	13	14	25	15	5	13	19	9	13	13	13	13	17	10	-	12	-	16
重点経営 施策	① 経費を節減する	41	44	13	48	35	42	62	45	20	45	20	44	58	42	22	42	44	50
	② 販路を広げる	41	50	38	51	50	47	24	47	60	60	60	58	25	45	67	61	22	51
	③ 人材を確保する	22	18	-	15	40	21	10	15	13	13	13	12	33	17	22	23	22	22
	④ 情報力を強化する	16	11	13	6	10	11	19	10	13	10	13	9	17	10	33	10	11	13
	⑤ 機械化を推進する	10	8	13	12	10	10	19	9	7	5	7	6	-	6	-	3	22	6
借入の難易度		-7	-2	0	-4	-5	4	11	0	-22	-11	-22	-10	-25	-9	-22	3	0	-9

【来期見通しの比較】

業 況		-11	-8	-15	-1	-5	-1	-6	-2	-30	-19	-30	-18	-13	-13	-11	-14	5	-13
売上 額		-7	-1	-6	13	2	4	-6	2	-23	-8	-23	-9	-19	-18	-17	-7	-5	-6
受 注 残		-12	-3	-3	5	-4	2	-10	-1	-23	-6	-23	-8	-24	-13	-19	-6	-8	-7
収 益		-11	-8	11	5	-6	-3	-11	-6	-30	-16	-30	-18	-22	-19	-16	-11	6	-10
販売価格		13	23	12	34	13	27	5	18	20	19	20	15	-8	20	0	11	17	27
原材料価格		31	45	28	46	35	48	38	38	54	47	54	46	10	33	-1	33	-2	49
原材料在庫		1	-1	-1	5	9	1	-1	0	-1	-1	-1	-2	1	-1	-7	2	-3	-10
資金繰り		-8	-9	-16	-8	-1	-5	-5	-5	-27	-15	-27	-16	-10	-12	-9	-7	2	-23
雇 用	残業時間	0	1	-13	-1	5	4	0	0	-7	0	-7	0	-17	-4	0	1	11	2
	人 手	-7	-13	0	-11	-30	-17	10	-11	-13	-9	-13	-9	-8	-14	0	-12	11	-11

* 季節変動調整D・Iを表示している項目。業況、売上額、受注残、収益、販売価格、原材料価格、原材料在庫、資金繰り

* 単純D・Iを表示している項目。雇用面、同期比、借入の難易度

* 企業割合(%)を表示している項目。経営上の問題点、重点経営施策

卸売業

【今期実績の比較】

		全 体	
		江戸川区	全都
業況		-36	-3
売上額		-36	5
収益		-38	-1
販売価格		51	38
仕入価格		60	54
在庫		14	4
資金繰り		-13	-9
雇用	残業時間	-6	1
	人手	-33	-16
同期比	売上額	-25	12
	収益	-25	3
経営上の問題点		69	45
	① 仕入先からの値上げ要請	31	15
	② 人手不足	31	31
	③ 同業者間の競争の激化	25	8
	④ 売上の停滞・減少	25	28
	⑤ 為替レートの変動	19	10
重点経営施策			
	① 販路を広げる	63	56
	② 経費を節減する	38	43
	③ 人材を確保する	31	18
	④ 情報力を強化する	25	18
	⑤ 品揃えを充実する	19	11
借入の難易度		8	-1

小売業

【今期実績の比較】

		全 体		家具・じゅう器、家電・家庭用機械		飲食料品		衣服、呉服、身の回り品	
		江戸川区	全都	江戸川区	全都	江戸川区	全都	江戸川区	全都
業況		-21	-11	-28	-7	-28	-11	-40	-22
売上額		-16	-3	-28	-7	-9	1	-19	-11
収益		-19	-12	-29	-14	-17	-9	-37	-20
販売価格		13	28	-6	19	33	37	-2	18
仕入価格		30	44	7	36	45	52	3	37
在庫		-3	2	-2	5	1	0	-19	9
資金繰り		-16	-10	-13	-2	-19	-13	-16	-14
雇用	残業時間	-7	1	-14	-1	-4	3	-20	-1
	人手	-4	-10	0	-6	0	-11	-20	-5
同期比	売上額	-7	3	-29	1	0	12	-20	-10
	収益	-16	-9	-29	-5	-17	-7	-20	-20
経営上の問題点	販売価格	22	36	0	26	52	48	0	25
	① 売上の停滞・減少	31	29	29	24	39	25	60	36
	② 同業者間の競争の激化	20	25	-	19	35	28	20	17
	③ 利幅の縮小	18	15	14	12	26	17	-	7
	④ 人件費の増加	18	19	29	14	26	20	-	19
	⑤ 大型店との競争の激化	16	18	-	18	13	17	20	13
重点経営施策									
	① 経費を節減する	44	45	43	37	52	47	40	37
	② 品揃えを改善する	22	24	14	17	30	26	20	40
	③ 宣伝・広告を強化する	16	19	-	17	22	17	20	21
	④ 仕入先を開拓・選別する	15	10	-	6	26	12	-	7
	⑤ 売れ筋商品を取り扱う	13	15	-	4	17	18	-	22
借入の難易度		-12	-7	-20	4	-10	-9	-33	-16

【来期見通しの比較】

業況		-33	-3
売上額		-18	3
収益		-21	-3
販売価格		43	35
仕入価格		58	51
在庫		18	1
資金繰り		-16	-8
雇用	残業時間	0	1
	人手	-33	-16

【来期見通しの比較】

業況		-24	-12	-30	-7	-37	-15	-36	-22
売上額		-9	-4	-28	-6	-10	-2	-12	-10
収益		-16	-13	-29	-11	-26	-12	-13	-18
販売価格		17	26	-7	18	31	33	-2	24
仕入価格		28	41	5	28	33	48	2	36
在庫		-4	3	-4	3	-1	0	-19	11
資金繰り		-17	-10	-13	-2	-17	-12	-16	-13
雇用	残業時間	-7	1	-14	-2	-4	1	-20	1
	人手	-4	-11	0	-6	0	-12	-20	-4

* 季節変動調整済D・を表示している項目。業況、売上額、収益、販売価格、仕入価格、在庫、資金繰り

* 単純D・を表示している項目。雇用面、同期比、借入の難易度

* 企業割合(%)を表示している項目。経営上の問題点、重点経営施策

サービス業
【今期実績の比較】

		全 体	
		江戸川区	全都
業況		4	-3
売上額		7	7
収益		1	0
料金価格		10	24
材料価格		33	42
資金繰り		-4	-6
雇用	残業時間	-2	3
	人手	-12	-24
同期比	売上額	7	15
	収益	-5	4
経営上の問題点	① 人手不足	30	27
	② 売上の停滞・減少	21	29
	③ 材料価格の上昇	21	23
	④ 利幅の縮小	19	21
	⑤ 同業者間の競争の激化	9	14
重点経営施策	① 経費を節減する	33	40
	② 販路を広げる	28	37
	③ 人材を確保する	21	16
	④ 宣伝・広告を強化する	16	26
	⑤ 教育訓練を強化する	5	8
借入の難易度		-11	-5

建設業
【今期実績の比較】

		全 体	
		江戸川区	全都
業況		-3	11
売上額		-3	11
受注残		-6	8
施工高		0	17
収益		-2	3
請負価格		8	29
材料価格		54	61
在庫		-10	-4
資金繰り		-2	-2
雇用	残業時間	-9	2
	人手	-30	-31
同期比	売上額	7	16
	収益	-4	7
経営上の問題点	① 材料価格の上昇	50	60
	② 人手不足	33	41
	③ 人件費の増加	33	17
	④ 売上の停滞・減少	22	17
	⑤ 利幅の縮小	20	14
重点経営施策	① 経費を節減する	57	41
	② 販路を広げる	37	42
	③ 人材を確保する	37	34
	④ 技術力を高める	26	18
	⑤ 情報力を強化する	24	14
借入の難易度		-13	3

不動産業
【今期実績の比較】

		全 体	
		江戸川区	全都
業況		7	11
売上額		8	12
収益		-10	8
販売価格		34	31
仕入価格		41	41
在庫		-4	-11
資金繰り		-5	5
雇用	残業時間	0	1
	人手	-4	-9
同期比	売上額	4	19
	収益	-17	13
経営上の問題点	① 同業者間の競争の激化	39	38
	② 商品物件の高騰	39	25
	③ 利幅の縮小	22	14
	④ 大手企業との競争の激化	17	26
	⑤ 売上の停滞・減少	13	14
重点経営施策	① 情報力を強化する	39	37
	② 経費を節減する	22	19
	③ 販路を広げる	17	27
	④ 宣伝・広告を強化する	17	28
	⑤ 不動産の有効活用を図る	13	12
借入の難易度		-20	5

【来期見通しの比較】

業況		3	-3
売上額		-2	5
収益		0	-2
料金価格		13	22
材料価格		29	38
資金繰り		-6	-6
雇用	残業時間	-7	1
	人手	-12	-23

【来期見通しの比較】

業況		-1	6
売上額		-7	7
受注残		-4	4
施工高		-2	11
収益		-6	-1
請負価格		12	26
材料価格		63	58
在庫		-9	-5
資金繰り		1	-3
雇用	残業時間	-7	2
	人手	-33	-34

【来期見通しの比較】

業況		7	8
売上額		19	11
収益		7	5
販売価格		27	27
仕入価格		34	37
在庫		-1	-11
資金繰り		-5	3
雇用	残業時間	0	0
	人手	-4	-9

* 季節変動調整済D-Iを表示している項目。

【サービス業】: 業況、売上額、収益、料金価格、材料価格、資金繰り

【建設業】: 業況、売上額、受注残、施工高、収益、請負価格、材料価格、在庫、資金繰り

【不動産業】: 業況、売上額、収益、販売価格、仕入価格、在庫、資金繰り

* 単純D-Iを表示している項目。雇用面、同期比、借入の難易度

* 企業割合(%)を表示している項目。経営上の問題点、重点経営施策

江戸川区の業種別転記表

(2026年4月～6月期)

製造業

転記表 No.1

2026年4月～6月期

注:各項目の右側は、前期調査における予想(予定)値です。

調査期		2024年		2024年		2025年		2025年		2025年		2025年		2026年		2026年		対	2026年
項 目		7月～9月期		10月～12月期		1月～3月期		4月～6月期		7月～9月期		10月～12月期		1月～3月期		4月～6月期		前期比	7～9月期
業 況	良 い	10.5	7.3	6.2	12.3	9.2	6.3	7.9	10.3	6.6	8.1	11.3	5.8	12.8	8.2	8.7	10.6		7.2
	普 通	68.4	65.0	71.3	71.5	68.5	74.0	71.5	73.0	73.7	69.9	71.3	80.0	71.0	74.5	72.2	74.4		72.1
	悪 い	21.1	27.7	22.5	16.2	22.3	19.7	20.6	16.7	19.7	22.0	17.4	14.2	16.2	17.3	19.1	15.0		20.7
	D・I	-10.6	-20.4	-16.3	-3.9	-13.1	-13.4	-12.7	-6.4	-13.1	-13.9	-6.1	-8.4	-3.4	-9.1	-10.4	-4.4		-13.5
	修 正 値	-13.0	-14.8	-18.3	-8.0	-16.3	-17.4	-11.0	-8.3	-18.3	-12.2	-10.8	-14.8	-7.9	-13.4	-9.1	-7.7	-1.2	-11.0
	傾 向 値	-12.5		-13.8		-14.7		-13.9		-13.5		-12.5		-10.0		-8.5			
売 上 額	増 加	10.4	3.6	9.3	11.2	6.9	7.0	11.1	6.9	9.8	6.4	10.4	7.4	10.3	7.0	10.3	10.3		6.0
	変 ら ず	71.7	74.1	70.5	74.6	73.1	76.7	72.2	81.6	74.6	76.8	71.3	80.3	74.3	80.0	75.0	78.6		79.3
	減 少	17.9	22.3	20.2	14.2	20.0	16.3	16.7	11.5	15.6	16.8	18.3	12.3	15.4	13.0	14.7	11.1		14.7
	D・I	-7.5	-18.7	-10.9	-3.0	-13.1	-9.3	-5.6	-4.6	-5.8	-10.4	-7.9	-4.9	-5.1	-6.0	-4.4	-0.8		-8.7
	修 正 値	-9.5	-15.4	-12.4	-6.7	-13.2	-11.5	-9.1	-5.4	-12.0	-11.0	-10.2	-10.5	-5.9	-8.7	-6.8	-3.2	-0.9	-7.3
	傾 向 値	-9.9		-11.1		-11.5		-10.4		-9.1		-8.5		-7.1		-6.0			
受 注 残	増 加	6.8	3.6	7.0	6.0	6.2	3.9	7.9	5.4	4.9	4.8	4.3	4.9	8.5	5.2	7.0	6.0		5.2
	変 ら ず	75.2	75.4	77.5	78.2	76.0	82.1	75.4	83.0	80.3	80.0	80.9	84.4	81.2	81.8	73.0	82.0		77.4
	減 少	18.0	21.0	15.5	15.8	17.8	14.0	16.7	11.6	14.8	15.2	14.8	10.7	10.3	13.0	20.0	12.0		17.4
	D・I	-11.2	-17.4	-8.5	-9.8	-11.6	-10.1	-8.8	-6.2	-9.9	-10.4	-10.5	-5.8	-1.8	-7.8	-13.0	-6.0		-12.2
	修 正 値	-11.3	-14.2	-12.5	-10.8	-12.2	-14.5	-10.9	-6.0	-13.4	-11.3	-14.5	-9.2	-3.6	-12.1	-13.0	-6.8	-9.4	-11.7
	傾 向 値	-12.6		-13.2		-12.6		-11.0		-9.9		-10.0		-9.0		-8.3			
収 益	増 加	9.0	3.6	7.0	7.5	6.2	6.2	7.1	6.2	7.4	4.0	8.7	6.6	10.3	7.0	9.5	6.8		7.8
	変 ら ず	67.1	70.5	72.1	73.8	73.0	74.4	73.1	79.2	74.6	79.2	73.9	77.8	73.5	78.2	65.5	78.7		71.5
	減 少	23.9	25.9	20.9	18.7	20.8	19.4	19.8	14.6	18.0	16.8	17.4	15.6	16.2	14.8	25.0	14.5		20.7
	D・I	-14.9	-22.3	-13.9	-11.2	-14.6	-13.2	-12.7	-8.4	-10.6	-12.8	-8.7	-9.0	-5.9	-7.8	-15.5	-7.7		-12.9
	修 正 値	-16.1	-18.0	-17.2	-13.7	-14.3	-16.1	-14.0	-9.2	-15.7	-12.7	-13.5	-13.3	-6.7	-11.4	-14.2	-8.7	-7.5	-11.0
	傾 向 値	-15.6		-16.8		-17.0		-15.2		-13.5		-12.3		-10.6		-9.8			
価 格 動 向	販 売 価 格	11.9	6.5	7.8	7.4	14.6	8.5	16.8	13.8	9.8	12.9	16.5	8.2	16.2	12.1	14.7	12.0		14.7
	〃 修 正 値	11.3	7.5	7.1	6.4	10.9	7.9	15.2	10.4	7.8	11.1	15.1	7.4	13.3	11.4	14.1	9.3	0.8	12.9
	〃 傾 向 値	8.0		8.5		9.7		11.7		12.5		13.3		14.6		14.6			
	原 材 料 価 格	34.4	25.4	28.1	28.4	34.1	22.7	39.2	31.7	32.8	30.7	28.7	23.9	30.7	24.4	31.9	30.8		32.7
	〃 修 正 値	34.3	25.5	29.1	27.4	29.7	23.3	34.6	27.1	30.7	28.4	30.1	23.3	28.9	25.4	29.3	27.1	0.4	30.6
	〃 傾 向 値	32.9		32.5		32.1		33.0		33.8		33.6		33.3		31.9			
在 庫 ・ 資 金 繰 り	原材料在庫数量	0.0	-0.7	-1.6	-0.7	-0.7	-2.4	-3.2	0.0	-0.8	-2.4	0.0	-0.8	2.6	0.9	0.9	0.9		1.8
	〃 修 正 値	-0.3	-0.5	-0.7	-1.3	-1.0	-2.0	-3.0	0.0	-1.5	-2.4	0.5	-1.0	1.3	1.2	1.0	0.2	-0.3	1.2
	資 金 繰 り	-10.4	-9.3	-10.0	-8.9	-5.4	-7.8	-9.5	-4.6	-9.0	-8.0	-7.0	-9.0	-9.4	-8.7	-6.9	-8.5		-6.9
	〃 修 正 値	-9.7	-6.6	-11.5	-10.3	-7.5	-8.8	-10.3	-6.1	-9.5	-8.8	-7.1	-10.0	-9.8	-8.4	-7.7	-9.0	2.1	-7.7
前 年 同 期 比	売 上 額	-4.5		-7.7		-3.9		-4.8		-4.9		-6.1		1.7		-6.9			
	収 益	-10.5		-13.1		-6.2		-8.0		-10.7		-11.3		-6.9		-13.8			
雇 用	残 業 時 間	-8.2	-8.8	-8.5	-5.3	-10.0	-7.8	-7.9	-8.4	-9.9	-3.2	-5.2	-7.5	-4.3	-5.2	-2.6	0.0		0.0
	人 手	-9.7	-10.2	-10.1	-8.3	-9.2	-10.3	-7.9	-11.5	-11.5	-7.2	-14.9	-16.0	-12.8	-13.2	-6.9	-11.9		-6.9
借 入 金	借入をし/借入の予定あり(%)	13.5	5.8	12.5	9.8	7.8	6.3	8.9	7.8	7.4	5.7	7.8	5.1	5.2	6.1	7.8	6.1		7.8
	借入しない/借入の予定なし(%)	86.5	94.2	87.5	90.2	92.2	93.7	91.1	92.2	92.6	94.3	92.2	94.9	94.8	93.9	92.2	93.9		92.2
	借 入 難 易 度	-8.0		-5.7		-9.2		-5.0		0.0		0.0		-6.4		-6.7			
有効回答事業所数		135		129		130		126		122		115		117		116			

製造業

転記表 No.2

2026年4月～6月期

注:各項目の右側は、前期調査における予想(予定)値です。

調査期		2024年		2024年		2025年		2025年		2025年		2025年		2026年		2026年		対	2026年
項 目		7月～9月期		10月～12月期		1月～3月期		4月～6月期		7月～9月期		10月～12月期		1月～3月期		4月～6月期		前期比	7～9月期
設備投資動向(%)	現在の設備	-0.7	-1.5	0.8	-1.5	0.8	0.8	0.8	1.6	-5.7	0.8	-2.7	-5.8	-1.7	-3.5	-4.4	-2.6		-6.1
	実施した・予定あり	15.7	16.7	12.5	14.5	16.3	10.2	15.2	14.3	18.3	10.7	13.2	13.7	15.5	11.6	16.5	14.7		15.2
	事業用土地・建物	14.3	4.3	6.3	10.5	14.3	-	5.3	-	9.1	7.7	13.3	6.3	5.6	15.4	-	5.9		5.9
	機械・設備の新・増設	33.3	34.8	31.3	42.1	33.3	38.5	31.6	22.2	31.8	30.8	33.3	31.3	38.9	30.8	52.6	29.4		41.2
	機械・設備の更改	33.3	26.1	43.8	26.3	52.4	46.2	31.6	44.4	40.9	23.1	53.3	31.3	27.8	46.2	42.1	41.2		52.9
	事務機器	23.8	30.4	12.5	26.3	19.0	7.7	31.6	27.8	36.4	15.4	20.0	31.3	27.8	15.4	31.6	29.4		23.5
	車両	28.6	39.1	25.0	42.1	23.8	30.8	42.1	38.9	27.3	38.5	26.7	37.5	11.1	23.1	31.6	17.6		17.6
	その他	4.8	8.7	-	-	-	-	-	5.6	9.1	7.7	-	6.3	-	-	10.5	5.9		5.9
	実施しない・予定なし	84.3	83.3	87.5	85.5	83.7	89.8	84.8	85.7	81.7	89.3	86.8	86.3	84.5	88.4	83.5	85.3		84.8
経営上の問題点(%)	売上の停滞・減少	40.7		35.7		33.1		33.3		36.1		33.9		32.5		32.8			
	人手不足	14.1		19.4		15.4		11.9		12.3		16.5		15.4		18.1			
	大手企業との競争の激化	5.2		4.7		4.6		4.8		5.7		7.0		5.1		6.0			
	同業者間の競争の激化	16.3		13.2		10.8		15.9		13.1		14.8		15.4		11.2			
	親企業による差別の強化	0.7		1.6		0.8		-		-		-		-		-			
	輸入製品との競争の激化	2.2		3.1		3.8		3.2		3.3		2.6		3.4		2.6			
	合理化の不足	1.5		3.9		3.8		0.8		4.1		2.6		2.6		2.6			
	利幅の縮小	17.0		16.3		16.2		14.3		13.9		11.3		10.3		15.5			
	原材料高	28.9		26.4		30.0		33.3		29.5		27.0		27.4		34.5			
	販売納入先からの値下げ要請	3.0		3.1		2.3		3.2		1.6		2.6		4.3		2.6			
	仕入先からの値上げ要請	8.9		10.9		7.7		8.7		9.0		7.8		9.4		12.9			
	人件費の増加	10.4		10.1		9.2		11.1		11.5		7.8		6.8		6.0			
	人件費以外の経費増加	1.5		1.6		1.5		3.2		2.5		2.6		3.4		2.6			
	工場・機械の狭小・老朽化	7.4		5.4		4.6		6.3		6.6		11.3		12.0		7.8			
	生産能力の不足	2.2		1.6		1.5		4.0		3.3		5.2		1.7		3.4			
	下請の確保難	3.7		2.3		3.8		2.4		2.5		4.3		2.6		3.4			
	代金回収の悪化	0.7		0.8		0.8		1.6		0.8		1.7		1.7		1.7			
	地価の高騰	-		-		-		0.8		-		-		0.9		-			
	天候の不順	1.5		2.3		1.5		1.6		1.6		1.7		-		0.9			
	地場産業の衰退	0.7		-		0.8		0.8		0.8		-		-		0.9			
	大手企業・工場の縮小・撤退	0.7		2.3		0.8		0.8		0.8		1.7		1.7		0.9			
	為替レートの変動	0.7		-		0.8		0.8		-		0.9		1.7		1.7			
重点経営施策(%)	販路を広げる	51.9		47.3		47.7		50.0		43.4		42.6		40.2		40.5			
	経費を節減する	37.8		38.8		35.4		40.5		39.3		38.3		41.0		41.4			
	情報力を強化する	12.6		11.6		10.8		11.1		9.0		10.4		12.0		15.5			
	新製品・技術を開発する	5.9		7.8		9.2		7.1		9.8		5.2		6.0		4.3			
	不採算部門を整理・縮小する	2.2		1.6		2.3		2.4		3.3		1.7		2.6		2.6			
	提携先を見つける	5.9		6.2		6.9		4.8		1.6		3.5		3.4		6.9			
	機械化を推進する	7.4		7.8		7.7		7.9		9.0		7.8		7.7		10.3			
	人材を確保する	17.8		15.5		18.5		16.7		15.6		18.3		17.1		21.6			
	パート化を図る	0.7		0.8		1.5		1.6		0.8		2.6		3.4		2.6			
	教育訓練を強化する	2.2		2.3		3.1		4.0		3.3		3.5		0.9		1.7			
	労働条件を改善する	3.0		2.3		6.2		4.8		4.1		2.6		5.1		4.3			
	工場・機械を増設・移転する	2.2		2.3		2.3		3.2		3.3		4.3		4.3		4.3			
	不動産の有効活用を図る	0.7		-		0.8		-		-		1.7		1.7		0.9			
	その他	2.2		2.3		1.5		1.6		1.6		-		0.9		0.9			
	特になし	13.3		16.3		20.0		15.9		18.0		24.3		23.9		22.4			
有効回答事業所数		135		129		130		126		122		115		117		116			

卸売業

転記表 No.1

2026年4月～6月期

注：各項目の右側は、前期調査における予想(予定)値です。

調査期		2024年		2024年		2025年		2025年		2025年		2025年		2026年		2026年		対	2026年
項 目		7月～9月期		10月～12月期		1月～3月期		4月～6月期		7月～9月期		10月～12月期		1月～3月期		4月～6月期		前期比	7～9月期
業 況	良 い	23.5	17.6	13.3	17.6	18.8	7.1	12.5	12.5	6.3	6.3	6.7	18.8	-	13.3	-	8.3		6.7
	普 通	47.1	53.0	46.7	58.9	68.7	57.2	62.5	68.7	62.4	81.2	53.3	56.2	50.0	46.7	66.7	50.0		60.0
	悪 い	29.4	29.4	40.0	23.5	12.5	35.7	25.0	18.8	31.3	12.5	40.0	25.0	50.0	40.0	33.3	41.7		33.3
	D・I	-5.9	-11.8	-26.7	-5.9	6.3	-28.6	-12.5	-6.3	-25.0	-6.2	-33.3	-6.2	-50.0	-26.7	-33.3	-33.4		-26.6
	修 正 値	-7.7	-14.9	-28.3	-10.9	2.3	-29.1	-18.7	0.6	-27.3	-17.3	-32.6	-15.9	-47.8	-23.7	-35.5	-24.9	12.3	-32.5
	傾 向 値	-6.4		-7.7		-10.3		-9.6		-12.1		-15.3		-23.2		-32.8			
売 上 額	増 加	23.5	23.5	33.4	17.6	18.8	33.4	33.3	25.0	12.5	27.8	13.3	25.0	-	13.3	6.3	25.0		12.5
	変 ら ず	47.1	47.1	33.3	53.0	62.4	33.3	38.9	62.5	62.5	55.5	40.0	62.5	25.0	46.7	56.2	41.7		62.5
	減 少	29.4	29.4	33.3	29.4	18.8	33.3	27.8	12.5	25.0	16.7	46.7	12.5	75.0	40.0	37.5	33.3		25.0
	D・I	-5.9	-5.9	0.1	-11.8	0.0	0.1	5.5	12.5	-12.5	11.1	-33.4	12.5	-75.0	-26.7	-31.2	-8.3		-12.5
	修 正 値	-3.7	-6.0	-8.6	-13.5	3.1	-8.2	-3.8	17.9	-14.9	0.1	-36.0	5.4	-69.0	-26.7	-36.3	1.1	32.7	-17.7
	傾 向 値	-8.2		-8.2		-5.6		-1.5		-0.9		-5.9		-19.5		-33.4			
収 益	増 加	23.5	17.6	26.7	5.9	18.8	26.7	27.8	25.0	6.3	16.7	13.3	18.8	8.3	13.3	6.3	25.0		12.5
	変 ら ず	53.0	58.9	40.0	70.6	56.2	40.0	55.5	56.2	62.4	61.1	46.7	68.7	8.3	60.0	56.2	33.3		56.2
	減 少	23.5	23.5	33.3	23.5	25.0	33.3	16.7	18.8	31.3	22.2	40.0	12.5	83.4	26.7	37.5	41.7		31.3
	D・I	0.0	-5.9	-6.6	-17.6	-6.2	-6.6	11.1	6.2	-25.0	-5.5	-26.7	6.3	-75.1	-13.4	-31.2	-16.7		-18.8
	修 正 値	1.1	-6.6	-12.9	-19.1	-3.8	-13.8	-0.6	16.1	-25.8	-14.2	-28.2	-2.2	-69.5	-18.1	-38.0	-3.9	31.5	-21.2
	傾 向 値	-12.3		-8.2		-4.4		-1.8		-3.6		-9.2		-20.3		-34.2			
価 格 動 向	販 売 価 格	29.4	23.5	33.3	17.6	31.2	33.3	11.1	31.2	18.7	11.1	33.3	12.5	33.4	26.6	56.2	25.0		50.0
	〃 修 正 値	23.4	23.3	34.1	11.7	27.9	35.3	10.9	28.4	12.8	8.3	31.7	7.8	33.3	27.5	50.5	23.9	17.2	43.0
	〃 傾 向 値	26.0		26.2		29.6		28.5		24.9		23.6		23.9		29.8			
	仕 入 価 格	23.5	17.6	33.3	23.5	31.2	33.3	31.2	25.0	22.2	53.3	18.7	58.3	46.7	62.5	50.0			62.5
	〃 修 正 値	20.6	19.6	35.6	18.9	25.6	37.0	32.2	27.5	20.9	21.0	51.3	14.5	55.3	47.7	59.8	46.9	4.5	57.6
在 庫 ・ 資 金 繰 り	〃 傾 向 値	28.7		26.1		28.1		29.8		30.5		33.2		39.1		46.1			
	在 庫 数 量	0.0	-11.7	6.6	-11.8	0.0	0.0	-5.5	0.0	0.0	-5.5	0.0	0.0	0.0	0.0	18.8	-8.4		25.0
	〃 修 正 値	1.3	-13.2	9.2	-10.0	-1.6	4.8	-8.5	-2.1	2.6	-10.3	1.9	1.8	0.4	4.4	14.2	-7.7	13.8	18.3
	資 金 繰 り	11.7	11.7	-6.7	5.9	-6.2	13.4	0.0	-6.2	-6.3	0.0	-13.4	0.0	-16.6	-6.7	-12.5	0.0		-18.7
	〃 修 正 値	9.4	13.6	-7.7	4.2	-6.1	7.1	-2.9	-3.5	-8.0	-1.8	-10.9	-2.6	-13.1	-9.0	-12.8	4.2	0.3	-15.5
前 年 同 期 比	売 上 額	-17.7		-13.3		25.0		0.0		0.0		-26.6		-33.3		-25.0			
	収 益	0.0		-13.3		18.7		-11.1		-25.0		-33.4		-33.3		-25.0			
	販 売 価 格	23.5		26.6		43.6		27.8		18.7		46.6		58.3		68.7			
雇 用	残 業 時 間	-5.8	-5.9	-6.7	0.0	-6.2	0.0	-11.1	-6.2	-6.6	-22.2	0.0	-6.6	0.0	0.0	-6.3	0.0		0.0
	人 手	-6.3	-35.3	-40.0	-12.5	-26.7	-40.0	-29.4	-26.7	-28.6	-35.3	-33.3	-28.6	-25.0	-33.3	-33.3	-25.0		-33.3
借 入 金	借入をした/借入の予定あり(%)	11.8	12.5	20.0	5.9	37.5	0.0	22.2	12.5	13.3	0.0	26.7	0.0	8.3	13.3	18.8	8.3		18.8
	借入しない/借入の予定なし(%)	88.2	87.5	80.0	94.1	62.5	100.0	77.8	87.5	86.7	100.0	73.3	100.0	91.7	86.7	81.2	91.7		81.2
	借入難易度	7.7		0.0		0.0		6.7		0.0		9.1		10.0		7.7			
有効回答事業所数		18		16		17		18		16		16		12		16			

卸売業

転記表 No.2

2026年4月～6月期

注:各項目の右側は、前期調査における予想(予定)値です。

調査期		2024年		2024年		2025年		2025年		2025年		2025年		2026年		2026年		対 前期比	2026年 7～9月 期
項 目		7月～9月期		10月～12月期		1月～3月期		4月～6月期		7月～9月期		10月～12月期		1月～3月期		4月～6月期			
設備投資動向(%)	現在の設備	0.0	-12.5	-20.0	0.0	-6.3	-14.3	-11.1	-6.3	-6.7	-11.1	-6.7	-6.7	-8.3	0.0	0.0	0.0		0.0
	実施した・予定あり	18.8	23.5	30.8	20.0	20.0	15.4	0.0	7.1	6.7	0.0	35.7	20.0	20.0	21.4	14.3	11.1		21.4
	事業用土地・建物	33.3	-	-	33.3	-	-	-	100.0	-	-	20.0	-	-	-	50.0	-		33.3
	機械・設備の新・増設	33.3	75.0	-	33.3	-	-	-	-	-	-	20.0	-	50.0	66.7	50.0	100.0		-
	機械・設備の更改	-	75.0	-	-	33.3	-	-	100.0	-	-	60.0	-	-	66.7	50.0	-		66.7
	事務機器	33.3	-	75.0	33.3	33.3	100.0	-	-	100.0	-	20.0	33.3	50.0	33.3	50.0	-		-
	車両	-	50.0	25.0	33.3	66.7	-	-	100.0	-	-	40.0	66.7	-	33.3	50.0	-		100.0
	その他	33.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		-
	実施しない・予定なし	81.2	76.5	69.2	80.0	80.0	84.6	100.0	92.9	93.3	100.0	64.3	80.0	80.0	78.6	85.7	88.9		78.6
経営上の問題点(%)	売上の停滞・減少	44.4		25.0		29.4		33.3		31.3		31.3		25.0		31.3			
	人手不足	22.2		37.5		17.6		38.9		31.3		25.0		33.3		31.3			
	同業者間の競争の激化	16.7		6.3		17.6		5.6		18.8		18.8		25.0		18.8			
	輸入品との競争の激化	-		-		5.9		-		-		-		-		-			
	流通経路の変化による競争の激化	-		-		-		-		6.3		-		-		-			
	合理化の不足	5.6		6.3		-		5.6		6.3		-		-		6.3			
	小口注文・多頻度配送の増加	-		6.3		-		-		-		6.3		-		-			
	利幅の縮小	-		6.3		5.9		11.1		-		6.3		8.3		12.5			
	取扱商品の陳腐化	-		-		-		-		6.3		6.3		8.3		6.3			
	販売商品の不足	11.1		-		5.9		11.1		12.5		12.5		8.3		6.3			
	販売納入先からの値下げ要請	-		-		-		5.6		-		6.3		-		-			
	仕入先からの値上げ要請	5.6		12.5		11.8		11.1		12.5		12.5		33.3		25.0			
	人件費の増加	-		6.3		5.9		16.7		12.5		6.3		8.3		6.3			
	人件費以外の経費の増加	-		6.3		5.9		-		-		-		-		-			
	取引先の減少	16.7		12.5		17.6		22.2		6.3		18.8		8.3		25.0			
	店舗の狭小・老朽化	-		-		-		5.6		6.3		6.3		-		-			
	代金回収の悪化	-		-		-		-		-		-		-		-			
	地価の高騰	-		-		5.9		-		-		-		-		6.3			
	駐車場の確保難	5.6		-		5.9		-		-		-		-		6.3			
	天候の不順	-		6.3		-		-		-		6.3		-		-			
	地場産業の衰退	-		-		-		-		-		-		-		-			
	為替レートの変動	11.1		6.3		11.8		5.6		6.3		6.3		16.7		18.8			
	大手企業・工場の縮小・撤退	-		-		-		-		6.3		-		-		-			
	その他	-		-		5.9		5.6		-		-		-		-			
	問題なし	27.8		31.3		17.6		16.7		6.3		12.5		16.7		12.5			
重点経営施策(%)	販路を広げる	50.0		43.8		58.8		38.9		56.3		62.5		58.3		62.5			
	経費を節減する	22.2		18.8		23.5		22.2		18.8		18.8		16.7		37.5			
	品揃えを充実する	27.8		18.8		11.8		16.7		6.3		12.5		16.7		18.8			
	情報力を強化する	16.7		25.0		29.4		27.8		12.5		-		33.3		25.0			
	新しい事業を始める	11.1		18.8		11.8		11.1		12.5		12.5		16.7		12.5			
	提携先を見つける	5.6		6.3		-		5.6		6.3		12.5		16.7		6.3			
	機械化を推進する	-		-		5.9		11.1		6.3		6.3		-		-			
	人材を確保する	33.3		31.3		17.6		27.8		25.0		31.3		33.3		31.3			
	パート化を図る	-		-		-		-		-		-		-		-			
	教育訓練を強化する	-		-		-		-		-		6.3		-		6.3			
	流通経路の見直しをする	5.6		-		-		5.6		-		-		-		-			
	取引先を支援する	-		-		-		-		-		-		-		-			
	輸入品の取扱いを増やす	-		-		-		-		-		-		-		-			
	労働条件を改善する	-		6.3		5.9		-		6.3		12.5		8.3		-			
	不動産の有効活用を図る	-		-		5.9		5.6		6.3		-		-		6.3			
	その他	5.6		-		-		-		-		-		-		-			
	特になし	22.2		31.3		17.6		22.2		6.3		12.5		16.7		18.8			
有効回答事業所数		18		16		17		18		16		16		12		16			

小売業

転記表 No.1

2026年4月～6月期

注：各項目の右側は、前期調査における予想(予定)値です。

調査期		2024年		2024年		2025年		2025年		2025年		2025年		2026年		2026年		対	2026年
項 目		7月～9月期		10月～12月期		1月～3月期		4月～6月期		7月～9月期		10月～12月期		1月～3月期		4月～6月期		前期比	7～9月期
業 況	良 い	11.9	8.1	4.8	6.9	3.3	1.7	8.2	1.6	6.8	1.6	-	3.4	5.5	3.5	7.3	3.7		5.6
	普 通	67.8	64.5	73.0	72.4	72.1	76.3	68.8	78.7	71.2	77.1	79.3	72.5	69.0	77.2	65.4	70.4		66.6
	悪 い	20.3	27.4	22.2	20.7	24.6	22.0	23.0	19.7	22.0	21.3	20.7	24.1	25.5	19.3	27.3	25.9		27.8
	D ・ I	-8.4	-19.3	-17.4	-13.8	-21.3	-20.3	-14.8	-18.1	-15.2	-19.7	-20.7	-20.7	-20.0	-15.8	-20.0	-22.2		-22.2
	修 正 値	-11.2	-23.1	-19.6	-14.1	-19.2	-20.1	-17.4	-19.3	-18.6	-23.7	-22.3	-21.6	-17.7	-17.0	-21.4	-23.5	-3.7	-23.9
	傾 向 値	-16.7		-16.9		-17.5		-16.3		-16.3		-17.6		-17.8		-18.3			
売 上 額	増 加	10.0	6.1	6.3	8.3	6.6	9.5	6.6	4.9	8.6	6.6	10.3	6.9	7.3	7.0	9.1	1.8		9.3
	変 ら ず	71.7	68.1	73.1	76.7	73.7	69.9	75.4	80.3	72.4	75.4	72.5	72.4	69.1	82.5	65.4	80.0		72.2
	減 少	18.3	25.8	20.6	15.0	19.7	20.6	18.0	14.8	19.0	18.0	17.2	20.7	23.6	10.5	25.5	18.2		18.5
	D ・ I	-8.3	-19.7	-14.3	-6.7	-13.1	-11.1	-11.4	-9.9	-10.4	-11.4	-6.9	-13.8	-16.3	-3.5	-16.4	-16.4		-9.2
	修 正 値	-9.7	-18.2	-17.0	-10.5	-13.6	-10.3	-13.0	-11.1	-14.1	-12.5	-10.9	-18.5	-16.3	-5.7	-16.3	-18.3	0.0	-9.2
	傾 向 値	-14.6		-15.1		-14.9		-12.8		-12.0		-11.4		-10.9		-11.9			
収 益	増 加	11.7	3.0	6.3	3.3	4.9	6.3	6.6	3.3	8.6	3.3	8.6	5.2	3.6	3.5	7.3	1.8		5.6
	変 ら ず	65.0	68.2	69.9	76.7	72.1	71.5	70.4	78.7	70.7	78.7	74.2	72.4	72.8	82.5	65.4	80.0		72.2
	減 少	23.3	28.8	23.8	20.0	23.0	22.2	23.0	18.0	20.7	18.0	17.2	22.4	23.6	14.0	27.3	18.2		22.2
	D ・ I	-11.6	-25.8	-17.5	-16.7	-18.1	-15.9	-16.4	-14.7	-12.1	-14.7	-8.6	-17.2	-20.0	-10.5	-20.0	-16.4		-16.6
	修 正 値	-14.0	-24.7	-18.9	-17.6	-16.9	-17.0	-17.9	-14.5	-17.5	-16.2	-12.0	-20.4	-18.5	-13.5	-19.1	-17.8	-0.6	-16.3
	傾 向 値	-23.3		-22.5		-20.8		-17.8		-16.0		-14.9		-14.0		-14.7			
価 格 動 向	販 売 価 格	16.7	18.2	14.3	10.0	21.3	12.7	24.6	16.4	22.0	16.4	13.8	20.3	7.3	10.5	16.4	7.3		22.2
	〃 修 正 値	16.0	18.1	13.1	8.9	18.5	13.3	20.2	14.1	20.0	12.2	13.9	16.9	7.5	11.3	12.7	6.9	5.2	17.4
	〃 傾 向 値	15.4		16.5		17.8		19.0		19.9		20.5		18.7		15.9			
	仕 入 価 格	28.4	30.3	23.8	16.7	29.5	17.4	32.8	22.9	32.2	24.6	29.3	27.1	20.0	26.3	32.7	18.2		33.3
	〃 修 正 値	28.7	30.4	21.1	16.9	25.5	16.9	29.7	21.0	30.1	19.7	26.8	24.4	19.4	24.8	29.8	18.3	10.4	28.0
	〃 傾 向 値	29.4		29.7		29.2		29.1		29.1		30.3		29.8		28.6			
在 庫 ・ 資 金 繰 り	在 庫 数 量	-1.6	-6.1	-3.1	-1.7	-3.2	-3.1	6.5	-6.5	-3.4	3.3	5.2	0.0	-5.5	5.3	-1.8	-1.8		-3.7
	〃 修 正 値	-1.3	-5.2	-1.8	-1.4	-2.9	-3.6	3.5	-5.4	-2.8	1.6	5.8	-0.3	-4.0	4.2	-3.4	0.2	0.6	-4.3
	資 金 繰 り	-10.0	-15.2	-15.8	-11.7	-11.4	-15.9	-16.4	-9.9	-13.5	-13.1	-17.3	-15.3	-16.4	-12.2	-14.6	-10.9		-16.7
	〃 修 正 値	-10.4	-15.9	-15.2	-11.6	-10.6	-15.8	-19.1	-10.0	-14.0	-15.5	-15.5	-15.0	-15.4	-11.2	-16.2	-11.3	-0.8	-17.4
前 年 同 期 比	売 上 額	-6.7		-8.0		-3.3		-4.9		0.0		1.7		-7.2		-7.3			
	収 益	-10.0		-12.7		-21.3		-13.2		-13.5		-6.9		-14.5		-16.3			
	販 売 価 格	20.0		11.1		21.3		26.2		24.2		25.9		21.8		21.8			
雇 用	残 業 時 間	-1.7	-7.5	-9.5	-3.3	-9.8	-7.9	0.0	-8.3	-8.6	0.0	0.0	-5.3	-5.5	-3.5	-7.3	-7.3		-7.4
	人 手	0.0	-3.1	-8.1	-1.7	-11.6	-9.7	-8.5	-13.6	-10.5	-5.2	-1.8	-10.9	-3.7	-3.5	-3.6	-5.5		-3.7
借 入 金	借入をした/借入の予定あり(%)	6.7	7.5	6.5	8.3	14.8	3.2	5.0	8.2	5.1	1.7	3.4	3.4	5.5	1.8	7.3	3.7		1.9
	借入しない/借入の予定なし(%)	93.3	92.5	93.5	91.7	85.2	96.8	95.0	91.8	94.9	98.3	96.6	96.6	94.5	98.2	92.7	96.3		98.1
	借入難易度	-12.7		-15.1		-9.3		-11.3		-14.3		-15.6		-19.0		-11.7			
有効回答事業所数		60		63		61		61		59		58		55		55			

小売業

転記表 No.2

2026年4月～6月期

注:各項目の右側は、前期調査における予想(予定)値です。

調査期		2024年		2024年		2025年		2025年		2025年		2025年		2026年		2026年		対 前期比	2026年 7～9月 期	
項 目		7月～9月期		10月～12月期		1月～3月期		4月～6月期		7月～9月期		10月～12月期		1月～3月期		4月～6月期				
設備 投資 動向 (%)	現在の設備	3.3	-4.5	0.0	3.3	-1.6	1.6	-1.7	-1.6	-5.1	-1.7	0.0	-5.3	-5.6	0.0	-5.5	-1.9		-7.4	
	実施した・予定あり	11.9	10.9	11.1	8.8	9.8	11.3	10.2	6.7	8.5	3.6	6.9	5.5	5.6	5.4	3.6	7.5		1.9	
	事業用土地・建物	14.3	42.9	28.6	20.0	-	14.3	16.7	-	20.0	50.0	50.0	33.3	-	33.3	-	-		-	
	事務機器	14.3	14.3	-	20.0	66.7	-	33.3	50.0	40.0	50.0	-	66.7	66.7	33.3	-	25.0		-	
	車両	28.6	14.3	28.6	20.0	-	28.6	33.3	-	40.0	-	50.0	33.3	33.3	-	-	-		-	
	その他	42.9	42.9	42.9	40.0	50.0	57.1	16.7	75.0	20.0	-	-	-	33.3	33.3	100.0	75.0		100.0	
実施しない・予定なし		88.1	89.1	88.9	91.2	90.2	88.7	89.8	93.3	91.5	96.4	93.1	94.5	94.4	94.6	96.4	92.5		98.1	
経営 上 の 問 題 点 (%)	売上の停滞・減少	41.7		34.9		34.4		37.7		39.0		32.8		36.4		30.9				
	人手不足	3.3		6.3		8.2		6.6		8.5		6.9		7.3		9.1				
	同業者間の競争の激化	15.0		7.9		8.2		8.2		11.9		19.0		18.2		16.4				
	大型店との競争の激化	15.0		14.3		19.7		11.5		11.9		12.1		14.5		12.7				
	輸入製品との競争の激化	1.7		1.6		1.6		-		-		1.7		-		1.8				
	利幅の縮小	15.0		15.9		18.0		11.5		18.6		15.5		16.4		18.2				
	取扱商品の陳腐化	1.7		1.6		1.6		3.3		3.4		1.7		3.6		1.8				
	販売商品の不足	-		-		3.3		3.3		-		-		-		-				
	販売納入先からの値下げ要請	3.3		-		1.6		3.3		-		3.4		-		-				
	仕入先からの値上げ要請	15.0		12.7		13.1		16.4		15.3		10.3		10.9		20.0				
	人件費の増加	6.7		6.3		8.2		13.1		15.3		15.5		14.5		18.2				
	人件費以外の経費の増加	1.7		6.3		6.6		1.6		1.7		1.7		-		5.5				
	取引先の減少	8.3		11.1		9.8		8.2		5.1		5.2		7.3		5.5				
	商圏人口の減少	6.7		4.8		4.9		3.3		5.1		6.9		7.3		9.1				
	商店街の集客力の低下	8.3		4.8		6.6		9.8		10.2		8.6		10.9		9.1				
	店舗の狭小・老朽化	3.3		-		-		1.6		1.7		-		-		-				
	代金回収の悪化	-		1.6		-		-		-		-		-		-				
	地価の高騰	-		3.2		1.6		1.6		-		-		-		-				
	駐車場の確保難	-		-		1.6		-		-		-		-		-				
	天候の不順	1.7		-		1.6		-		-		-		-		-				
	地場産業の衰退	1.7		-		-		-		-		-		-		-				
	大手企業・工場の縮小・撤退	-		-		-		-		-		-		-		-				
	その他	1.7		1.6		1.6		1.6		1.7		-		1.8		1.8				
	問題なし	16.7		28.6		21.3		23.0		18.6		24.1		23.6		23.6				
重 点 経 営 策 略 (%)	品揃えを改善する	23.3		19.0		23.0		14.8		13.6		17.2		20.0		21.8				
	経費を節減する	40.0		41.3		34.4		44.3		49.2		37.9		40.0		43.6				
	宣伝・広報を強化する	23.3		15.9		16.4		11.5		13.6		13.8		16.4		16.4				
	新しい事業を始める	-		1.6		-		3.3		1.7		1.7		-		-				
	店舗・設備を改装する	3.3		7.9		3.3		1.6		3.4		3.4		3.6		1.8				
	仕入先を開拓・選別する	11.7		12.7		8.2		6.6		5.1		6.9		9.1		14.5				
	営業時間を延長する	-		1.6		1.6		1.6		1.7		1.7		1.8		1.8				
	売れ筋商品を取り扱う	8.3		11.1		8.2		11.5		6.8		13.8		14.5		12.7				
	商店街事業を活性化させる	8.3		6.3		1.6		1.6		5.1		5.2		5.5		5.5				
	機械化を推進する	-		3.2		3.3		3.3		5.1		1.7		-		-				
	人材を確保する	1.7		3.2		3.3		8.2		5.1		1.7		-		3.6				
	パート化を図る	1.7		-		-		-		1.7		-		-		-				
	教育訓練を強化する	-		-		-		-		-		3.4		1.8		-				
	輸入品の取扱いを増やす	-		-		1.6		-		-		-		-		-				
	不動産の有効活用を図る	3.3		-		1.6		-		-		1.7		-		-				
	その他	-		-		1.6		-		1.7		-		-		1.8				
	特になし	25.0		27.0		32.8		27.9		35.6		34.5		32.7		29.1				
有効回答事業所数		60		63		61		61		59		58		55		55				

サービス業

転記表 No.1

2026年4月～6月期

注：各項目の右側は、前期調査における予想(予定)値です。

調査期		2024年		2024年		2025年		2025年		2025年		2025年		2026年		2026年		対	2026年
項 目		7月～9月期		10月～12月期		1月～3月期		4月～6月期		7月～9月期		10月～12月期		1月～3月期		4月～6月期		前期比	7～9月期
業 況	良 い	8.7	15.7	20.0	8.7	17.0	15.6	10.9	19.1	13.3	6.5	17.4	6.7	15.2	13.3	16.7	10.9		16.7
	普 通	78.3	68.6	73.3	78.3	66.0	73.3	76.1	63.9	75.6	80.5	67.4	84.4	69.6	71.1	73.8	76.1		71.4
	悪 い	13.0	15.7	6.7	13.0	17.0	11.1	13.0	17.0	11.1	13.0	15.2	8.9	15.2	15.6	9.5	13.0		11.9
	D ・ I	-4.3	0.0	13.3	-4.3	0.0	4.5	-2.1	2.1	2.2	-6.5	2.2	-2.2	0.0	-2.3	7.2	-2.1		4.8
	修 正 値	-7.8	4.4	5.4	-9.6	2.2	1.4	-5.5	1.1	-4.8	-8.2	-5.5	-9.8	0.8	-5.3	4.0	-2.7	3.2	3.3
	傾 向 値	-1.2		0.4		2.7		2.2		2.5		2.0		0.6		1.7			
売 上 額	増 加	15.2	13.5	26.7	6.5	19.1	13.6	19.6	17.4	20.0	10.9	21.7	11.4	17.4	19.6	17.1	13.0		11.9
	変 ら ず	71.8	76.9	64.4	87.0	68.1	75.0	63.0	63.0	64.4	73.9	60.9	77.2	71.7	60.8	73.1	71.8		73.8
	減 少	13.0	9.6	8.9	6.5	12.8	11.4	17.4	19.6	15.6	15.2	17.4	11.4	10.9	19.6	9.8	15.2		14.3
	D ・ I	2.2	3.9	17.8	0.0	6.3	2.2	2.2	-2.2	4.4	-4.3	4.3	0.0	6.5	0.0	7.3	-2.2		-2.4
	修 正 値	-3.5	10.2	11.4	-5.2	6.1	-2.9	-0.1	-2.9	-4.0	-5.5	-2.7	-6.9	5.8	-3.8	6.6	-2.0	0.8	-1.8
	傾 向 値	8.1		8.0		9.3		8.1		7.4		6.0		4.3		5.0			
収 益	増 加	13.0	11.5	22.2	6.5	17.0	11.4	17.4	15.2	20.0	8.7	15.2	11.4	13.0	13.0	11.9	6.5		11.9
	変 ら ず	69.6	78.9	62.2	80.5	63.9	72.7	63.0	60.9	66.7	76.1	69.6	77.2	74.0	65.3	78.6	76.1		78.6
	減 少	17.4	9.6	15.6	13.0	19.1	15.9	19.6	23.9	13.3	15.2	15.2	11.4	13.0	21.7	9.5	17.4		9.5
	D ・ I	-4.4	1.9	6.6	-6.5	-2.1	-4.5	-2.2	-8.7	6.7	-6.5	0.0	0.0	0.0	-8.7	2.4	-10.9		2.4
	修 正 値	-8.4	6.5	2.9	-11.0	-2.4	-7.9	-6.5	-8.1	-1.9	-9.7	-4.8	-7.9	-0.1	-10.2	0.8	-9.1	0.9	0.1
	傾 向 値	2.7		1.7		2.0		0.5		0.9		1.4		0.9		1.7			
価 格 動 向	料 金 価 格	19.6	7.7	22.2	10.9	23.4	11.3	23.9	15.2	17.8	15.2	13.1	15.9	6.6	17.4	9.5	8.7		14.3
	〃 修 正 値	17.6	10.7	17.0	8.8	19.9	7.5	24.1	13.9	16.4	14.5	10.2	14.2	5.0	14.4	9.8	8.5	4.8	13.3
	〃 傾 向 値	18.2		19.7		20.4		21.5		22.1		20.7		17.5		13.6			
	材 料 価 格	36.9	28.9	40.0	32.6	38.3	27.2	39.1	30.4	31.1	34.8	32.6	27.3	23.9	34.8	33.3	26.1		28.6
	〃 修 正 値	36.1	32.6	34.7	32.3	34.7	24.2	39.4	26.7	30.6	35.2	27.9	26.8	22.7	31.4	32.8	24.4	10.1	28.5
在 庫 ・ 資 金 繰 り	〃 傾 向 値	40.3		39.8		38.1		38.0		37.9		36.2		33.5		31.0			
	資 金 繰 り	-4.4	-3.8	-4.4	-6.5	-4.3	-6.8	-4.3	-6.5	-6.7	-2.2	-6.5	-4.6	-6.6	-6.5	-2.3	-6.6		-4.7
	〃 修 正 値	-7.2	-0.7	-6.7	-9.7	-4.1	-11.0	-7.6	-5.4	-10.8	-4.3	-6.8	-7.6	-5.9	-7.4	-4.3	-4.6	1.6	-6.0
前 年 同 期 比	売 上 額	10.8		20.0		2.1		2.1		11.1		6.6		8.7		7.1			
	収 益	-4.4		0.0		-10.6		-8.7		-8.9		-8.9		-8.7		-4.7			
雇 用	残 業 時 間	-10.9	-7.8	-6.7	-11.4	-17.0	-7.0	-15.3	-15.6	-8.9	-15.2	-10.8	-9.1	-13.0	-8.7	-2.4	-10.9		-7.1
	人 手	-20.0	-23.5	-22.7	-21.0	-25.0	-23.8	-28.9	-27.9	-22.7	-22.2	-17.8	-16.2	-19.5	-17.8	-11.9	-17.4		-11.9
借 入 金	借入をした/借入の予定あり(%)	19.6	13.7	17.8	8.7	12.8	11.4	19.6	10.9	15.9	10.9	8.9	9.3	11.1	6.7	9.8	11.1		4.9
	借入しない/借入の予定なし(%)	80.4	86.3	82.2	91.3	87.2	88.6	80.4	89.1	84.1	89.1	91.1	90.7	88.9	93.3	90.2	88.9		95.1
	借入難易度	2.7		5.7		2.7		-5.2		-13.9		-11.7		-17.9		-10.8			
有効回答事業所数		46		45		47		46		45		46		46		43			

サービス業

転記表 No.2

2026年4月～6月期

注:各項目の右側は、前期調査における予想(予定)値です。

調査期		2024年		2024年		2025年		2025年		2025年		2025年		2026年		2026年		対	2026年
項 目		7月～9月期		10月～12月期		1月～3月期		4月～6月期		7月～9月期		10月～12月期		1月～3月期		4月～6月期		前期比	7～9月期
設備投資動向(%)	現在の設備	0.0	-14.0	-6.8	-4.5	-8.9	-4.7	-8.9	-7.1	-4.6	-11.4	-6.7	-7.0	-2.3	-6.8	0.0	-2.3		0.0
	実施した・予定あり	31.1	26.0	25.0	25.6	21.7	19.0	26.7	20.0	27.3	25.0	26.7	27.9	24.4	27.9	17.1	20.5		17.1
	事業用土地・建物	14.3	7.7	18.2	-	10.0	12.5	8.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-		14.3
	機械・設備の新・増設	35.7	61.5	36.4	45.5	20.0	37.5	8.3	33.3	33.3	18.2	41.7	33.3	27.3	50.0	28.6	33.3		42.9
	機械・設備の更改	42.9	30.8	27.3	45.5	50.0	25.0	41.7	22.2	16.7	36.4	16.7	25.0	18.2	25.0	14.3	33.3		28.6
	事務機器	35.7	30.8	27.3	36.4	40.0	25.0	33.3	33.3	25.0	36.4	33.3	8.3	18.2	25.0	42.9	22.2		28.6
	車両	42.9	38.5	36.4	54.5	40.0	50.0	41.7	44.4	58.3	45.5	41.7	41.7	45.5	41.7	28.6	44.4		28.6
	その他	-	7.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		-
	実施しない・予定なし	68.9	74.0	75.0	74.4	78.3	81.0	73.3	80.0	72.7	75.0	73.3	72.1	75.6	72.1	82.9	79.5		82.9
経営上の問題点(%)	売上の停滞・減少	28.3		20.0		19.1		26.1		22.2		21.7		21.7		20.9			
	人手不足	23.9		20.0		21.3		26.1		24.4		23.9		21.7		20.9			
	同業者間の競争の激化	21.7		8.9		12.8		15.2		20.0		17.4		15.2		18.6			
	大企業との競争の激化	4.3		4.4		2.1		2.2		2.2		2.2		2.2		2.3			
	合理化の不足	2.2		2.2		-		2.2		-		2.2		2.2		2.3			
	利幅の縮小	21.7		15.6		12.8		13.0		6.7		15.2		15.2		9.3			
	取扱事務の陳腐化	-		-		-		-		-		-		-		-			
	材料価格の上昇	30.4		33.3		36.2		30.4		17.8		30.4		19.6		30.2			
	料金の値下げ要請	2.2		-		2.1		-		2.2		-		-		-			
	人件費の増加	17.4		4.4		12.8		4.3		11.1		13.0		8.7		4.7			
	人件費以外の経費の増加	4.3		4.4		-		2.2		2.2		-		6.5		-			
	技術力の不足	-		-		-		-		-		-		-		-			
	取引先の減少	2.2		-		2.1		-		2.2		-		4.3		4.7			
	商圏人口の減少	4.3		2.2		-		2.2		2.2		-		-		2.3			
	地価の高騰	-		-		-		-		2.2		-		-		-			
	駐車場の確保難	2.2		2.2		2.1		2.2		2.2		2.2		-		2.3			
	店舗・設備の狭小・老朽化	2.2		4.4		-		2.2		2.2		-		-		2.3			
	代金回収の悪化	-		-		-		-		-		-		2.2		2.3			
	天候の不順	-		-		-		-		2.2		-		-		-			
	地場産業の衰退	-		-		-		2.2		-		-		-		2.3			
	大手企業・工場の縮小・撤退	-		-		-		-		-		-		-		-			
	その他	2.2		4.4		2.1		4.3		2.2		2.2		2.2		-			
	問題なし	13.0		35.6		36.2		30.4		31.1		32.6		34.8		37.2			
重点経営施策(%)	販路を広げる	39.1		28.9		29.8		37.0		24.4		21.7		19.6		27.9			
	経費を節減する	30.4		26.7		23.4		28.3		24.4		28.3		30.4		32.6			
	宣伝・広告を強化する	21.7		15.6		19.1		15.2		20.0		17.4		17.4		20.9			
	新しい事業を始める	4.3		2.2		2.1		4.3		2.2		2.2		4.3		2.3			
	店舗・設備を改装する	-		2.2		2.1		6.5		2.2		4.3		2.2		4.7			
	提携先を見つける	6.5		6.7		6.4		6.5		6.7		4.3		4.3		4.7			
	技術力を強化する	10.9		6.7		6.4		8.7		4.4		6.5		4.3		2.3			
	機械化を推進する	2.2		2.2		2.1		2.2		2.2		2.2		4.3		-			
	人材を確保する	21.7		20.0		19.1		26.1		28.9		21.7		17.4		16.3			
	パート化を図る	-		2.2		-		-		2.2		-		-		-			
	教育訓練を強化する	4.3		4.4		6.4		6.5		8.9		10.9		8.7		2.3			
	労働条件を改善する	10.9		4.4		4.3		4.3		4.4		4.3		2.2		2.3			
	不動産の有効活用を図る	-		2.2		2.1		-		-		-		-		-			
	その他	-		-		-		-		-		-		-		-			
	特になし	17.4		33.3		38.3		26.1		28.9		32.6		34.8		39.5			
有効回答事業所数		46		45		47		46		45		46		46		43			

建設業

転記表 No.1

2026年4月～6月期

注：各項目の右側は、前期調査における予想(予定)値です。

調査期		2024年		2024年		2025年		2025年		2025年		2025年		2026年		2026年		対	2026年
項 目		7月～9月期		10月～12月期		1月～3月期		4月～6月期		7月～9月期		10月～12月期		1月～3月期		4月～6月期		前期比	7～9月期
業 況	良 い	21.7	12.5	24.4	16.3	19.5	17.8	17.4	17.9	18.4	17.4	18.2	15.8	22.2	18.2	17.4	22.2		20.0
	普 通	60.9	72.5	55.6	62.8	58.5	71.1	65.2	66.7	68.4	73.9	61.3	60.5	57.8	65.9	58.7	60.0		62.2
	悪 い	17.4	15.0	20.0	20.9	22.0	11.1	17.4	15.4	13.2	8.7	20.5	23.7	20.0	15.9	23.9	17.8		17.8
	D ・ I	4.3	-2.5	4.4	-4.6	-2.5	6.7	0.0	2.5	5.2	8.7	-2.3	-7.9	2.2	2.3	-6.5	4.4		2.2
	修 正 値	0.2	0.9	-1.7	-3.9	-2.9	0.7	2.9	1.8	-0.4	4.9	-7.7	-7.6	-0.3	-3.4	-2.6	4.1	-2.3	-0.9
	傾 向 値	-1.8		-0.1		-0.2		0.4		1.7		0.9		0.7		0.5			
売 上 額	増 加	23.9	19.0	20.0	17.4	14.6	17.8	15.2	12.2	21.1	15.2	20.0	13.2	28.9	17.8	10.9	22.7		10.9
	変 ら ず	58.7	66.7	60.0	60.9	56.1	68.9	65.2	70.7	71.0	76.1	62.2	73.6	57.8	66.6	73.9	65.9		71.7
	減 少	17.4	14.3	20.0	21.7	29.3	13.3	19.6	17.1	7.9	8.7	17.8	13.2	13.3	15.6	15.2	11.4		17.4
	D ・ I	6.5	4.7	0.0	-4.3	-14.7	4.5	-4.4	-4.9	13.2	6.5	2.2	0.0	15.6	2.2	-4.3	11.3		-6.5
	修 正 値	3.6	8.7	-6.3	-3.3	-10.8	-2.7	-4.1	-4.6	4.5	3.4	-5.4	-0.9	16.1	-4.8	-2.5	11.6	-18.6	-7.0
	傾 向 値	-2.3		-0.7		-1.1		-2.6		-2.3		-1.2		2.9		6.7			
受 注 残	増 加	21.7	16.7	17.8	15.2	17.1	17.8	13.0	17.1	13.2	15.2	13.3	13.2	17.8	20.0	6.5	22.7		8.7
	変 ら ず	65.3	69.0	66.6	69.6	65.8	66.6	74.0	65.8	73.6	71.8	71.1	73.6	66.6	68.9	76.1	63.7		76.1
	減 少	13.0	14.3	15.6	15.2	17.1	15.6	13.0	17.1	13.2	13.0	15.6	13.2	15.6	11.1	17.4	13.6		15.2
	D ・ I	8.7	2.4	2.2	0.0	0.0	2.2	0.0	0.0	0.0	2.2	-2.3	0.0	2.2	8.9	-10.9	9.1		-6.5
	修 正 値	2.2	8.6	-2.4	-2.8	-0.8	-1.4	4.5	-2.4	-8.3	2.6	-6.9	-3.9	0.4	4.2	-5.8	6.3	-6.2	-3.9
	傾 向 値	-0.3		0.2		1.6		2.4		1.6		0.0		-0.3		-1.4			
施 工 高	増 加	19.6	19.0	20.0	15.2	14.6	20.0	15.2	14.6	21.1	17.4	13.3	15.8	22.2	20.0	10.9	22.7		10.9
	変 ら ず	63.0	66.7	62.2	67.4	65.9	68.9	73.9	70.8	71.0	71.7	73.4	76.3	64.5	66.7	73.9	63.7		73.9
	減 少	17.4	14.3	17.8	17.4	19.5	11.1	10.9	14.6	7.9	10.9	13.3	7.9	13.3	13.3	15.2	13.6		15.2
	D ・ I	2.2	4.7	2.2	-2.2	-4.9	8.9	4.3	0.0	13.2	6.5	0.0	7.9	8.9	6.7	-4.3	9.1		-4.3
	修 正 値	-2.7	11.6	-3.2	-3.3	-6.9	2.6	9.8	-2.2	4.8	7.5	-3.8	4.8	4.9	1.5	-0.3	6.4	-5.2	-1.7
	傾 向 値	6.0		4.0		2.2		0.7		2.3		3.4		4.9		5.5			
収 益	増 加	17.4	9.5	17.8	17.4	17.1	13.3	17.4	17.1	23.7	17.4	17.8	10.5	22.2	17.8	10.9	18.2		13.0
	変 ら ず	58.7	66.7	62.2	60.9	58.5	75.6	58.7	63.4	63.1	60.9	57.8	76.3	64.5	66.6	73.9	65.9		67.4
	減 少	23.9	23.8	20.0	21.7	24.4	11.1	23.9	19.5	13.2	21.7	24.4	13.2	13.3	15.6	15.2	15.9		19.6
	D ・ I	-6.5	-14.3	-2.2	-4.3	-7.3	2.2	-6.5	-2.4	10.5	-4.3	-6.6	-2.7	8.9	2.2	-4.3	2.3		-6.6
	修 正 値	-11.0	-11.6	-6.8	-5.5	-7.7	-3.9	-4.8	-1.3	-0.3	-6.0	-10.4	-6.5	5.5	-5.3	-2.0	3.6	-7.5	-5.7
	傾 向 値	-14.8		-11.2		-8.3		-6.9		-3.5		-1.9		-0.5		1.9			
価 格 動 向	請 負 価 格	19.6	15.0	6.7	6.5	2.5	6.7	15.3	4.9	15.8	2.1	6.7	13.2	17.8	11.1	8.7	11.4		13.0
	〃 修正値	13.0	17.2	7.7	6.0	2.6	5.5	15.6	2.9	6.4	2.1	6.1	9.2	17.1	8.3	8.3	9.8	-8.8	12.2
	〃 傾向値	13.1		13.3		11.9		10.9		10.6		10.1		12.0		13.1			
	材 料 価 格	45.7	53.7	48.9	47.8	48.9	44.5	54.3	46.4	34.2	43.5	46.7	34.2	44.5	40.0	56.5	47.7		65.2
	〃 修正値	47.8	55.1	44.0	47.4	45.8	41.1	51.4	44.4	37.1	42.4	41.5	34.1	41.5	36.2	54.2	44.7	12.7	62.9
	〃 傾向値	62.4		57.2		53.0		50.4		48.0		46.3		45.5		45.2			
在 庫 ・ 資 金 繰 り	在 庫 数 量	4.3	-9.8	2.3	2.2	0.0	0.0	2.1	-2.5	-2.7	0.0	-2.2	0.0	0.0	-2.2	-10.8	0.0		-10.8
	〃 修正値	2.0	-8.4	1.6	1.7	-0.3	-1.0	2.8	-3.5	-4.3	0.7	-2.8	-1.0	-0.4	-2.5	-9.7	-0.8	-9.3	-8.9
	資 金 繰 り	6.5	-14.3	-6.7	-4.4	2.5	-6.7	8.7	-2.4	-2.6	2.1	4.4	-7.9	8.9	0.0	-2.1	2.3		2.1
	〃 修正値	4.3	-13.1	-9.3	-4.9	4.2	-8.5	7.4	-3.0	-4.7	0.2	3.1	-7.3	8.8	-1.8	-1.6	1.3	-10.4	1.4
前 年 同 期 比	売 上 額	2.1		8.9		-2.4		-4.3		15.8		-4.4		11.1		6.5			
	収 益	-4.3		0.0		-4.9		-2.2		13.2		-2.2		8.8		-4.4			
雇 用	残 業 時 間	-6.5	-16.3	-11.2	-2.2	-9.7	-8.9	-4.3	-9.8	-5.3	-2.2	-6.7	-7.9	2.3	-4.6	-8.7	2.3		-6.5
	人 手	-28.3	-41.9	-24.5	-28.3	-31.7	-20.0	-32.6	-31.7	-26.3	-35.6	-36.4	-28.9	-35.6	-37.8	-30.4	-44.4		-32.6
借 入 金	借入をした/借入の予定あり(%)	13.0	11.9	22.2	17.4	17.1	15.6	19.6	10.0	15.8	10.9	15.6	10.5	11.1	9.1	21.7	6.7		11.1
	借入しない/借入の予定なし(%)	87.0	88.1	77.8	82.6	82.9	84.4	80.4	90.0	84.2	89.1	84.4	89.5	88.9	90.9	78.3	93.3		88.9
	借入難易度	-17.5		-7.9		-8.1		-11.9		-17.1		-7.7		-5.0		-12.5			
有効回答事業所数		47		45		41		46		38		45		45		46			

建設業

転記表 No.2

2026年4月～6月期

注：各項目の右側は、前期調査における予想(予定)値です。

調査期		2024年		2024年		2025年		2025年		2025年		2025年		2026年		2026年		対	2026年
項 目		7月～9月期		10月～12月期		1月～3月期		4月～6月期		7月～9月期		10月～12月期		1月～3月期		4月～6月期		前期比	7～9月期
設備投資動向(%)	現在の設備	2.1	-7.1	-2.3	0.0	0.0	0.0	-4.3	0.0	-2.7	-4.5	0.0	-2.7	0.0	-2.4	-2.2	-4.7		-2.2
	実施した・予定あり	28.3	29.3	31.1	32.6	31.7	28.9	21.7	27.5	13.2	22.2	28.9	13.2	29.5	15.6	21.7	20.5		23.9
	事業用土地・建物	30.8	25.0	21.4	26.7	7.7	38.5	20.0	9.1	20.0	20.0	30.8	20.0	7.7	42.9	30.0	22.2		27.3
	機械・設備の新・増設	38.5	50.0	42.9	40.0	38.5	38.5	50.0	54.5	60.0	40.0	15.4	60.0	38.5	57.1	40.0	33.3		54.5
	機械・設備の更改	53.8	33.3	14.3	33.3	15.4	30.8	10.0	27.3	-	30.0	15.4	-	30.8	14.3	10.0	22.2		27.3
	事務機器	15.4	16.7	21.4	20.0	46.2	7.7	30.0	36.4	20.0	40.0	15.4	-	30.8	-	20.0	11.1		9.1
	車両	38.5	33.3	50.0	33.3	46.2	53.8	40.0	45.5	20.0	20.0	46.2	40.0	23.1	28.6	60.0	44.4		36.4
	その他	-	-	-	-	-	-	10.0	-	20.0	-	-	20.0	-	-	-	-		-
	実施しない・予定なし	71.7	70.7	68.9	67.4	68.3	71.1	78.3	72.5	86.8	77.8	71.1	86.8	70.5	84.4	78.3	79.5		76.1
経営上の問題点(%)	売上の停滞・減少	27.7		26.7		24.4		30.4		34.2		24.4		17.8		32.6			
	人手不足	25.5		37.8		29.3		39.1		34.2		37.8		31.1		32.6			
	大手企業との競争の激化	6.4		4.4		4.9		4.3		5.3		2.2		-		4.3			
	同業者間の競争の激化	21.3		17.8		19.5		19.6		15.8		11.1		13.3		19.6			
	親企業による選別の強化	-		2.2		-		2.2		-		2.2		-		-			
	合理化の不足	4.3		2.2		2.4		-		-		2.2		2.2		2.2			
	利幅の縮小	19.1		20.0		19.5		19.6		15.8		11.1		13.3		8.7			
	材料価格の上昇	44.7		42.2		39.0		43.5		44.7		46.7		53.3		50.0			
	下請の確保難	17.0		15.6		9.8		13.0		7.9		8.9		6.7		10.9			
	駐車場・資材置場の確保難	2.1		2.2		4.9		2.2		-		4.4		2.2		-			
	人件費の増加	12.8		11.1		17.1		8.7		13.2		20.0		24.4		21.7			
	人件費以外の経費の増加	4.3		2.2		2.4		2.2		2.6		4.4		6.7		8.7			
	技術力の不足	4.3		8.9		2.4		2.2		5.3		8.9		4.4		-			
	代金回収の悪化	2.1		-		2.4		-		-		-		-		-			
	天候の不順	2.1		4.4		2.4		4.3		10.5		4.4		4.4		2.2			
	地場産業の衰退	-		2.2		-		-		-		-		-		-			
	大手企業・工場の縮小・撤退	-		-		2.4		2.2		2.6		2.2		2.2		2.2			
	その他	-		2.2		2.4		-		2.6		-		-		-			
	問題なし	12.8		13.3		12.2		6.5		2.6		11.1		13.3		8.7			
重点経営施策(%)	販路を広げる	40.4		40.0		31.7		43.5		39.5		40.0		42.2		37.0			
	経費を節減する	40.4		46.7		46.3		41.3		55.3		48.9		48.9		56.5			
	情報力を強化する	31.9		20.0		17.1		26.1		23.7		11.1		13.3		23.9			
	新しい工法を導入する	6.4		6.7		2.4		2.2		2.6		2.2		-		4.3			
	新しい事業を始める	2.1		-		-		-		-		-		2.2		-			
	技術力を高める	27.7		35.6		22.0		26.1		15.8		24.4		20.0		26.1			
	人材を確保する	31.9		37.8		34.1		41.3		26.3		35.6		40.0		37.0			
	パート化を図る	-		-		2.4		-		-		2.2		-		-			
	教育訓練を強化する	8.5		4.4		2.4		8.7		2.6		6.7		8.9		2.2			
	労働条件を改善する	6.4		4.4		7.3		4.3		2.6		4.4		11.1		4.3			
	不動産の有効活用を図る	2.1		4.4		4.9		2.2		7.9		4.4		2.2		4.3			
	その他	-		-		-		-		-		-		-		-			
	特になし	10.6		15.6		19.5		10.9		13.2		20.0		17.8		10.9			
有効回答事業所数		47		45		41		46		38		45		45		46			

不動産業

転記表 No.1

2026年4月～6月期

注：各項目の右側は、前期調査における予想(予定)値です。

調査期		2024年		2024年		2025年		2025年		2025年		2025年		2026年		2026年		対	2026年
項 目		7月～9月期		10月～12月期		1月～3月期		4月～6月期		7月～9月期		10月～12月期		1月～3月期		4月～6月期		前期比	7～9月期
業況	良 い	21.7	13.6	9.1	13.0	8.7	13.6	25.0	17.4	26.1	12.5	9.1	13.0	14.3	9.1	17.4	4.8		17.4
	普 通	69.6	77.3	81.8	78.3	78.3	77.3	66.7	73.9	69.6	83.3	77.3	74.0	76.2	77.3	78.3	90.4		73.9
	悪 い	8.7	9.1	9.1	8.7	13.0	9.1	8.3	8.7	4.3	4.2	13.6	13.0	9.5	13.6	4.3	4.8		8.7
	D ・ I	13.0	4.5	0.0	4.3	-4.3	4.5	16.7	8.7	21.8	8.3	-4.5	0.0	4.8	-4.5	13.1	0.0		8.7
	修 正 値	8.9	9.7	0.5	2.4	-1.5	2.9	9.0	5.5	12.7	5.5	-4.6	-4.1	9.5	-5.0	6.8	-3.2	-2.7	6.9
	傾 向 値	1.4		3.7		3.2		4.8		7.5		8.0		8.6		9.3			
売上額	増 加	17.4	8.7	18.2	17.4	13.0	22.7	37.5	17.4	21.7	12.5	9.1	8.7	9.5	14.3	26.1	14.3		30.4
	変 ら ず	69.6	82.6	68.2	65.2	65.3	68.2	41.7	69.6	65.3	58.3	54.5	65.2	76.2	71.4	65.2	71.4		60.9
	減 少	13.0	8.7	13.6	17.4	21.7	9.1	20.8	13.0	13.0	29.2	36.4	26.1	14.3	14.3	8.7	14.3		8.7
	D ・ I	4.4	0.0	4.6	0.0	-8.7	13.6	16.7	4.4	8.7	-16.7	-27.3	-17.4	-4.8	0.0	17.4	0.0		21.7
	修 正 値	3.7	-1.3	3.0	5.4	-4.8	12.1	7.0	0.2	3.3	-18.7	-26.9	-16.1	-1.2	-3.8	8.4	-5.2	9.6	19.0
	傾 向 値	-0.3		2.7		2.8		3.3		4.8		1.3		-2.2		-1.6			
収益	増 加	8.7	8.7	4.5	4.3	4.3	9.1	29.2	8.7	17.4	8.3	4.5	4.3	4.8	9.5	17.4	9.5		21.7
	変 ら ず	69.6	73.9	81.9	74.0	69.6	81.8	50.0	78.3	65.2	66.7	72.8	65.3	76.2	76.2	60.9	66.7		65.3
	減 少	21.7	17.4	13.6	21.7	26.1	9.1	20.8	13.0	17.4	25.0	22.7	30.4	19.0	14.3	21.7	23.8		13.0
	D ・ I	-13.0	-8.7	-9.1	-17.4	-21.8	0.0	8.4	-4.3	0.0	-16.7	-18.2	-26.1	-14.2	-4.8	-4.3	-14.3		8.7
	修 正 値	-13.1	-6.7	-10.2	-10.8	-16.3	-3.3	-0.4	-9.2	-5.5	-16.6	-19.4	-22.9	-8.6	-9.1	-10.0	-18.0	-1.4	6.9
	傾 向 値	-6.0		-6.2		-9.4		-9.9		-7.3		-6.8		-7.0		-7.6			
価格動向	販 売 価 格	17.4	26.1	13.7	13.1	21.8	13.7	45.8	17.4	39.1	37.5	27.3	26.1	35.0	14.2	43.5	30.0		34.8
	〃 修 正 値	24.6	25.3	12.1	18.8	16.2	10.5	34.1	12.3	39.0	27.1	29.5	25.6	31.1	17.7	33.9	27.3	2.8	27.0
	〃 傾 向 値	16.4		17.3		18.8		22.2		27.4		31.8		35.2		36.5			
	仕 入 価 格	31.8	28.6	35.0	31.8	23.8	35.0	40.9	14.2	45.5	36.4	36.8	40.9	47.4	26.3	47.6	36.8		38.1
	〃 修 正 値	38.4	28.1	32.0	37.7	18.9	29.6	34.1	12.4	47.0	30.7	36.4	41.0	42.3	24.7	41.4	36.0	-0.9	33.8
	〃 傾 向 値	29.0		31.6		32.5		32.5		34.6		36.5		39.7		43.5			
在庫・資金繰り	在 庫 数 量	0.0	4.6	9.5	4.6	0.0	9.5	4.4	0.0	-8.7	0.0	5.0	-4.3	15.8	5.0	0.0	15.8		0.0
	〃 修 正 値	0.6	0.8	11.2	2.0	2.5	11.5	-2.1	2.5	-6.5	-3.8	4.2	-4.7	14.9	3.6	-3.7	15.1	-18.6	-0.9
	資 金 繰 り	-13.0	-13.1	-4.5	-8.7	-9.1	-4.5	0.0	4.3	4.3	-4.1	0.0	-4.4	-4.7	-4.7	-8.7	-9.5		-8.7
前年同期比	〃 修 正 値	-12.2	-8.1	-8.2	-9.7	-7.8	-6.6	0.9	5.0	3.6	-2.2	-3.1	-5.4	-2.1	-6.4	-5.0	-7.6	-2.9	-4.6
	売 上 額	4.4		4.5		-4.3		16.6		8.7		-9.1		0.0		4.4			
	収 益	-13.1		-4.5		-21.8		0.0		-8.7		-13.7		-10.0		-17.4			
雇用	残 業 時 間	0.0	0.0	4.5	0.0	0.0	4.5	4.2	4.3	-4.3	0.0	0.0	-4.5	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0
	人 手	-8.7	-8.7	-9.1	-8.7	-4.3	-9.1	-4.2	-4.3	-4.3	-4.2	-13.6	-4.5	-4.8	-13.6	-4.3	-4.8		-4.3
借入金	借入をした/借入の予定あり(%)	22.7	42.9	23.8	14.3	22.7	23.8	30.4	31.8	27.3	22.7	14.3	28.6	20.0	14.3	30.4	31.6		34.8
	借入しない/借入の予定なし(%)	77.3	57.1	76.2	85.7	77.3	76.2	69.6	68.2	72.7	77.3	85.7	71.4	80.0	85.7	69.6	68.4		65.2
	借入難易度	-9.1		-5.0		-9.1		-9.1		-4.8		0.0		-27.8		-20.0			
有効回答事業所数		23		22		23		24		23		22		21		23			

不動産業

転記表 No.2

2026年4月～6月期

注：各項目の右側は、前期調査における予想(予定)値です。

調査期		2024年		2024年		2025年		2025年		2025年		2025年		2026年		2026年		対	2026年
項 目		7月～9月期		10月～12月期		1月～3月期		4月～6月期		7月～9月期		10月～12月期		1月～3月期		4月～6月期		前期比	7～9月期
経営上の問題点(%)	売上の停滞・減少	26.1		18.2		26.1		8.3		13.0		18.2		14.3		13.0			
	人手不足	4.3		9.1		4.3		-		-		4.5		-		4.3			
	大手企業との競争の激化	26.1		13.6		17.4		25.0		26.1		18.2		23.8		21.7			
	同業者間の競争の激化	26.1		13.6		21.7		25.0		34.8		31.8		38.1		39.1			
	利幅の縮小	4.3		4.5		17.4		12.5		13.0		4.5		23.8		8.7			
	商品物件の不足	13.0		18.2		13.0		25.0		21.7		13.6		4.8		17.4			
	商品物件の高騰	30.4		18.2		26.1		29.2		30.4		27.3		23.8		39.1			
	人件費の増加	4.3		4.5		4.3		4.2		4.3		4.5		9.5		4.3			
	人件費以外の経費の増加	-		9.1		-		8.3		-		-		-		4.3			
	代金回収の悪化	8.7		4.5		4.3		-		8.7		9.1		9.5		8.7			
	その他	-		-		4.3		-		8.7		4.5		-		4.3			
	問題なし	30.4		40.9		39.1		25.0		30.4		27.3		28.6		21.7			
重点経営施策(%)	販路を広げる	21.7		18.2		26.1		29.2		26.1		22.7		23.8		17.4			
	経費を節減する	8.7		27.3		21.7		16.7		13.0		13.6		23.8		17.4			
	宣伝・広告を強化する	21.7		22.7		26.1		29.2		21.7		27.3		19.0		21.7			
	情報力を強化する	30.4		27.3		34.8		45.8		43.5		27.3		42.9		39.1			
	新しい事業を始める	21.7		13.6		8.7		12.5		8.7		4.5		4.8		8.7			
	提携先を見つける	13.0		4.5		13.0		4.2		4.3		9.1		9.5		8.7			
	機械化を推進する	-		4.5		-		4.2		4.3		4.5		-		4.3			
	人材を確保する	-		9.1		4.3		4.2		-		4.5		-		8.7			
	パート化を図る	-		-		-		-		-		-		-		-			
	教育訓練を強化する	4.3		-		8.7		-		-		4.5		-		-			
	労働条件を改善する	-		-		-		-		-		-		-		4.3			
	不動産の有効活用を図る	8.7		4.5		13.0		16.7		17.4		9.1		9.5		13.0			
	その他	-		-		-		-		-		4.5		-		-			
	特になし	34.8		36.4		30.4		25.0		30.4		27.3		33.3		21.7			
有効回答事業所数		23		22		23		24		23		22		21		23			

2026年8月発行
江戸川区 産業経済部 経営支援課 調査計画係
TEL:03-5662-9014（直通）

表紙の写真：小岩菖蒲園まつり

出典：江戸川画像文庫 (<https://photo.city.edogawa.tokyo.jp/pages/home.php>) より